

みえの

子ども
白書

2019

三重県



三重の子どもたち、大人たちへ

～家庭や地域等とのかかわりの中で、子どもたちが豊かに育つために～

三重県では平成23年4月に、県民や関係者が相互に連携・協働し、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに取り組むことを決意して、「三重県子ども条例」が制定されました。「みえの子ども白書」は、この条例に基づく取組の一環として、子どもや保護者、県民の皆さんへのアンケート調査の結果を中心に、子どもの生活実態や意識、周囲の大人の意識や地域社会の状況などについてまとめたものです。

私は、子どもが自分らしくいきいきと育つためには、子ども自身が自分を大切な存在であると感じることができる「自己肯定感」が何よりも大切であると思っています。そして、夢や将来の希望を持ち、新しいことにチャレンジしていく気持ちが、変化の激しい社会の中であって子どもたちの「生き抜いていく力」となると信じています。

今回の調査によると、自己肯定感と夢や希望を持つこと、新しいことにチャレンジすることに関係性がみられます。また、家庭や地域などにおける大人の理解やかかわり方が子どもの自己肯定感に影響することがみえてきており、子どもたちの豊かな育ちのために、家庭や地域が一体となって、子どもを見守り、育てていかなければならないとの思いを一層強くしています。

私たち保護者や地域の大人は子ども一人ひとりを大切に思っていることを伝え、子どもたちが日常の出来事や悩みごとなどを話せる関係を築くことが大切であると考えます。

この白書をご覧いただき、大人の皆さんには、子どもの成長にとって、家庭や地域等がどのようにかかわっていくことがよいのか、考えるきっかけにいただければ幸いです。

子どもたちには、みんなの幸せを願って、大切に思っている大人が周りにたくさんいることを知ってもらい、夢や希望を持ち、さまざまなことに挑戦して、未来の社会を担う人材に育てていただくことを願っています。

平成31年（2019年）2月

三重県知事 鈴木英敬

目次

Contents

■ はじめに	
～「みえの子ども白書2019」刊行にあたって～	2
「みえの子ども白書2019」の全体像	4
■ 第1章 子どもの生活	
1 子どもと家庭	8
2 子どもと社会	13
■ 第2章 子どもの気持ち	
1 子どもの自己肯定感	18
2 子どもの規範意識	24
3 子どもの悩みと相談相手	26
■ 第3章 子どもと大人	
1 家族との関係	34
2 大人の理解・姿勢	40
3 体験	47
4 子どもの自己決定	51
5 保護者の自己肯定感	57
■ 第4章 子どもと地域	
1 地域の応援	62
2 子どもと地域の大人のかかわり	71
■ 第5章 「家族」をもつこと	
1 結婚観	78
2 子どもを持つこと	79
3 男性の育児参画	81
4 理想の家族の住まい方	82
■ 資料編	83
■ 三重県子ども条例に基づく 調査の結果概要（単純集計）	97

はじめに

～「みえの子ども白書2019」刊行にあたって～

「子どもは、一人ひとりかけがえのない存在である。」

この一文で始まる三重県子ども条例（平成23年4月1日施行、以下「条例」といいます。）は、「子どもが豊かに育つことができる地域社会づくり」に向けて、地域のさまざまな主体がともに連携して取り組むために必要な事項を規定したものです。

条例の前文では、

「全ての子どもには自ら育つ力と多くの可能性があり、子どもは自分が受け止められ、認められていると実感することで自己肯定感を高めることができる。また、子どもは、家庭や学校を始めとする地域社会での経験を通して、人との様々な関わりや多様な価値観に触れることで、人を思いやる心や自らの課題を乗り越える力を身に付けることができる。そして、次の世代を大切に育てることのできる大人へと育っていく。そのために、人と人との強い絆で結ばれた地域社会を形成し、子ども一人ひとりが力を発揮して育つことができる社会へと向かうことが求められている。」

としています。

条例第14条では、その推進にあたり、「知事は、子どもの生活に関する意識、実態その他のこの条例に基づき県が行う施策の推進に必要な事項を調査し、その結果を公表するものとする。」としています。

この白書は、同条に基づいて県が平成30年度に実施したアンケート調査（子ども調査、保護者調査、県民調査）の結果を中心に、子どもの生活実態や意識、周りの大人の意識や地域社会の状況等についてまとめています。

(アンケート調査の概要)

- ・調査時期：平成30年7月～8月
- ・調査対象、件数等

調査名		対象者	有効回収数
子ども調査	小学5年生	市町立小学校を市町ごとに各1校 計29校、 県立特別支援学校3校、 私立小学校1校の対象学年の児童	1,425件
	中学2年生	市町立中学校を市町ごとに各1校 計29校、 県立特別支援学校3校、 私立中学校1校の対象学年の生徒	1,871件
	高校2年生	県立高等学校11校、県立特別支援学校3校、 私立高等学校1校の対象学年の生徒	1,299件
保護者調査		上記の小学5年生、中学2年生の保護者	3,020件
県民調査		29市町の選挙人名簿に基づき無作為抽出	1,472件

- ・調査主体：三重県 子ども・福祉部 少子化対策課
- ・調査委託期間：株式会社 百五総合研究所

【注】

(1) 地域別補正について

県民調査について、平成23年度調査では5地域（北勢、伊賀、中南勢、伊勢志摩、東紀州）ごとに2ないし3市町を選定し、調査対象者を抽出しましたが、平成27年度調査と今回調査（平成30年度調査）では、選挙人名簿登録者数の比率に基づいて、すべての市町から調査対象者を抽出しています。

また、すべての市町ごとに1校ずつ選定して実施した市町立小中学校の児童生徒及びその保護者を対象とする調査について、平成23年度調査では、1校あたり70人を基本として調査対象者を抽出しましたが、平成27年度調査と今回調査では、各市町の児童生徒数を基本として抽出しています。

このため、平成23年度調査との比較を行うにあたり、県民調査や小学生、中学生及びその保護者を対象とする調査については、平成23年度調査の結果について地域別の補正を行っています。

なお、高校生を対象とする調査については、平成23年度調査と調査対象者の抽出について大きな違いがないことから、地域別の補正は行っていません。

(2) 本書の図表において、「無回答」の数値については記載を省略しています。また、比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。複数回答の比率は、各選択肢の回答数を当該設問における総回答者数で割った比率であり、比率の合計は通常100%を超えます。

(3) 一部の図表に記載のある（n=〇〇）は、その設問における回答者数を表しています。

「みえの子ども白書2019」の全体像

全国学力・学習状況調査

平成19年度から小・中学生を対象に文部科学省が実施している調査



子ども調査（アンケート） 小・中・高 合計4,595件 （特別支援学校含む）

【主な項目】

- 自己肯定感
- 「大切にされている」か
- 「意見を聞いてくれている」か
- 近所の人との関係
- 結婚や子どもを持つことの意識

保護者調査（アンケート） 小・中 保護者 合計3,020件 （特別支援学校含む）

【主な項目】

- 子どもの「意見を聞いている」か
- 子どものことを「理解していると思う」か
- 地域の人とのつながり
- 子育てにおけるニーズ
- 自身の自己肯定感

県民調査（アンケート） 18歳以上の県民 合計1,472件 （選挙人名簿から無作為抽出）

【主な項目】

- 近所の子どもとの関係
- 子どもの育ちへの応援
- 理想の家族の住まい方
- 現在参加している子育てに関する活動
- 今後参加したい子育てに関する活動

三重県子ども条例に基づく調査

統計データ

- 国勢調査
- 人口動態統計
- 学校基本調査 等



第1章 「子どもの生活」

子どもの生活実態を明らかにします。

- ◆第1節 「子どもと家庭」
- ◆第2節 「子どもと社会」

第2章 「子どもの気持ち」

子どもの内面的な実態を明らかにします。

- ◆第1節 「子どもの自己肯定感」
- ◆第2節 「子どもの規範意識」
- ◆第3節 「子どもの悩みと相談相手」

第3章 「子どもと大人」

子どもと大人の関係のなかでの相互の意識を明らかにします。

- ◆第1節 「家族との関係」
- ◆第2節 「大人の理解・姿勢」
- ◆第3節 「体験」
- ◆第4節 「子どもの自己決定」
- ◆第5節 「保護者の自己肯定感」

第4章 「子どもと地域」

子どもの育ちを支える地域の実態を明らかにします。

- ◆第1節 「地域の応援」
- ◆第2節 「子どもと地域の大人のかかわり」

第5章 「家族」を持つこと

結婚や子どもを持つこと、子育てなどに対する気持ちを明らかにします。

- ◆第1節 「結婚観」
- ◆第2節 「子どもを持つこと」
- ◆第3節 「男性の育児参画」
- ◆第4節 「理想の家族の住まい方」

資料 三重の子どもをとりまく現状

- 基本的な生活習慣の傾向
- 携帯電話（スマートフォン）の所持状況
など

- 「自分のことが好き」と「新しいことにチャレンジすること」の関係
- 困ったことや悩みがあったときの相談相手
など

- 「大切にされている」、「意見を聞いてくれる」などの子どもと大人の意識の差
- 大人が感じる今の子どもたちの特徴
など

- 子育てに関する活動のニーズと、地域の人
が参加したい活動
- 近所付き合いの程度
など

- 高校生の結婚観や家族観と赤ちゃんや小さい子どもとふれあった経験との関係
- 男性の育児参画についての意識
- 理想の家族の住まい方
など

子どもをとりまく背景を統計データなどから整理します。

調査結果を受けて

家庭や地域等とのかかわりの中で、子どもたちが豊かに育つために

- 子どもが困ったことや悩みがあったとき家の人や誰かに相談することと、自己肯定感や家庭・地域等で「大切にされている」と感じることに関係性がみられる。また、小さいころに家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したり、スポーツをしたりした経験と、悩み等への相談の有無にも関係性がみられる。
- 子育てにおいて近所・地域の支えは重要と考える人が大多数で、保護者からのニーズもあるなか、子育てに関する活動について、情報がないために活動に関わる機会がない人や、参加したいけれどもどのような活動がよいかわからない人が一定数いる。
- 日常の会話や悩み相談の有無など、親子関係と高校生の結婚観や家族観に関係性がみられる。

保護者や地域の大人が子どもに関心を持っていることを伝え、ふだんから子どもが悩みごとなどを話せる関係を築くことが大切で、親子の会話やふれあいを促す家庭教育の取組や地域で子どもを育てていくという機運の醸成が重要であると考えられる。

また、子どもがより相談しやすい体制とその普及も大切である。

保護者への子育て支援の充実に向けては、支え手となる地域の人の子どもへの関心を高めるとともに、地域の取組等の活動にかかる情報提供などのサポートが重要と考えられる。



第 1 章

子どもの生活

この章では「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）の結果を中心に、子どもの生活の状況などをみます。

朝食の摂取状況や起床、就寝時刻など日常生活に関する項目については、ほぼ全国と同じ傾向を示しています。また、学校以外の過ごし方についても、ほぼ全国と同じ傾向を示しています。中学生は、学校の部活動に参加している割合がやや高くなっています。

新聞を読まない子どもが増加している一方で、テレビやインターネットでニュースを見る子どもが増加傾向にあります。

ケータイの所持率は増加しており、小学生で約5割、中学生で約7割となっていますが、ケータイの使用について「家庭でのルールがある」と認識している小中学生は5割程度となっています。

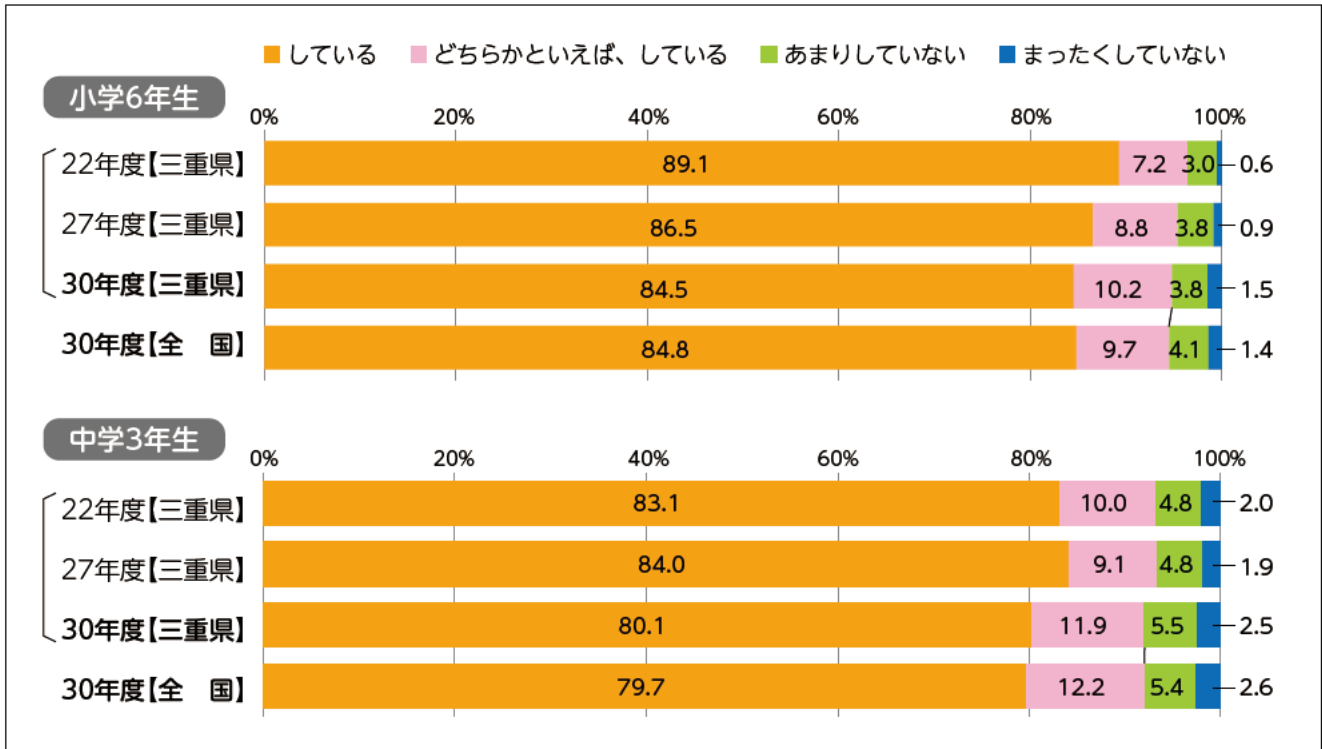
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合は、全国よりわずかに低いものの増加しており、地域や社会への関心が高まっている傾向がみられます。

1 子どもと家庭

●小学生の約7人に1人が毎日朝食を食べていない。

毎日の朝食摂取状況について、食べていると答えた小学生は84.5%、中学生は80.1%と全国とほぼ同じ状況です。

■ 図 1-1 朝食を毎日食べていますか



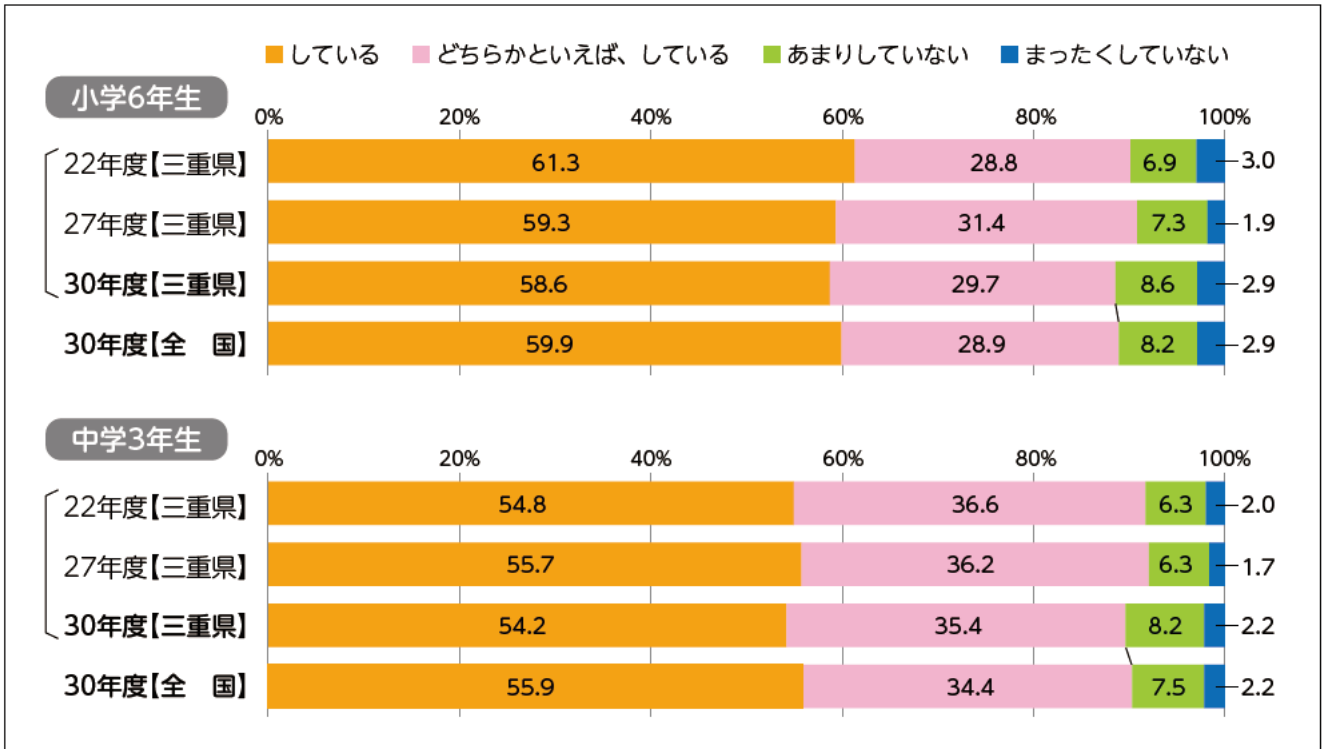
資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●毎日同じくらいの時刻に起きている子どもは5割以上、同じくらいの時刻に寝ている子どもは約4割。

毎日の起床時刻について、同じくらいの時刻に起きていると答えた小学生は58.6%、中学生は54.2%と全国とほぼ同じ状況です。

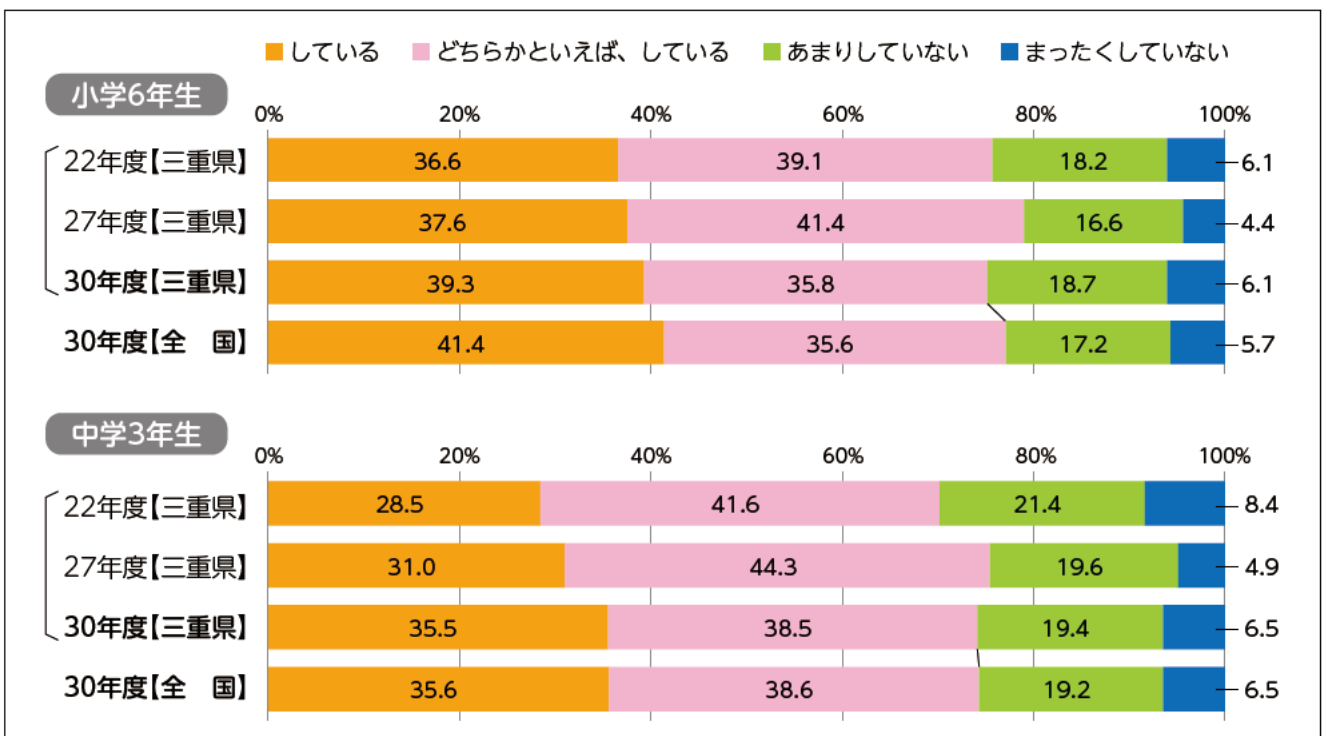
毎日の就寝時刻について、同じくらいの時刻に寝ていると答えた小学生は39.3%、中学生は35.5%と全国とほぼ同じ状況です。中学生は、同じくらいの時刻に寝ていると回答した割合が平成22年度に比べてやや増えています。

■ 図 1-2 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 図 1-3 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

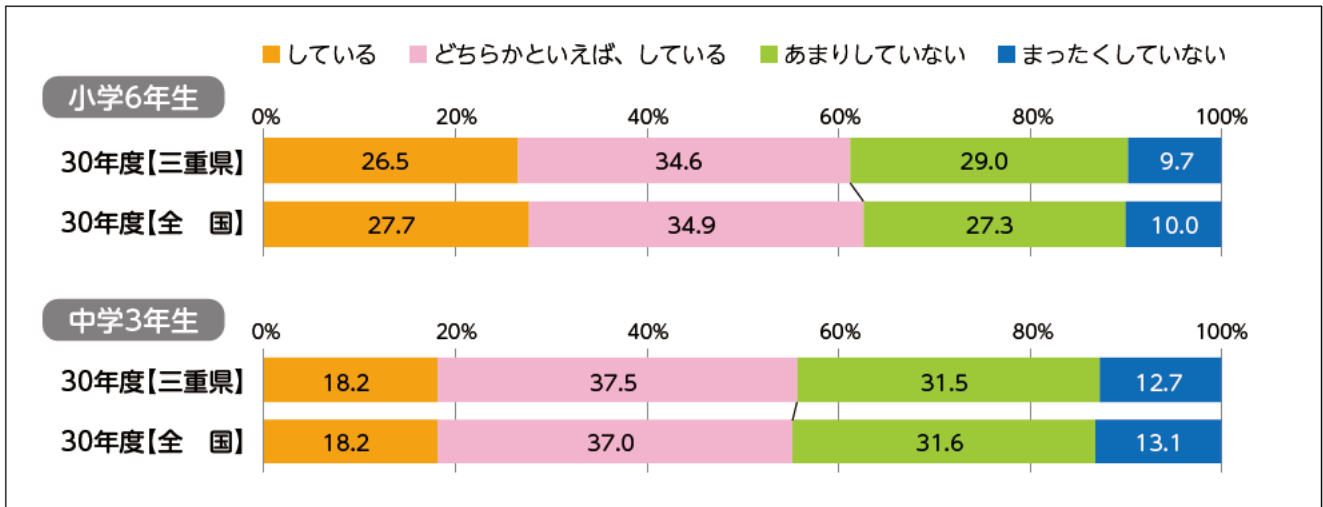


資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●学校の授業の予習・復習を「している」「どちらかといえば、している」子どもは約6割。

家での学校の授業の予習・復習の実施状況について、「している」「どちらかといえば、している」と答えた小学生は61.1%、中学生は55.7%と全国とほぼ同じ状況です。

■ 図 1-4 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか



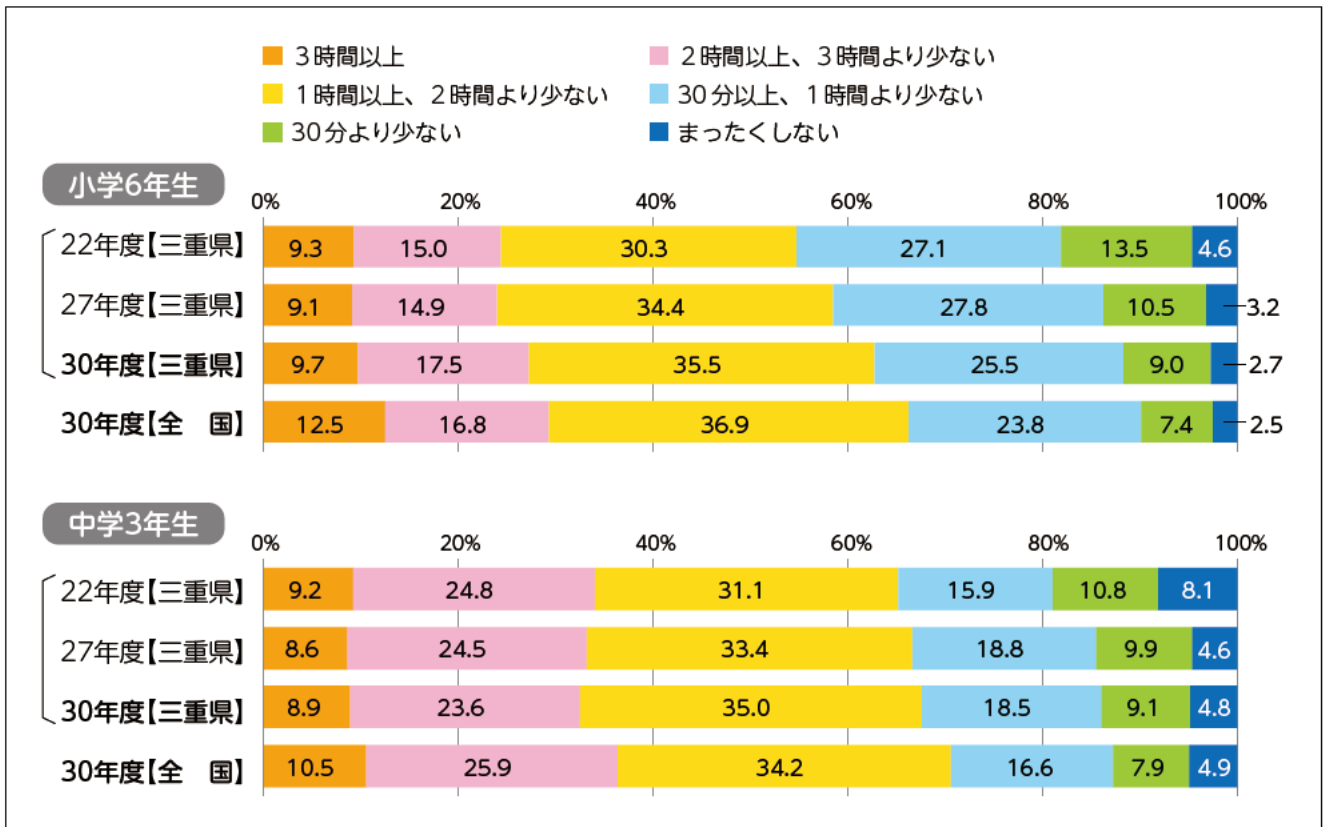
資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●授業以外の平日1日当たりの勉強時間は1時間以上2時間未満が最多。

学校の授業時間以外の平日1日当たりの勉強時間について、小学生、中学生ともに「1時間以上、2時間より少ない」がそれぞれ35.5%、35.0%と最も高くなっています。

■ 図 1-5 学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む。)



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●放課後の過ごし方として、中学生は学校の部活動が最多。小学生、中学生ともに家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲーム、インターネットをしたりしているが約8割。

放課後の過ごし方について、小学生は「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」が83.0%と最も高く、次いで「友だちと遊んでいる」が78.0%、「家族と過ごしている」が68.6%となっています。中学生は「学校の部活動に参加している」が88.0%と最も高く、次いで「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」が80.3%、「家族と過ごしている」が53.5%となっています。全国とほぼ同じ状況です。

■ 図 1-6 放課後に何をして過ごすことが多いですか（複数回答・いくつでも）

項目	小学6年生		項目	中学3年生	
	30年度 【三重県】	30年度 【全国】		30年度 【三重県】	30年度 【全国】
家で勉強や読書をしている	60.8	64.1	家で勉強や読書をしている	40.6	42.2
放課後子供教室や放課後児童クラブ（学童保育）に参加している	7.3	7.0	学校の部活動に参加している	①88.0	①82.2
地域の活動に参加している（地域学校協働本部や地域住民等による学習・体験プログラムを含む）	5.8	6.1	地域の活動に参加している（地域学校協働本部や地域住民等による学習・体験プログラムを含む）	2.7	2.3
学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	33.0	32.2	学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	44.7	42.1
習い事（スポーツに関する習い事を除く）をしている	50.7	46.5	習い事（スポーツに関する習い事を除く）をしている	20.4	17.7
スポーツ（スポーツに関する習い事を含む）をしている	47.0	47.2	スポーツ（スポーツに関する習い事を含む）をしている	22.2	21.6
家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている	①83.0	①81.0	家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている	②80.3	②77.3
家族と過ごしている	③68.6	③67.1	家族と過ごしている	③53.5	③50.2
友だちと遊んでいる	②78.0	②74.5	友だちと遊んでいる	42.7	36.9

資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

●週末の過ごし方として、小学生、中学生ともに家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲーム、インターネットをしたりしているが約8割で最多。

週末の過ごし方について、小学生は「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」が84.4%と最も高く、次いで「家族と過ごしている」が81.5%、「友だちと遊んでいる」が61.2%となっています。中学生は「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」が82.7%と最も高く、次いで「学校の部活動に参加している」が76.1%、「家族と過ごしている」が64.8%となっています。全国とほぼ同じ状況です。

■ 図 1-7 週末に何をしておこなうことが多いですか（複数回答・いくつでも）

項目	小学6年生		項目	中学3年生	
	30年度【三重県】	30年度【全国】		30年度【三重県】	30年度【全国】
学校で授業を受けている	15.0	14.8	学校で授業を受けている	14.1	11.9
家で勉強や読書をしている	53.6	58.1	家で勉強や読書をしている	38.0	41.0
学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	14.2	16.1	学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	21.3	23.4
習い事（スポーツに関する習い事を除く）をしている	26.8	25.7	習い事（スポーツに関する習い事を除く）をしている	10.2	10.1
スポーツ（スポーツに関する習い事を含む）をしている	44.6	43.4	スポーツ（スポーツに関する習い事を含む）をしている	20.3	21.0
地域の活動に参加している（学校で行われる地域住民や企業等による学習・体験プログラムを含む）	8.4	9.0	地域の活動に参加している（学校で行われる地域住民や企業等による学習・体験プログラムを含む）	3.7	4.0
家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている	①84.4	①82.4	家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている	①82.7	①80.1
家族と過ごしている	②81.5	②80.7	家族と過ごしている	③64.8	③61.3
友だちと遊んでいる	③61.2	③63.6	友だちと遊んでいる	58.4	56.0
			学校の部活動に参加している	②76.1	②69.4

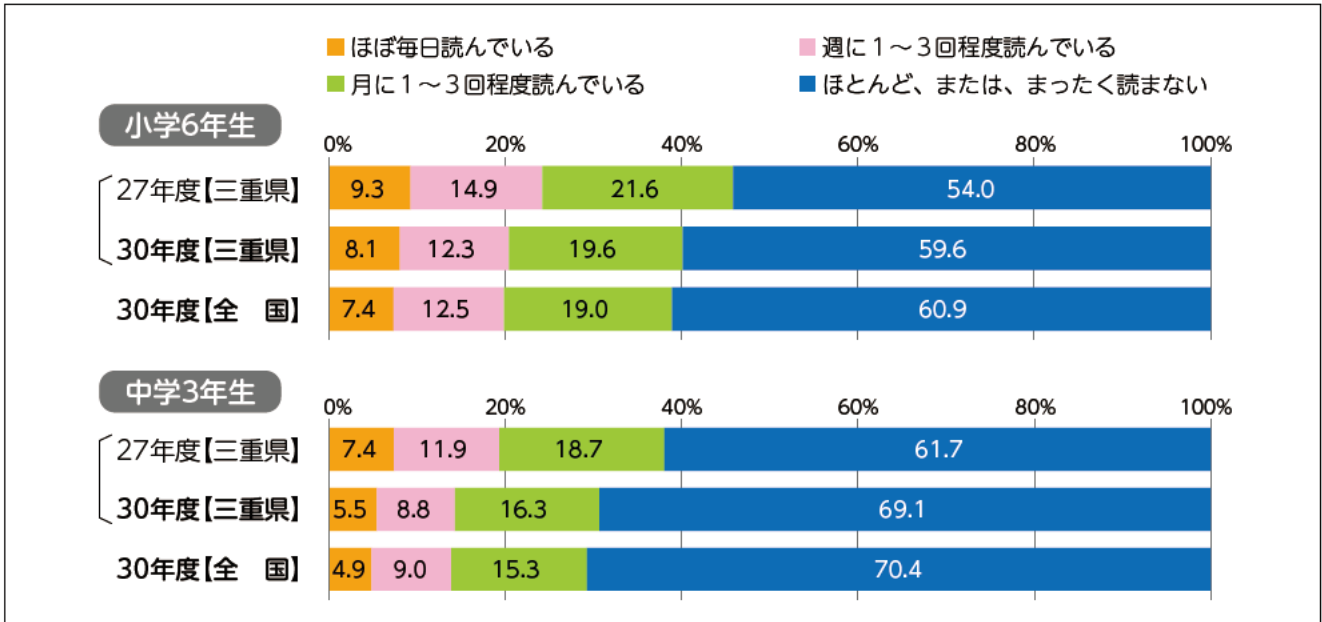
資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

2 子どもと社会

●新聞をほとんど、または、まったく読まない小学生は約6割、中学生は約7割。

新聞を読むことについて、小学生、中学生ともに「ほとんど、または、まったく読まない」がそれぞれ59.6%、69.1%と最も高くなっています。

■ 図 1-8 新聞を読んでいますか



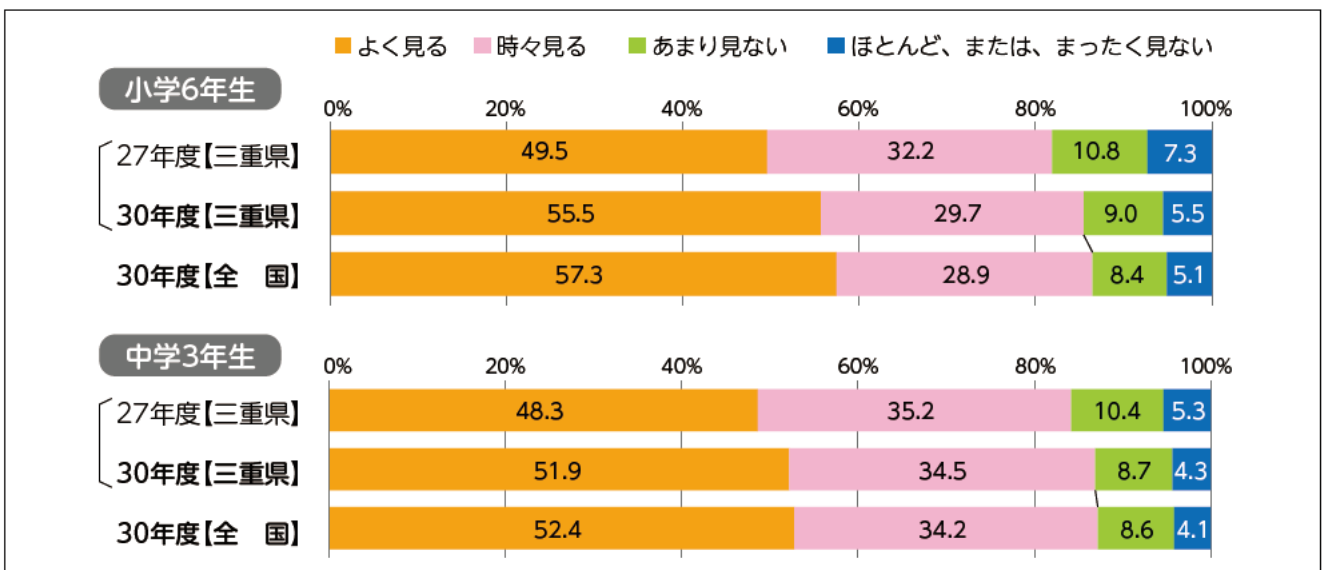
資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●テレビやインターネットのニュースをよく見る子どもは5割以上。

テレビのニュース番組やインターネットのニュース番組の視聴状況について、小学生、中学生ともに「よく見る」がそれぞれ55.5%、51.9%と最も高くなっています。また、小学生、中学生ともに「よく見る」「時々見る」が85%以上となっています。

■ 図 1-9 テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか

(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含まれます。)

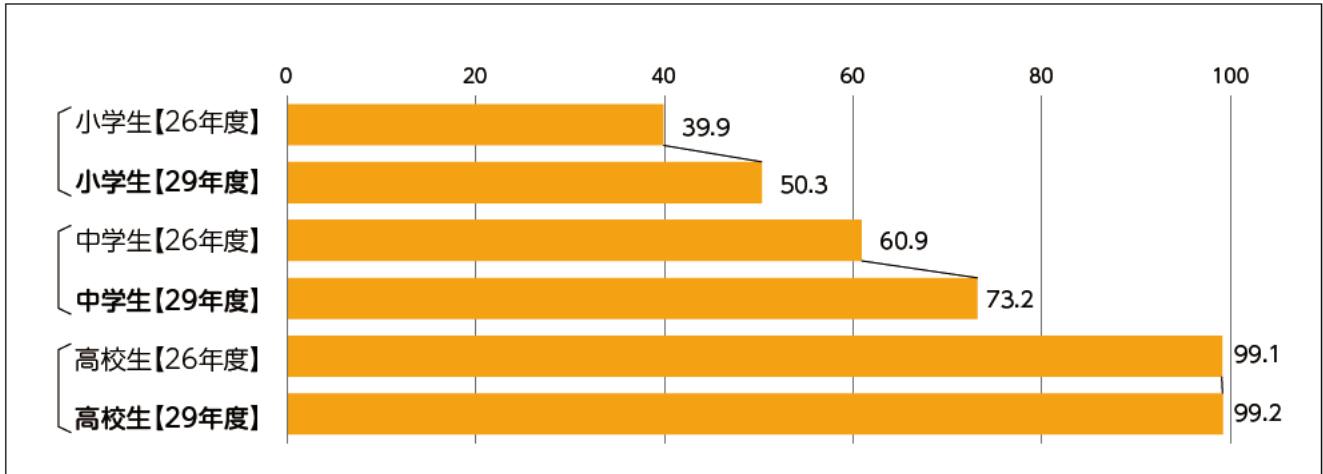


資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●**ケータイの所持率は小学生、中学生で増加。**

県内の公立小学校・中学校・高等学校の児童生徒、約11,000人を対象とした調査によると、ケータイの所持率について、小学生は50.3%、中学生は73.2%、高校生は99.2%となっています。平成26年度と比較すると、小学生は10.4ポイント、中学生は12.3ポイント上昇しています。

■ 図 1-10 ケータイの所持率

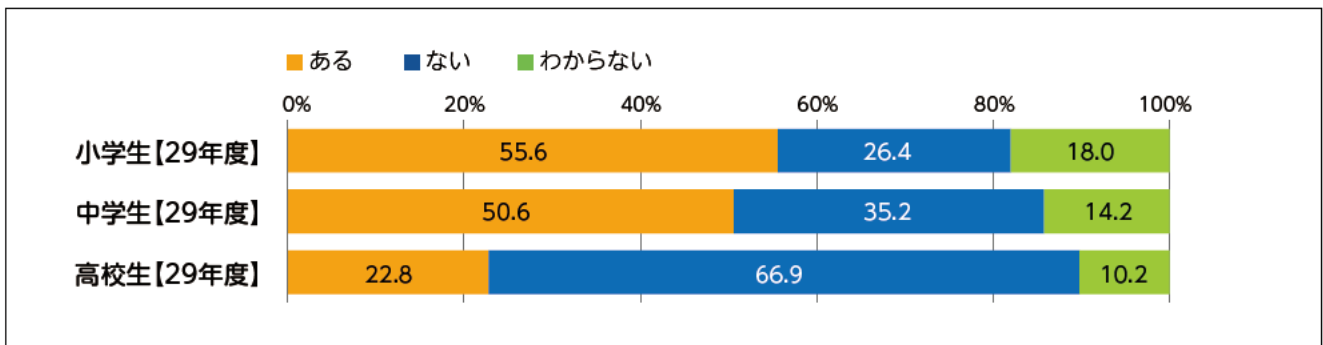


※本調査の「ケータイ」は、携帯電話やスマートフォンのことをいう。
資料：三重県教育委員会「平成29年度スマートフォン等の使用に関する実態調査」

●**ケータイの使用に関して家庭でルールがあるのは、小学生、中学生で5割程度。**

県内の公立小学校・中学校・高等学校の児童生徒、約11,000人を対象とした調査によると、ケータイの使用に関する家庭でのルールについて、「ある」と答えた小学生は55.6%、中学生は50.6%となっており、ともに「ない」より高くなっています。一方、高校生は「ある」が22.8%、「ない」が66.9%となっています。

■ 図 1-11 ケータイの使用について家庭でのルール

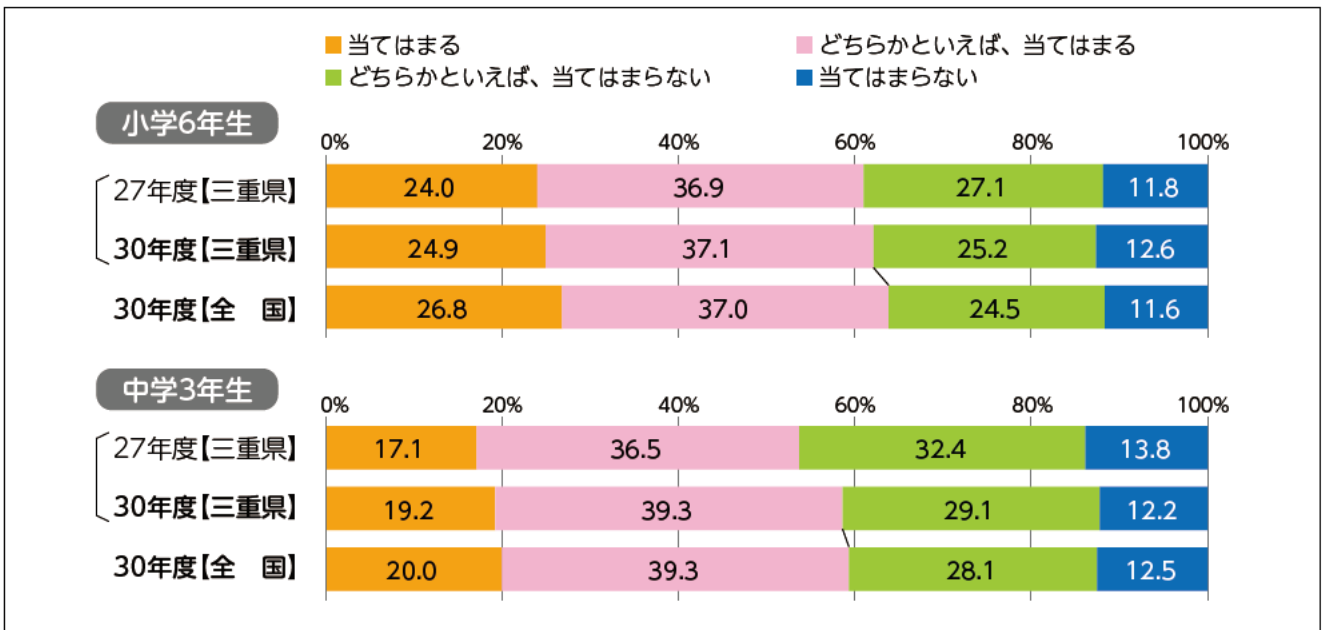


※本調査の「ケータイ」は、携帯電話やスマートフォンのことをいう。
資料：三重県教育委員会「平成29年度スマートフォン等の使用に関する実態調査」

●地域や社会で起こっている問題や出来事への関心がある子どもは約6割。

地域や社会で起こっている問題や出来事への関心について、関心がある、どちらかといえば関心があると答えた小学生は62.0%、中学生は58.5%となっています。

■ 図 1-12 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

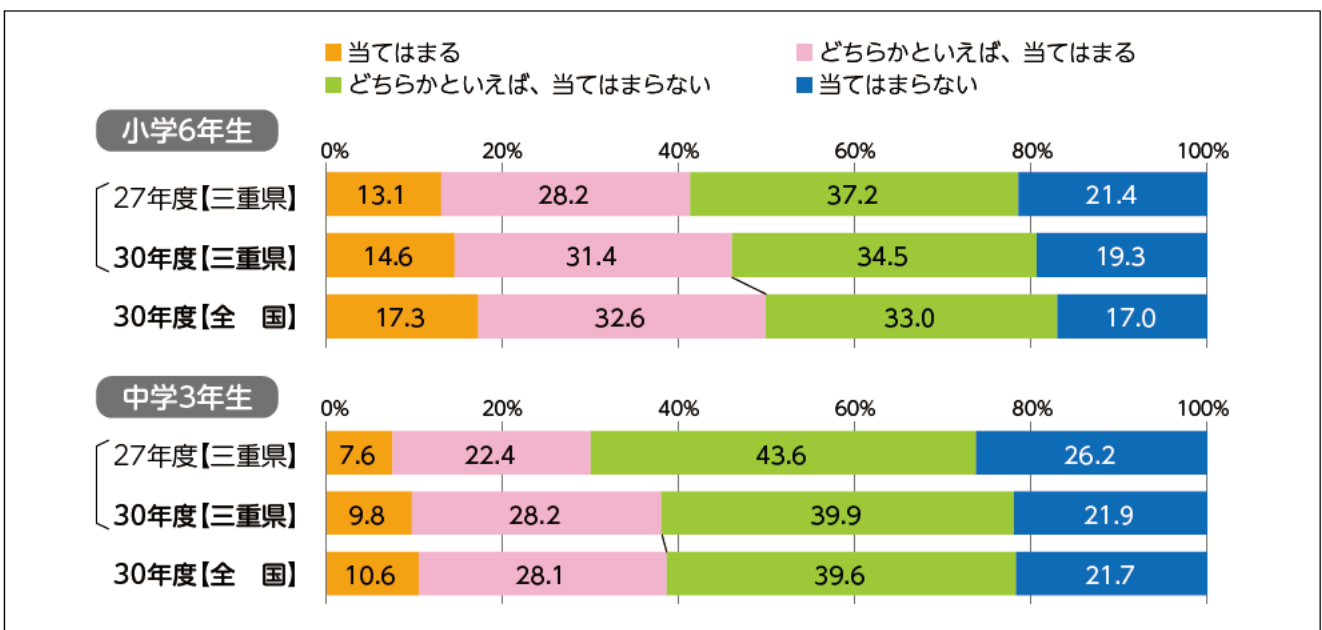


資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●地域や社会をよくするためにすべきことについて考えることがある子どもは増加。

地域や社会をよくするためにすべきことについて、考えることがある、どちらかといえば考えることがあると答えた小学生は46.0%、中学生は38.0%となっています。

■ 図 1-13 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

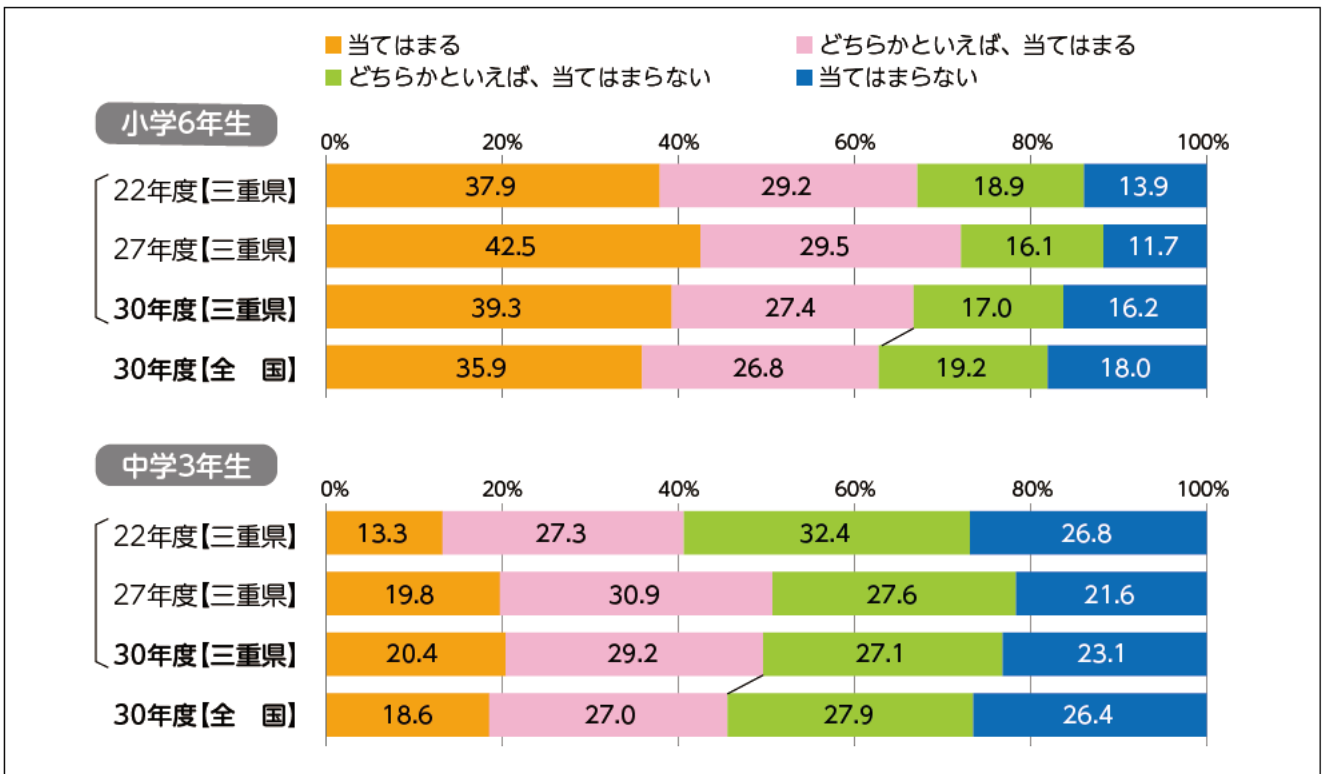


資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●地域の行事に参加している小学生、中学生の割合は、全国よりもやや高い。

今住んでいる地域の行事への参加状況について、参加している、どちらかといえば参加していると答えた小学生は66.7%、中学生は49.6%となっています。

■ 図 1-14 今住んでいる地域の行事に参加していますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

第 2 章

子どもの気持ち

この章では「三重県子ども条例に基づく調査」の結果を中心に、子どもの自己肯定感や規範意識、つらい気持ちになったときの状況などをみます。

自分のことが好きな子どもの割合は、小学生で約7割、中学生、高校生で5割以上となっており、高校生は増加傾向にあります。また、新しいことにチャレンジすることが好きな小学生、夢や将来の希望がある小学生は8割以上となっていますが、中学生、高校生と上がるにつれて、その割合は減少しています。自分のことが好きな子どもは、好きではない子どもより、新しいことにチャレンジすることが好き、夢や将来の希望がある割合が高くなっています。

いじめがいけないことだと思っている子どもは増加傾向にあり、9割以上と高くなっています。また、人の役に立つ人間になりたいと思っている子どもも9割以上と高くなっており、高い規範意識がうかがえます。

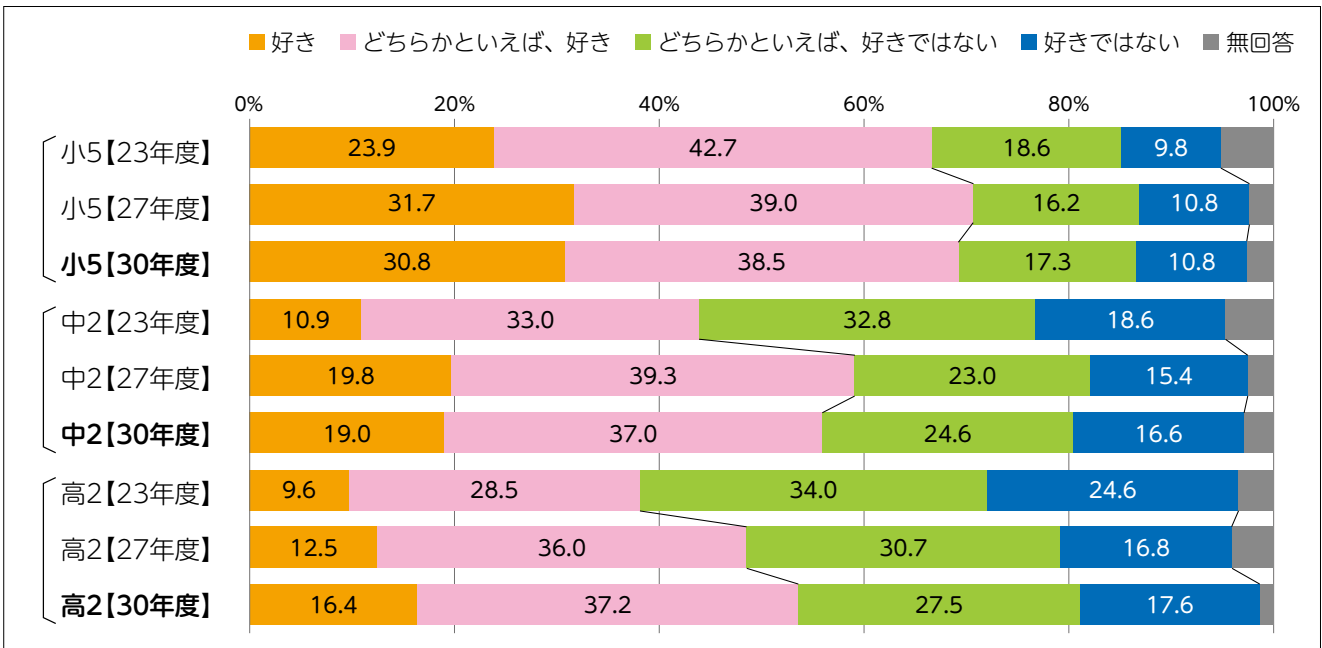
子どもがつらい気持ちになるときについて、小学生は「友だちと仲良くできないとき」、中学生、高校生は「テストの点や成績が悪いとき」が最も高くなっています。つらい気持ちになったときの対応として、「誰かに相談する」の割合が増加し、最も高くなっています。相談相手は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて「親（保護者）」の割合が減少し、「友だち」の割合が増加しています。

1 子どもの自己肯定感

●自分のことが好きな子どもの割合は、子どもが「自分のことを好きだと思っている」と思う保護者の割合より低い。

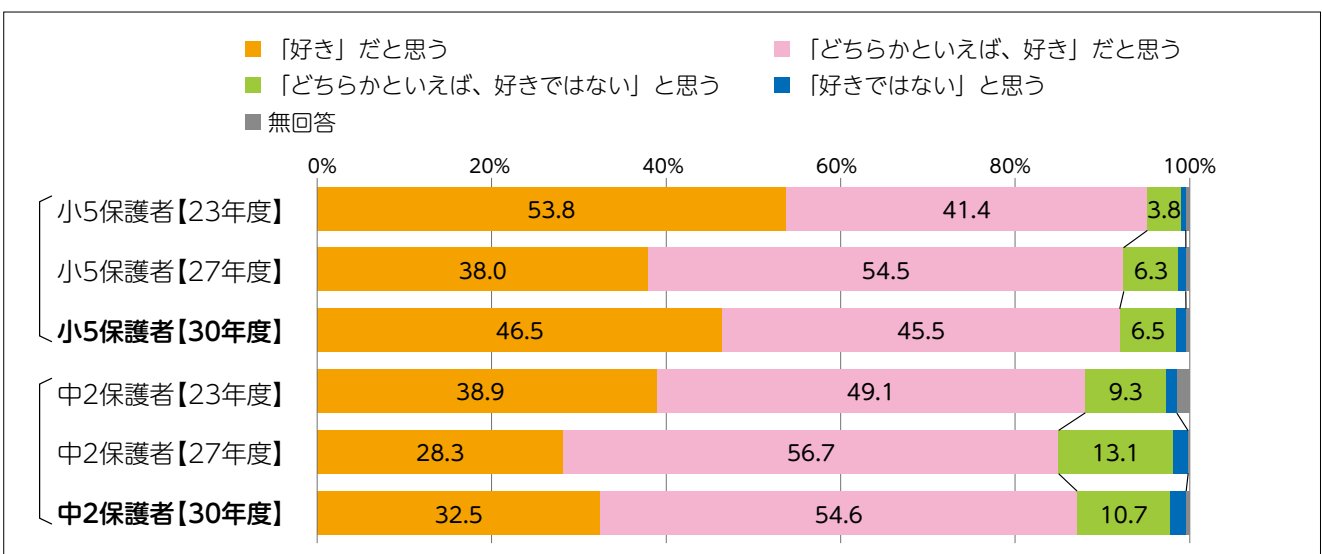
自分のことが好きかについて、「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた小学生は69.3%、中学生は56.0%、高校生は53.6%となっており、高校生は増加傾向にあります。一方で、子どもが「自分のことを好きだと思っている」と思うかについて、『「好き」だと思う』『「どちらかといえば、好き」だと思う』と答えた小学生の保護者は92.0%、中学生の保護者は87.1%となっており、子どもよりそれぞれ22.7ポイント、31.1ポイント高くなっています。

■ 図 2-1 あなたは、自分のことが好きですか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 2-2 あなたのお子さまは、「自分のことが好きだと思っている」と思いますか



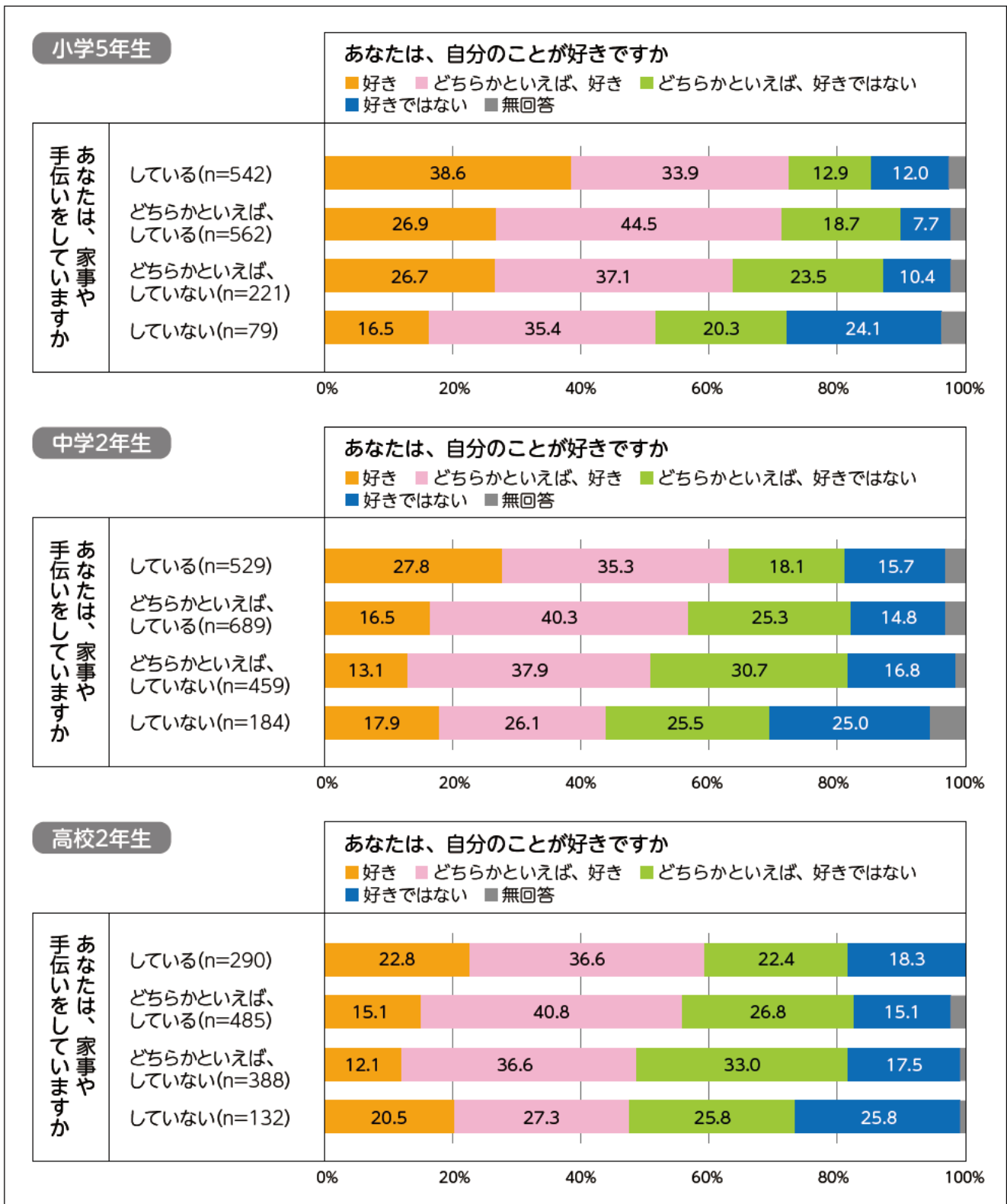
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●家事や手伝いをしている子どもは、していない子どもより自分のことが好きな割合が高い。

「家事や手伝いをしている」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに家事や手伝いを「している」と答えた子どもは「していない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた割合が高くなっています。

小学生と中学生では、家事や手伝いを「している」と答えた子どもは「していない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた割合が約20ポイント高くなっていますが、高校生では約10ポイントとなっており、その差が小さくなっています。

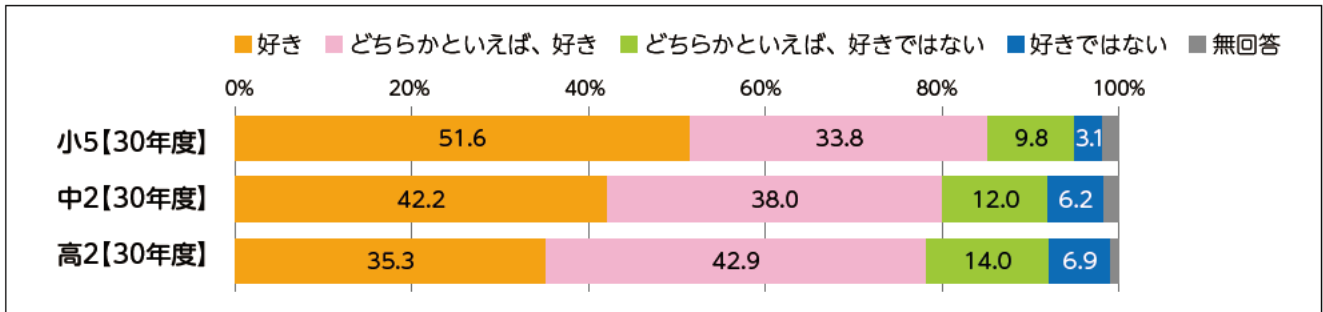
■ 図2-3 「家事や手伝いをしている」と「自分のことが好き」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●新しいことにチャレンジすることが好きな子どもは小学生、中学生、高校生と上がるにつれて減少。
 新しいことにチャレンジすることについて「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた小学生は85.4%、中学生は80.2%、高校生は78.2%となっています。小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、「好き」の割合は減少しています。

■ 図 2-4 新しいことにチャレンジすることは好きですか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●自分のことが好きな子どもは、好きではない子どもより新しいことにチャレンジすることが好きな割合が高い。

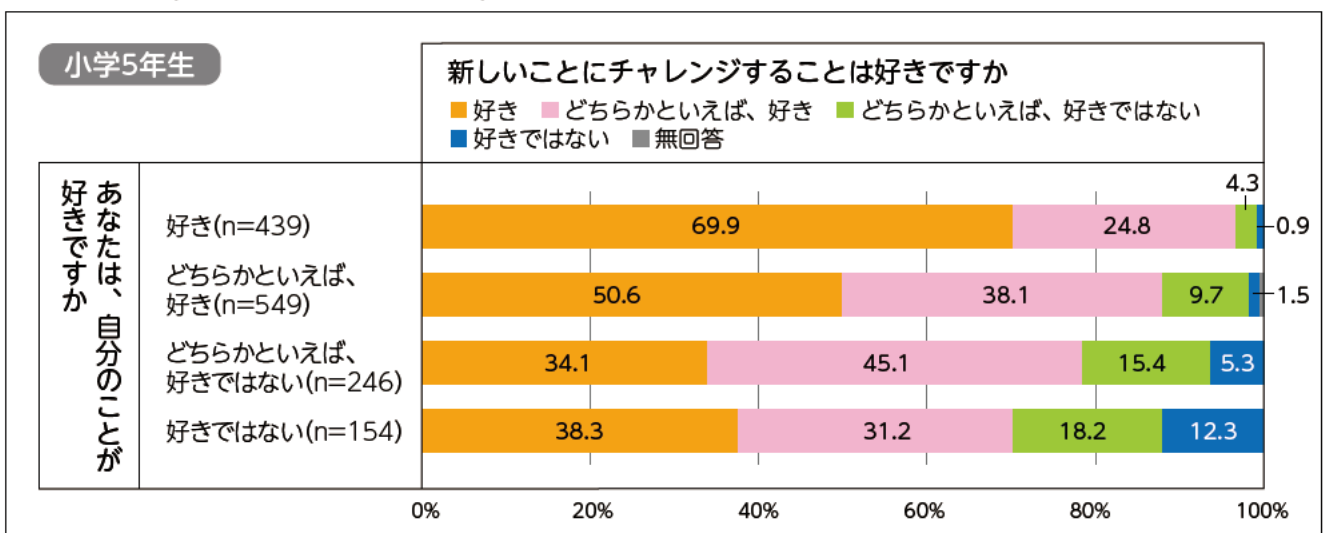
「自分のことが好き」と「新しいことにチャレンジすること」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに自分のことが「好き」と答えた子どもは「好きではない」と答えた子どもより、新しいことにチャレンジすることが「好き」「どちらかといえば、好き」の割合が高くなっています。

自分のことが「好き」と答えた小学生は、新しいことにチャレンジすることが「好き」と答えた割合が69.9%となっているのに対し、自分のことが「好きではない」と答えた小学生では38.3%で31.6ポイント低くなっています。

同様に自分のことが「好き」と答えた中学生は、新しいことにチャレンジすることが「好き」と答えた割合が69.9%となっているのに対し、自分のことが「好きではない」と答えた中学生では23.5%で46.4ポイント低くなっています。自分のことが「好き」と答えた高校生は、新しいことにチャレンジすることが「好き」と答えた割合が65.7%となっているのに対し、自分のことが「好きではない」と答えた高校生では19.7%で46.0ポイント低くなっています。

自分のことが「好き」と答えた子どもで、新しいことにチャレンジすることが「好き」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生ともにほぼ同率となっていますが、自分のことが「好きではない」と答えた子どもで、新しいことにチャレンジすることが「好き」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。

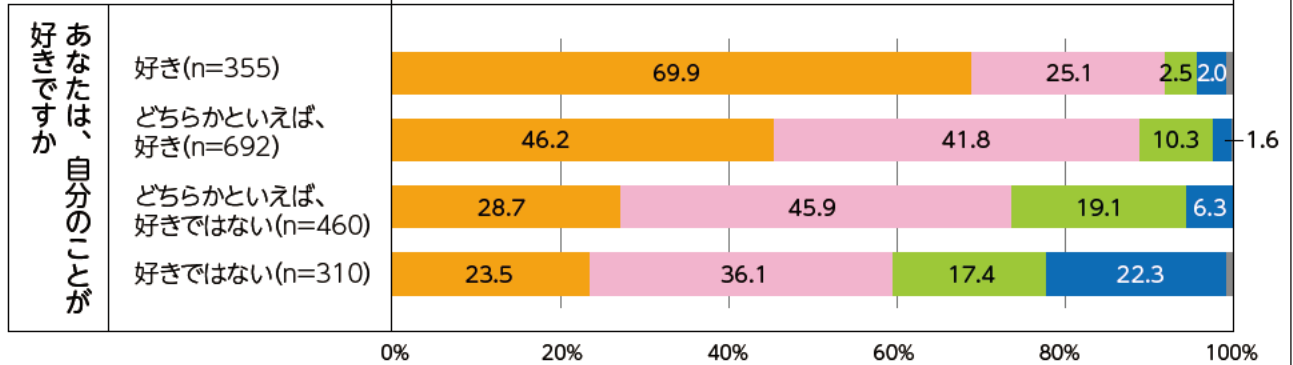
■ 図 2-5 「自分のことが好き」と「新しいことにチャレンジすること」の関係



中学2年生

新しいことにチャレンジすることは好きですか

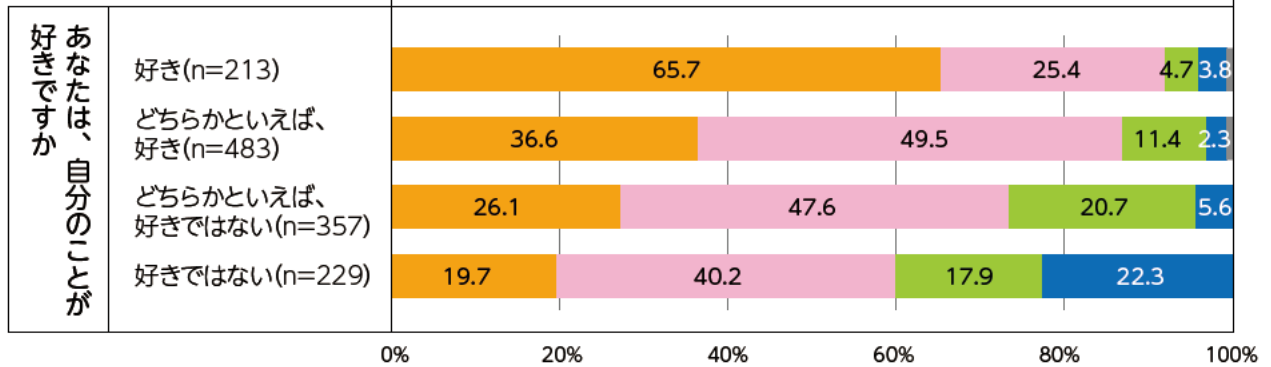
■好き ■どちらかといえば、好き ■どちらかといえば、好きではない ■好きではない ■無回答



高校2年生

新しいことにチャレンジすることは好きですか

■好き ■どちらかといえば、好き ■どちらかといえば、好きではない ■好きではない ■無回答



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●子どもにかかる市町の取組を紹介します

〈東員町〉

3感を育む継続した保育・教育を実施

この世に受け入れられているという「基本的信頼感」や自分は大切な存在だという「自己肯定感」、自分には得意なことがあるという「自己有能感」。この「3感」を大切に、[マイナス1歳]から15歳までの16年間、一貫して子どもたちの保育・教育に取り組んでいます。

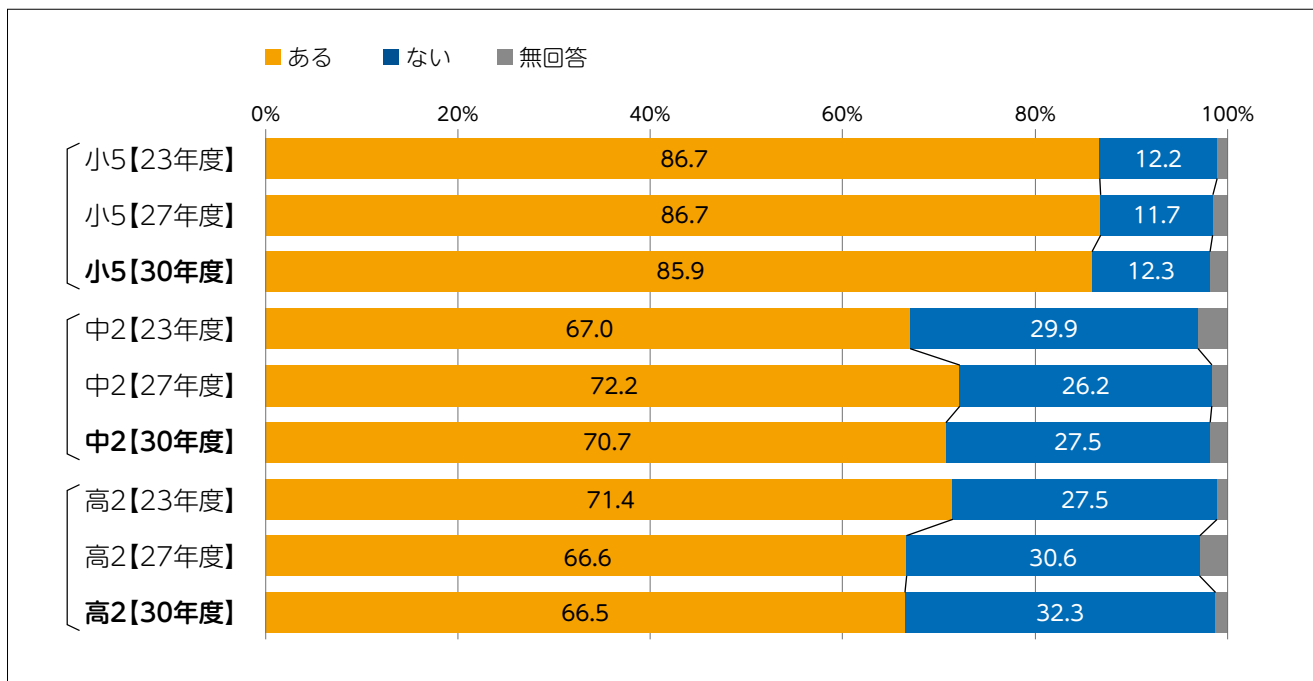


幼稚園・保育園では共通のカリキュラムで学ぶほか、保育者や保護者による絵本の読み聞かせを通じて、3感を育む取組を行っています。また、人間のすばらしさや新しい知識と出会う、地域や国のことを知り愛する、感性を育み、思考力やコミュニケーション力を高めることなどを目的に、0歳時から中学校までを通してブックリストに上がった301冊の本を読破する「読書登山」(チャレンジ301冊)などに取り組んでいます。

●中学生、高校生の約3割は夢や将来の希望がない。

夢や将来の希望の有無について、「ある」と答えた小学生は85.9%、中学生は70.7%、高校生は66.5%となっています。平成23年度と比較すると、「ない」と答えた高校生はやや増えています。

■ 図 2-6 あなたには、夢や将来の希望がありますか



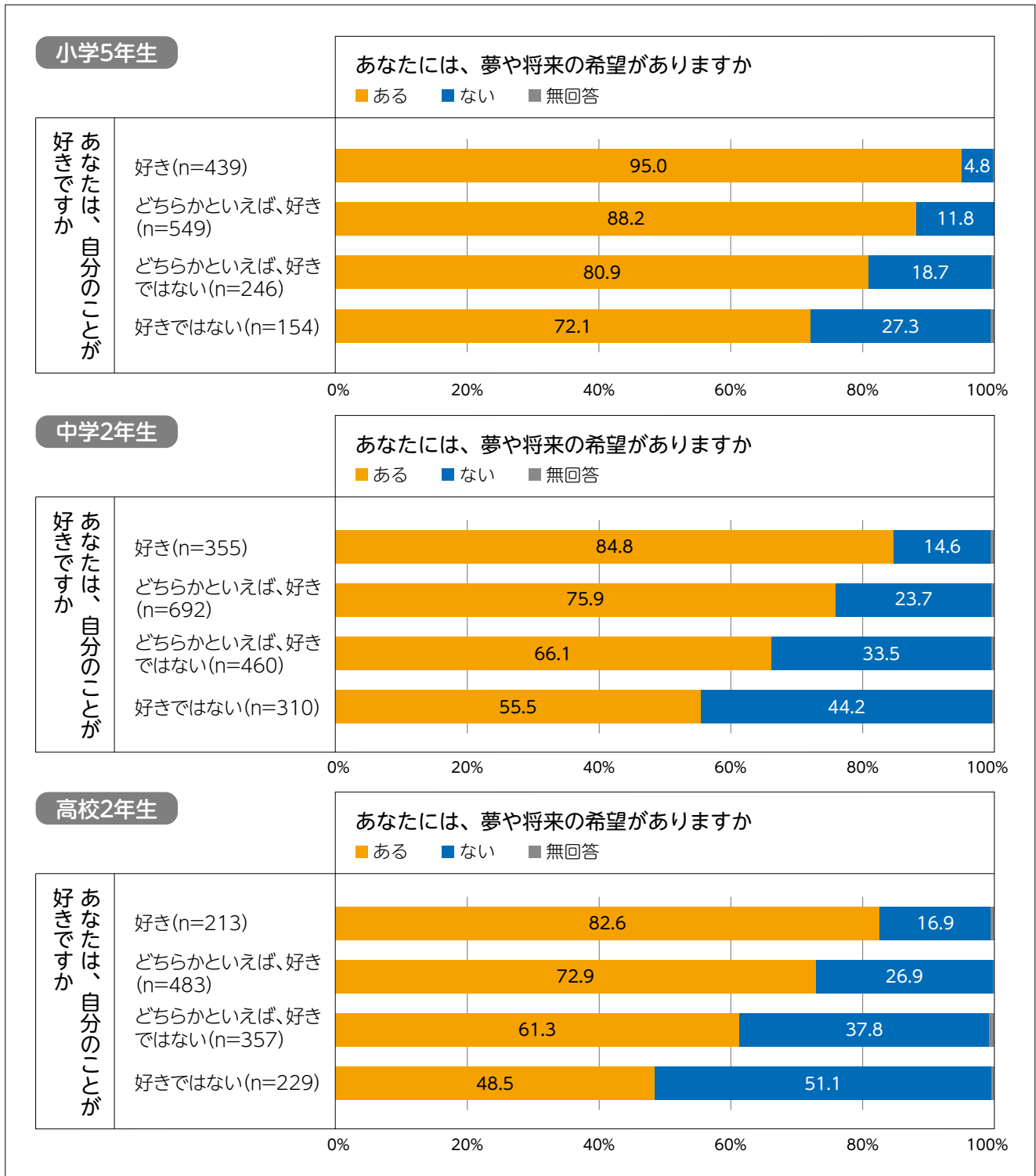
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●自分のことが好きな子どもは、好きではない子どもより夢や将来の希望がある割合が高い。

「自分のことが好き」と「夢や将来の希望の有無」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに自分のことが「好き」と答えた子どもは「好きではない」と答えた子どもより、夢や将来の希望が「ある」と答えた割合が高くなっています。

自分のことが「好き」と答えた子どもと「好きではない」と答えた子どもで、夢や将来の希望が「ある」と答えた割合をみると、小学生は、「好き」と答えた子どもは「好きではない」と答えた子どもより22.9ポイント高くなっています。同様に、中学生は29.3ポイント、高校生は34.1ポイント高くなっており、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、その差が拡大しています。

■ 図2-7 「自分のことが好き」と「夢や将来の希望の有無」の関係



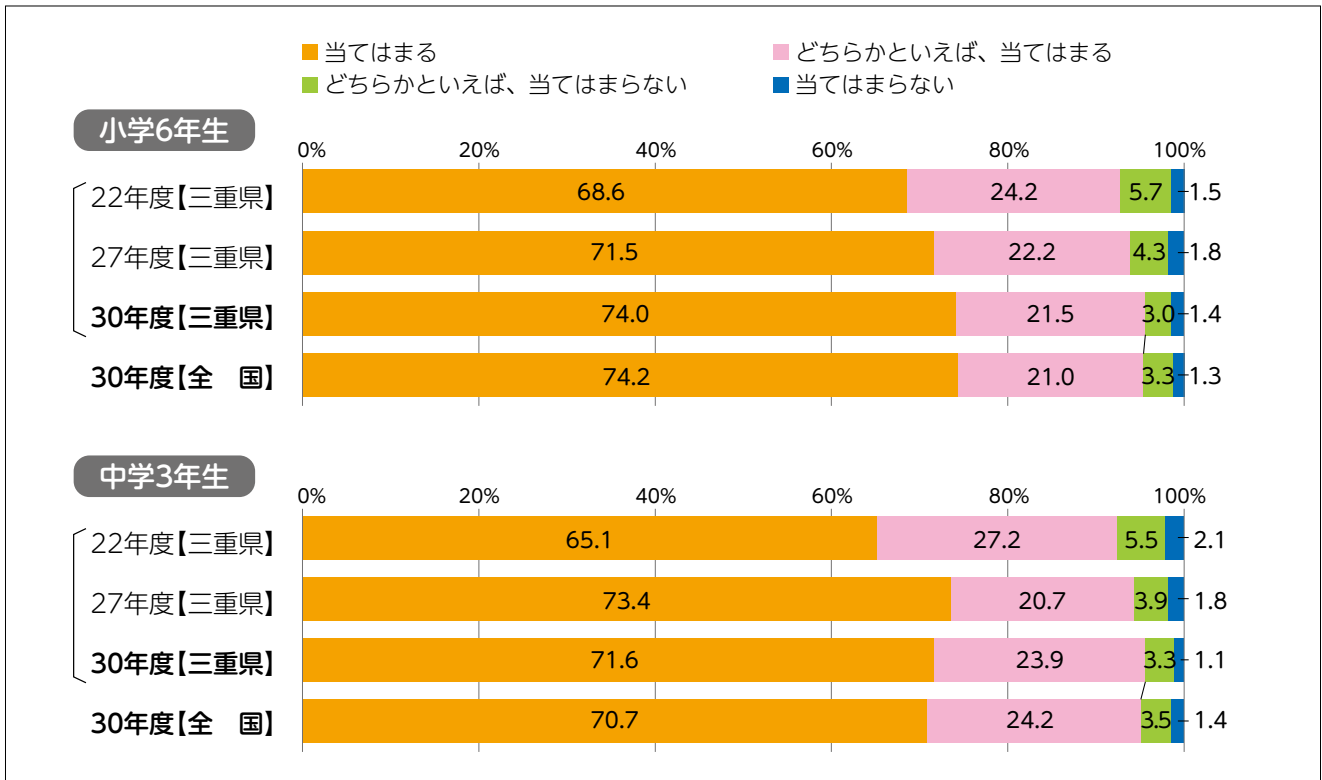
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

2 子どもの規範意識

●人の役に立つ人間になりたいと思っている子どもは9割以上。

人の役に立つ人間になりたいかについて、役に立つ人間になりたい、どちらかといえば役に立つ人間になりたいと答えた小学生は95.5%、中学生も95.5%と全国とほぼ同じ状況です。

■ 図 2-8 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



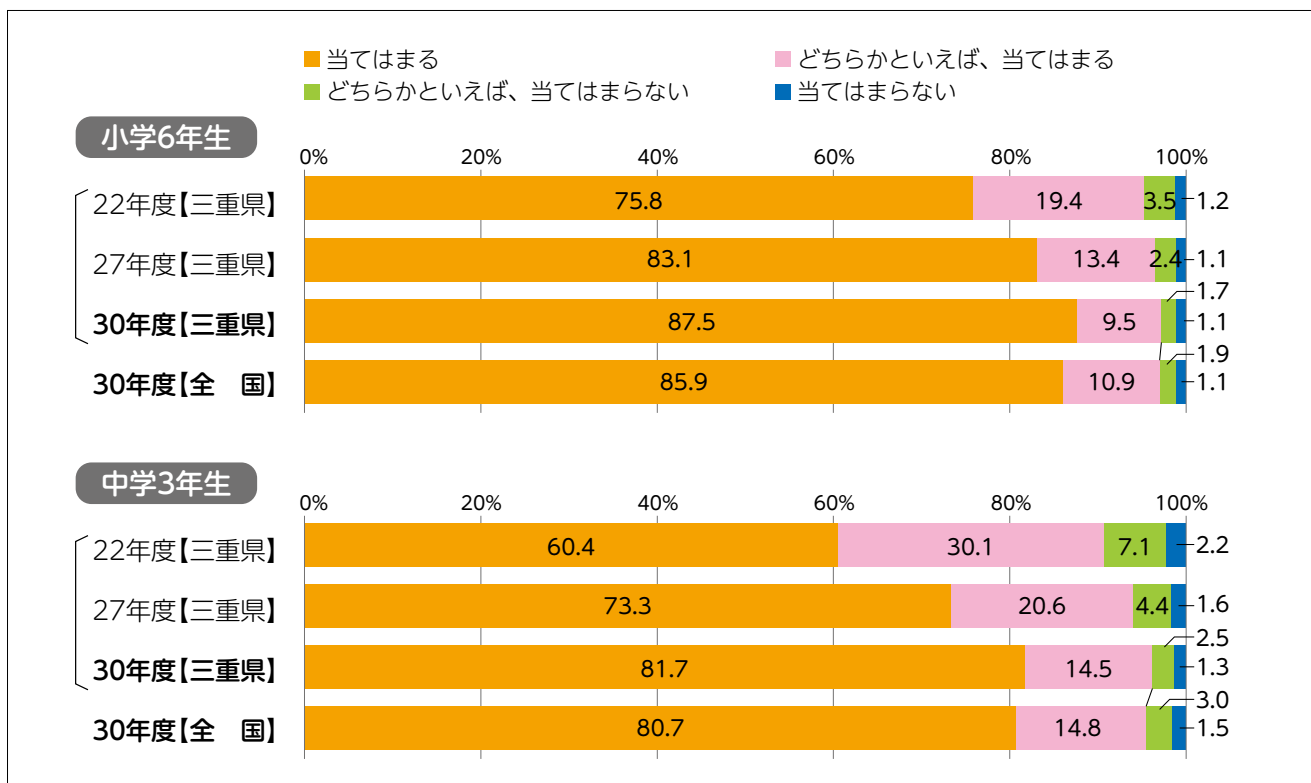
資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●いじめがいけないことだと思っている子どもは9割以上。

いじめがいけないことだと思っているかについて、いけないことだと思う、どちらかといえばいけないことだと思うと答えた小学生は97.0%、中学生は96.2%と全国とほぼ同じ状況です。

平成22年度と比較すると、いけないことだと思うと答えた小学生は11.7ポイント、中学生は21.3ポイント上昇しています。

■ 図 2-9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

3 子どもの悩みと相談相手

●つらい気持ちになるときについて、小学生は「友だちと仲良くできないとき」、中学生、高校生は「テストの点や成績が悪いとき」が最も高い。

つらい気持ちになるときについて、小学生は「友だちと仲良くできないとき」が58.1%と最も高く、次いで「テストの点や成績が悪いとき」が52.0%、「家の人と仲良くできないとき」が38.2%となっています。中学生は「テストの点や成績が悪いとき」が68.0%と最も高く、次いで「友だちと仲良くできないとき」が59.4%、「授業がよくわからないとき」が33.2%となっています。高校生は「テストの点や成績が悪いとき」が60.1%と最も高く、次いで「友だちと仲良くできないとき」が58.0%、「受験や進路のことですまくいかないとき」が36.3%となっています。

■ 図 2-10 あなたがつらい気持ちになるのはどんなときですか（複数回答・いくつでも）

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
家の人と仲良くできないとき	③39.3	28.4	③38.2	28.4	③25.7	30.9	31.9	19.4	27.3
友だちと仲良くできないとき	①64.8	①49.7	①58.1	②62.9	②57.2	②59.4	①61.4	②52.9	②58.0
授業がよくわからないとき	34.5	23.5	34.7	③34.4	24.5	③33.2	27.1	18.7	33.6
テストの点や成績が悪いとき	②55.5	②45.6	②52.0	①65.9	①66.8	①68.0	②50.2	①54.3	①60.1
受験や進路のことですまくいかないとき	11.3	10.0	14.4	27.6	18.8	20.0	③40.7	③29.1	③36.3
自分の意見を聞いてもらえないとき	32.1	27.4	31.9	22.8	24.7	25.8	28.1	20.8	22.6
クラブ活動（部活動）の練習などが厳しいとき	13.3	10.4	13.5	27.2	24.1	30.7	19.4	21.3	25.7
自分の容姿（外見）のことで悩むとき ※1	—	—	15.4	—	—	23.9	—	—	29.0
いじめられたとき ※2	—	③34.6	36.6	—	21.5	22.4	—	12.9	15.5
その他	8.2	5.0	5.8	2.8	5.0	5.3	6.3	6.1	4.5
つらい気持ちになったことはない	4.0	6.5	7.5	2.9	5.9	5.0	3.4	4.3	4.2
無回答	2.8	1.5	0.8	2.6	1.1	0.9	3.6	2.9	1.1

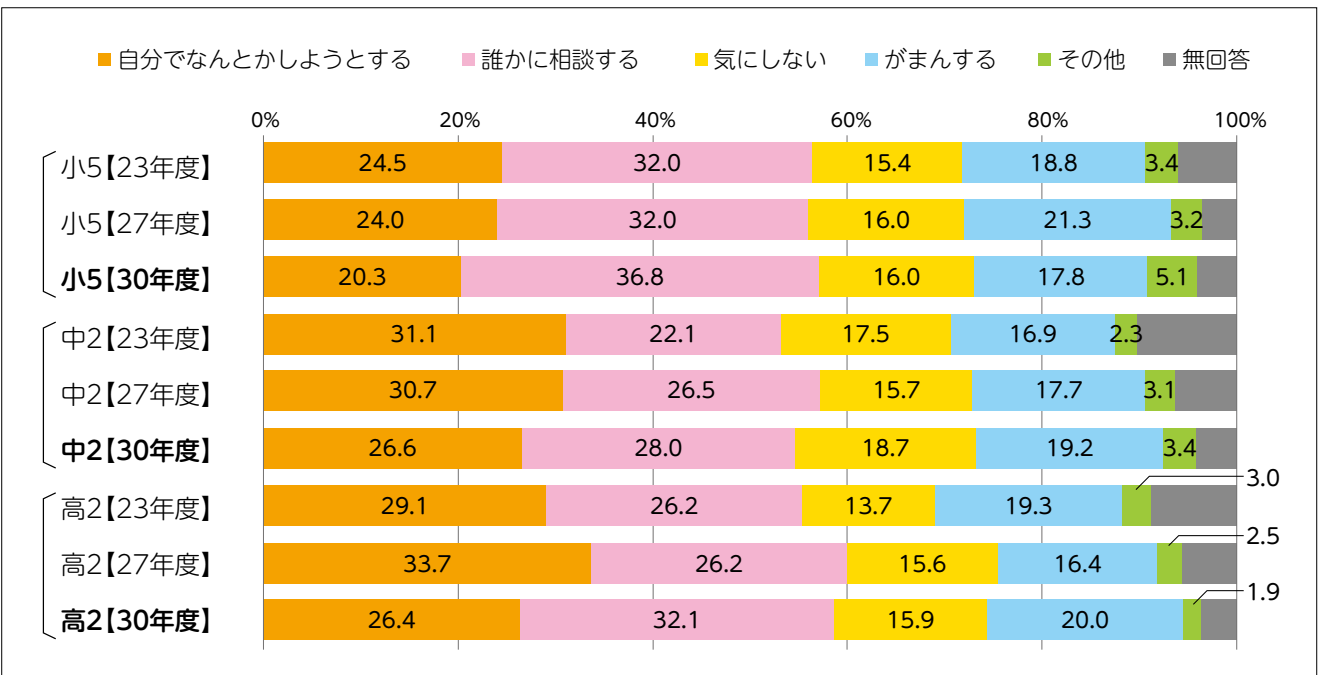
※1 23年度、27年度にこの調査項目はありません ※2 23年度にこの調査項目はありません
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」〔〇番号は割合の多い順を表しています。〕

●つらい気持ちになったときの対応について「誰かに相談する」が最も高い。

つらい気持ちになったときの対応について、小学生、中学生、高校生ともに「誰かに相談する」が最も高くなっています。

中学生、高校生では、平成23年度、平成27年度において「自分でなんとかしようとする」が最も高くなっていますが、平成30年度は「誰かに相談する」の割合が高くなっています。また、小学生は平成23年度、平成27年度と比較すると、「誰かに相談する」の割合が増加する一方、「自分でなんとかしようとする」の割合が減少しています。

■ 図 2-11 つらい気持ちになったときに、あなたはどのようにしますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

悩みを抱える子どもや子育て中の保護者を支援する取組を行っているNPOの方に聞きました

●子どもたちがつらい気持ちになるときについて(P. 26、40参照)

今回の調査結果では、中学生や高校生がつらい気持ちになるときについて、テストの点や成績が悪いときが最も高くなっています。しかし、ふだん「こどもほっとダイヤル」などで子どもの声を聴いていると、子どもたちは成績が悪いことより、成績が悪いことによる親や周囲との関係に悩んでいると感じることが多いです。

保護者を対象とした子どもに関する不安や悩みに関する設問では、子どもの成績や進学との回答が最も高くなっていることから、保護者の子どもに対する成績や進学についての期待を感じるものとなっています。そのことを子どもが感じとっているため、成績が悪いときにつらい気持ちになるとの回答が多かったのではないかと推測します。

(NPO法人 三重県子どもNPOサポートセンター)

●相談相手について小学生は「親（保護者）」、中学生、高校生は「友だち」が最も高い。

困ったことや悩みがあったとき、誰に相談するか、あるいはしようと思うかについて、小学生は「親（保護者）」が70.4%と最も高く、次いで「友だち」が53.7%、「学校の先生」が24.1%となっています。中学生は「友だち」が68.6%と最も高く、次いで「親（保護者）」が57.9%、「学校の先生」が21.6%となっています。高校生は「友だち」が74.0%と最も高く、次いで「親（保護者）」が55.7%、「兄弟姉妹」が17.6%となっています。

■ 図 2-12 あなたは、困ったことや悩みがあったとき、誰に相談しますか、あるいはしようと思いませんか（複数回答・いくつでも）

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
親（保護者）	①70.8	①71.7	①70.4	②55.8	②52.5	②57.9	②50.2	②48.7	②55.7
兄弟姉妹	③22.9	③21.1	22.9	③18.7	15.9	16.8	③20.0	15.5	③17.6
おじいさん、おばあさん	18.3	13.9	16.4	6.6	7.4	9.0	4.9	3.6	4.2
親せき ※1	—	3.6	6.2	—	3.0	3.6	—	1.1	2.1
友だち	②58.9	②46.1	②53.7	①67.0	①64.9	①68.6	①70.2	①70.9	①74.0
学校の先生	19.1	③21.1	③24.1	12.7	16.4	③21.6	12.7	9.3	12.3
児童福祉施設の先生・スタッフ	0.1	0.6	1.7	0.4	0.5	0.4	0.3	0.0	0.2
フリースクールのスタッフ	0.0	0.2	0.4	0.2	0.4	0.3	0.4	0.0	0.4
塾や習い事の先生、スポーツクラブのコーチ	4.7	4.3	3.6	4.6	4.8	5.1	2.9	1.3	3.4
近所の知り合いの人	1.0	1.9	2.0	0.7	1.2	0.5	1.1	0.5	0.2
専門の相談機関（病院や児童相談所など）	0.8	0.6	1.1	0.6	0.7	0.5	0.6	0.6	0.6
電話やメールでの相談 ※2	—	—	2.7	—	—	3.7	—	—	1.8
インターネット（掲示板など）での相談	1.6	0.6	1.1	3.8	3.4	3.0	4.7	3.2	2.9
学童保育や児童館のスタッフ ※3	0.3	0.6	—	0.4	—	—	0.3	—	—
電話での相談 ※4	0.7	1.2	—	1.0	0.9	—	1.0	1.0	—
その他	1.9	1.5	1.8	1.5	1.4	1.7	3.2	1.6	1.4
誰にも相談しない	11.9	13.7	11.1	11.8	③19.3	12.9	10.6	③17.0	11.0
無回答	1.5	1.1	0.8	2.2	0.9	0.7	2.2	1.9	0.2

※1 23年度にこの調査項目はありません ※2 23年度、27年度にこの調査項目はありません

※3 30年度、ならびに27年度の中学2年生と高校2年生にこの調査項目はありません ※4 30年度にこの調査項目はありません

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

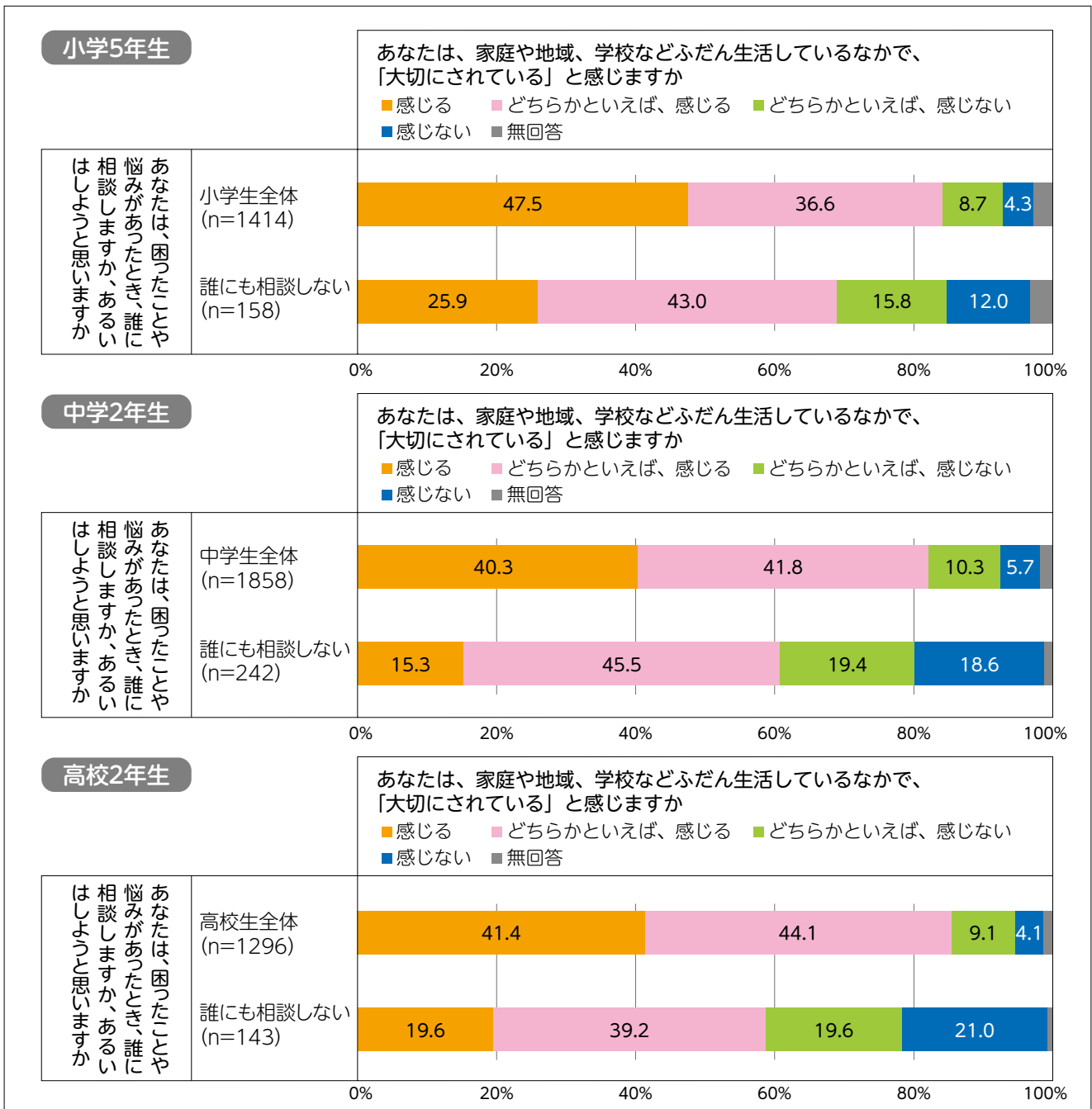
● **悩みがあったとき、「誰にも相談しない」子どものほうが、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じる割合が、子ども全体より低い。**

「悩みがあったときの相談相手の有無」と「ふだんの生活のなかで、大切にされていると感じる」の関係について、悩みがあったときに「誰にも相談しない」と答えた子どもは、小学生、中学生、高校生のすべてで、全体より家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じる「どちらかといえば、感じる」と答えた割合が低くなっています。

また、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、「誰にも相談しない」と答えた子どもと子ども全体の大切にされていると感じる「どちらかといえば、感じる」と答えた割合の差は広がっています。

以下の図における「誰にも相談しない」は、設問「あなたは、困ったことや悩みがあったとき、誰に相談しますか、あるいはしようと思いませんか」の選択肢のうち、「誰にも相談しない」と回答した人を表しています。「小学生全体」は、同設問について、「誰にも相談しない」と回答した人を含めた全回答者を表しています。中学生、高校生に同じ。

■ **図 2-13 「悩みがあったときの相談相手の有無」と「ふだんの生活のなかで、大切にされていると感じる」の関係**



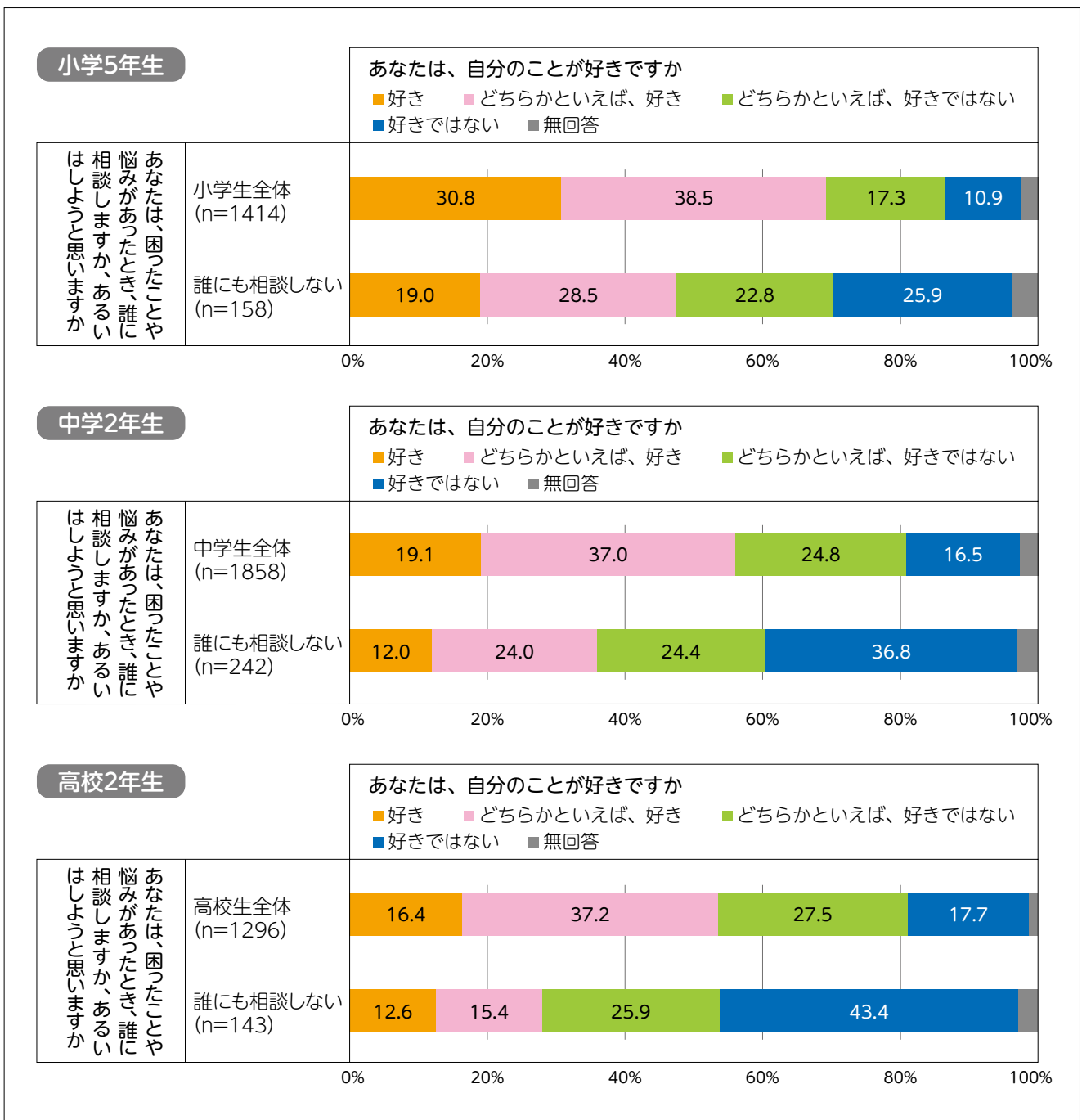
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

● **悩みがあったとき、「誰にも相談しない」子どものほうが、自分のことが「好き」な割合が、子ども全体より低い。**

「悩みがあったときの相談相手の有無」と「自分のことが好き」の関係について、悩みがあったときに「誰にも相談しない」と答えた子どもは、小学生、中学生、高校生のすべてで、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた割合が20ポイント以上低くなっています。

以下の図における「誰にも相談しない」は、設問「あなたは、困ったことや悩みがあったとき、誰に相談しますか、あるいはしようと思いませんか」の選択肢のうち、「誰にも相談しない」と回答した人を表しています。「小学生全体」は、同設問について、「誰にも相談しない」と回答した人を含めた全回答者を表しています。中学生、高校生に同じ。

■ 図2-14 「悩みがあったときの相談相手の有無」と「自分のことが好き」の関係



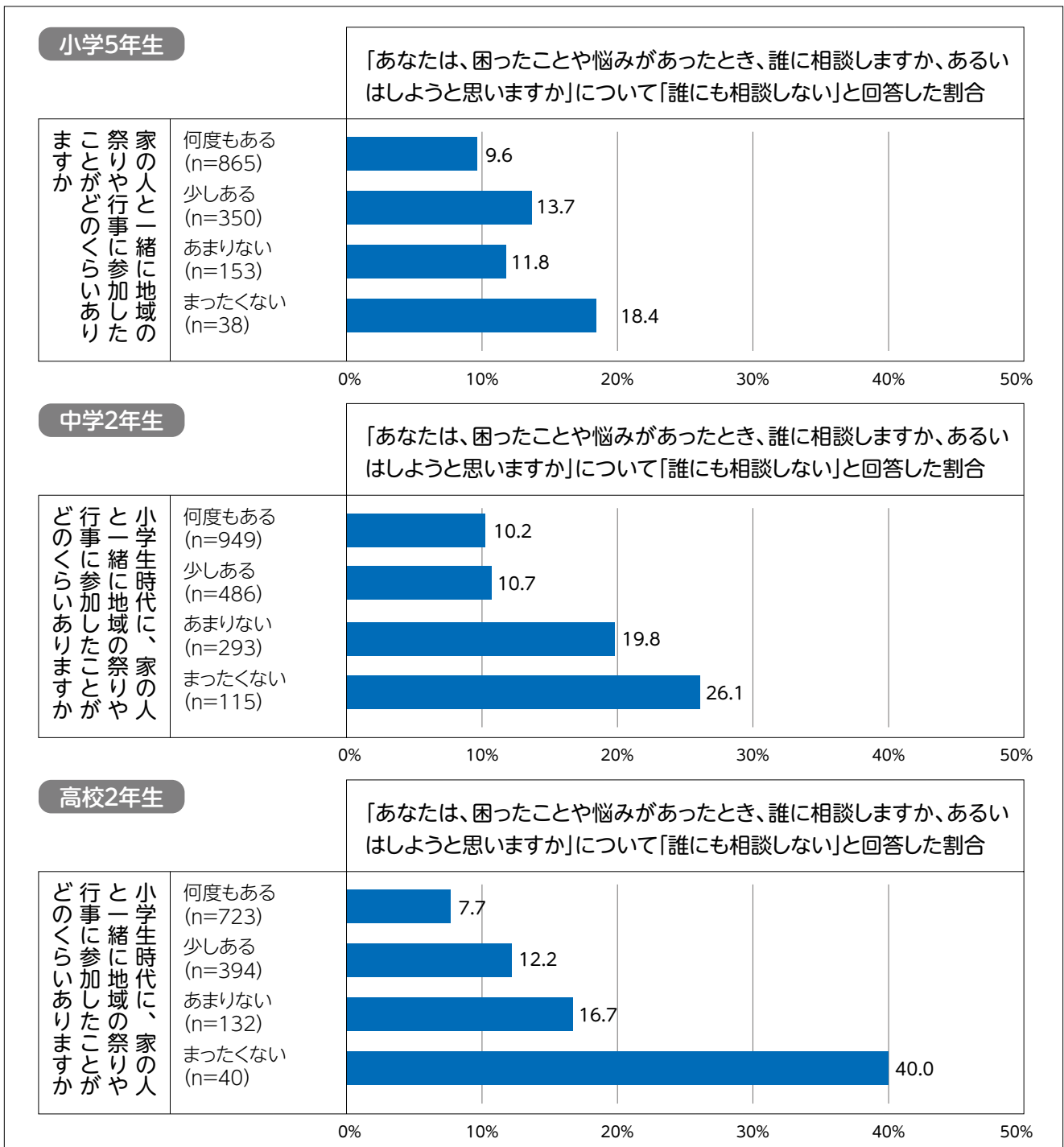
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●小さいころに家の人と一緒に地域の行事に何度も参加したことがある子どもより、まったくない子どものほうが、悩みがあったとき「誰にも相談しない」割合が高い。

「小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「悩みがあったときの相談相手の有無」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことが「まったくない」と答えた子どもは、「何度もある」と答えた子どもより悩みがあったとき「誰にも相談しない」と回答する割合が高くなっています。

また、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことが「何度もある」と答えた子どもと「まったくない」と答えた子どもの「誰にも相談しない」と答えた割合の差は広がっています。

■ 図 2-15 「小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「悩みがあったときの相談相手の有無」の関係



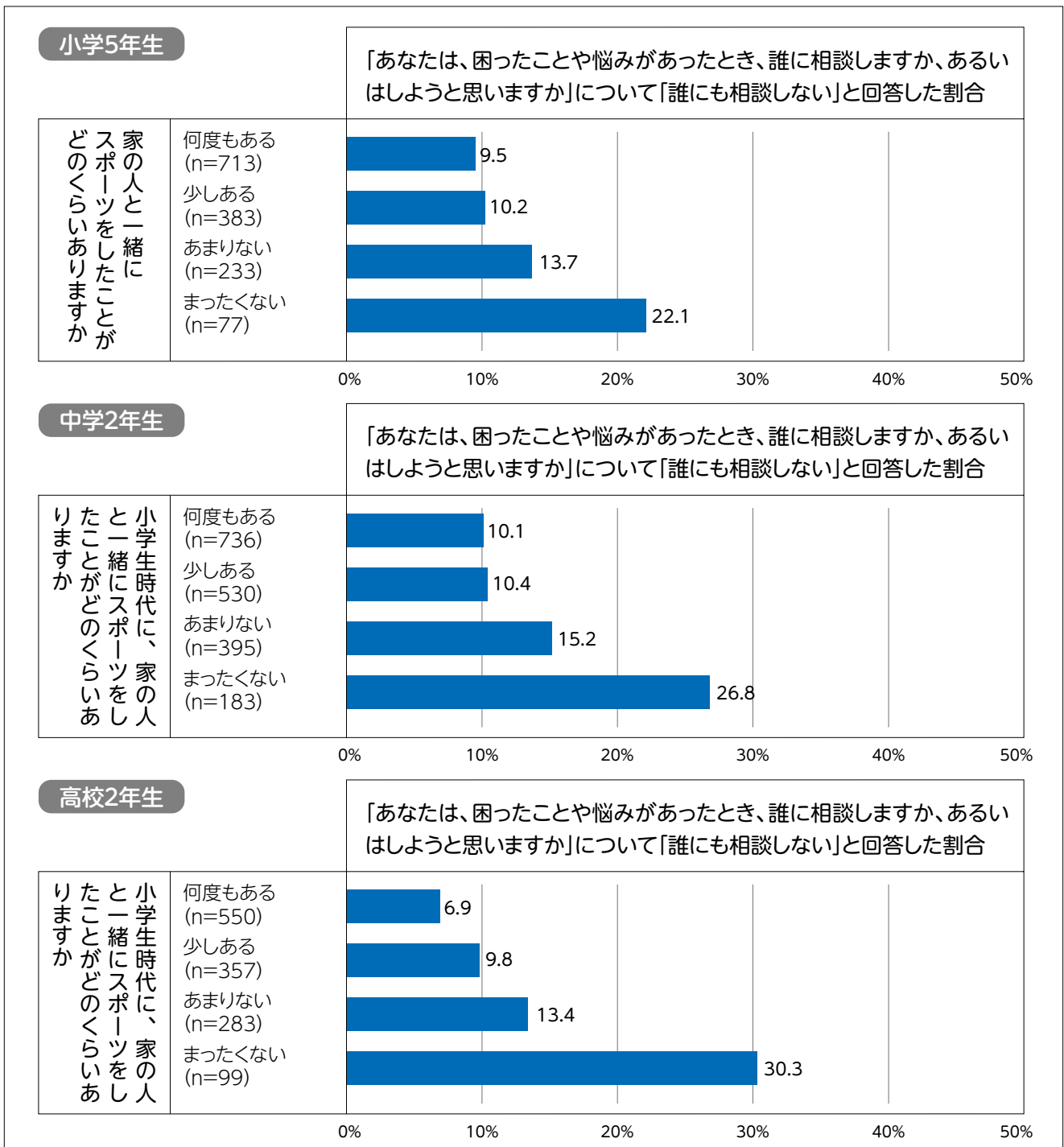
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●小さいころに家の人と一緒にスポーツをしたことが何度もある子どもより、まったくない子どものほうが、悩みがあったとき「誰にも相談しない」割合が高い。

「小学生時代に、家の人と一緒にスポーツをしたこと」と「悩みがあったときの相談相手の有無」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、小学生時代に、家の人と一緒にスポーツをしたことが「まったくない」と答えた子どもは、「何度もある」と答えた子どもより悩みがあったとき「誰にも相談しない」と回答する割合が高くなっています。

また、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、家の人と一緒にスポーツをしたことが「何度もある」と答えた子どもと「まったくない」と答えた子どもの「誰にも相談しない」と答えた割合の差は広がっています。

■ 図 2-16 「小学生時代に、家の人と一緒にスポーツをしたこと」と「悩みがあったときの相談相手の有無」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

第3章

子どもと大人

この章では「三重県子ども条例に基づく調査」の結果をもとに、家庭での状況や子どもの頃の体験、子どもの自己決定の場面などから子どもと大人の意識の違いなどをみます。

学校などでの出来事や困ったこと、悩みごとなどについて家の人に話をしている子どもの割合は、保護者自身が思うより低くなっています。

ふだんの生活のなかで大切にされていると感じる子どもの割合は、8割以上となっていますが、保護者が思うより低くなっています。また、今の社会のなかで子どもたちが大切にされていると感じる県民の割合は減少しており、約7割と子どもや保護者よりさらに低くなっています。

小学生時代に自然の中で遊んだことや地域の祭りや行事に参加したこと、家の人と一緒にスポーツをしたことなどの経験がある子どもは、ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高くなっており、小さい頃の体験活動と地域との関わりに関係性がみられます。

ふだん生活しているなかで大切にされていると感じる子どもや大人が意見を聞いてくれると感じる子どもは、感じない子どもより、自分のことが好きな割合が高くなっています。

1 家族との関係

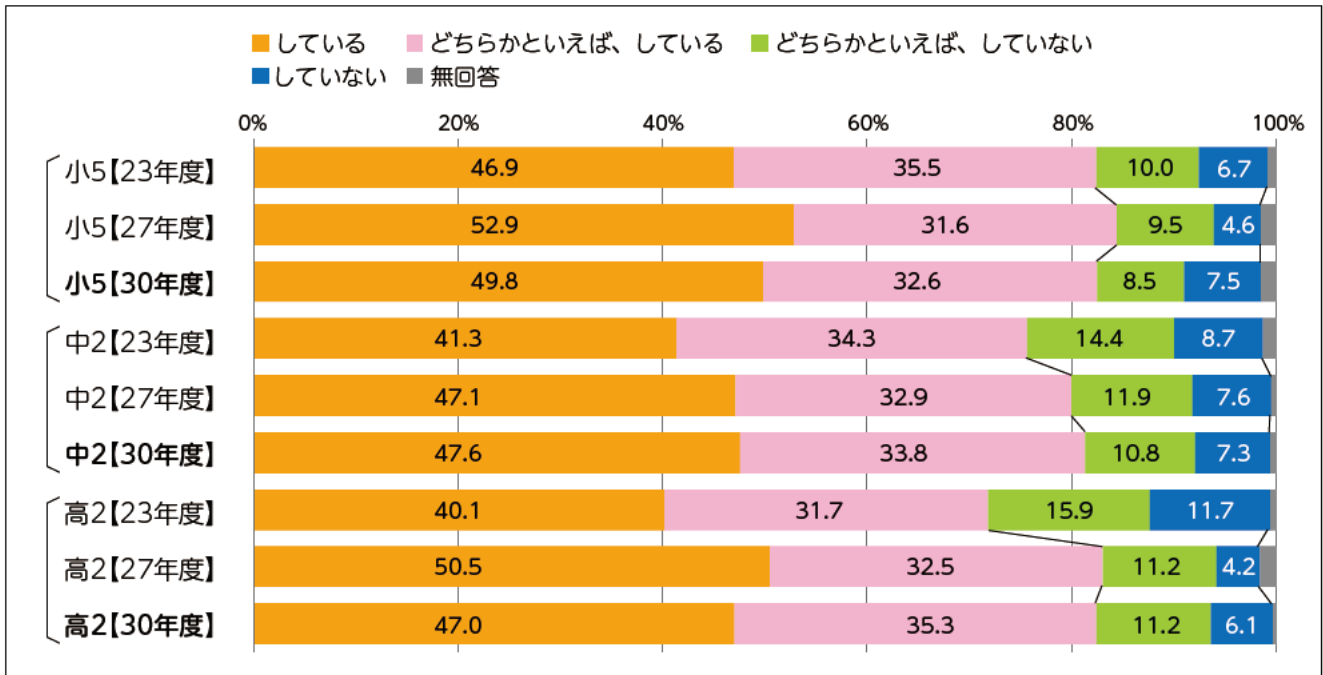
●学校などでの出来事について「話をしている」子ども、保護者は8割以上。

家の人と学校などでの出来事について話をしているかについて、「している」「どちらかといえば、している」と答えた小学生は82.4%、中学生は81.4%、高校生は82.3%となっています。

子どもと学校などでの出来事について話をしているかについて、「話している」「どちらかといえば、話している」と答えた小学生の保護者は91.5%、中学生の保護者は85.3%となっています。

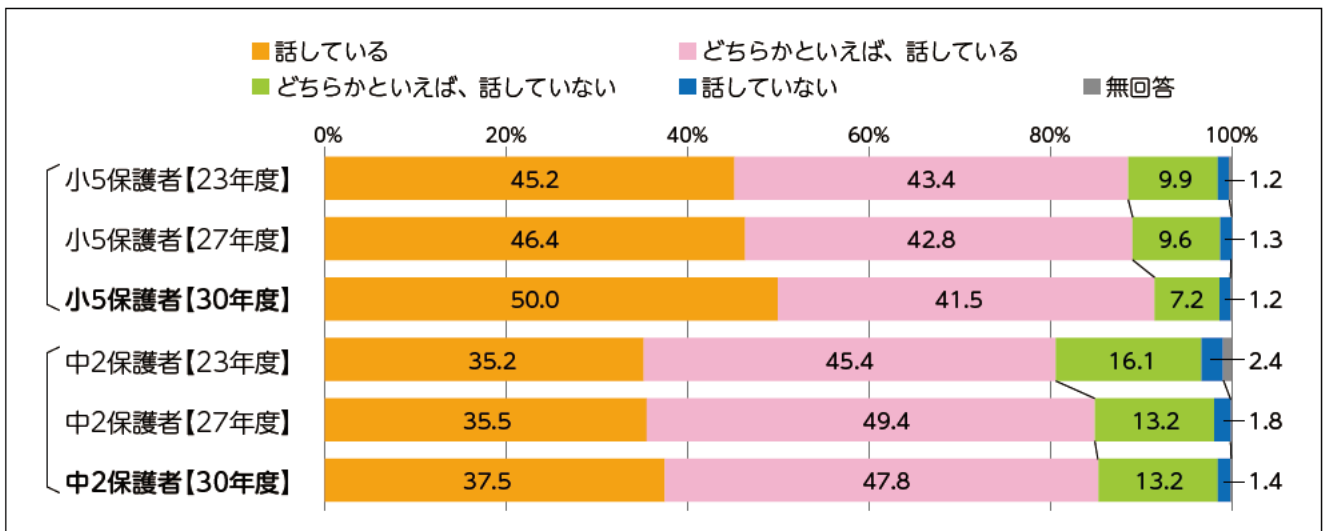
中学生は「している」と回答した割合が47.6%になっているのに対し、中学生の保護者は37.5%となっており、子どもより10.1ポイント低くなっています。

■ 図 3-1 あなたは、家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校などでの出来事について話をしていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-2 あなたは、お子さまと学校などでの出来事について話をしていますか



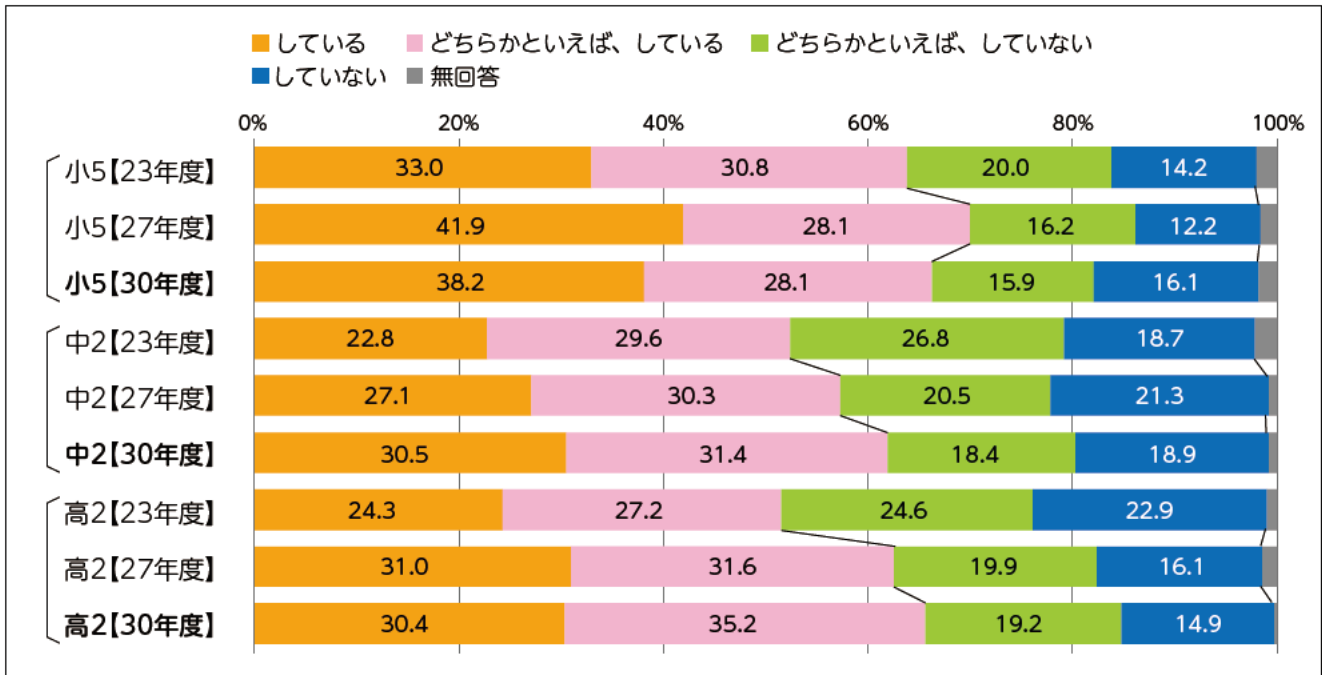
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●困ったことや悩みごとについて家の人と話をしている子どもは6割以上だが、保護者が思っているほどは相談していない。

困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしているかについて、「している」「どちらかといえば、している」と答えた小学生は66.3%、中学生は61.9%、高校生は65.6%となっています。

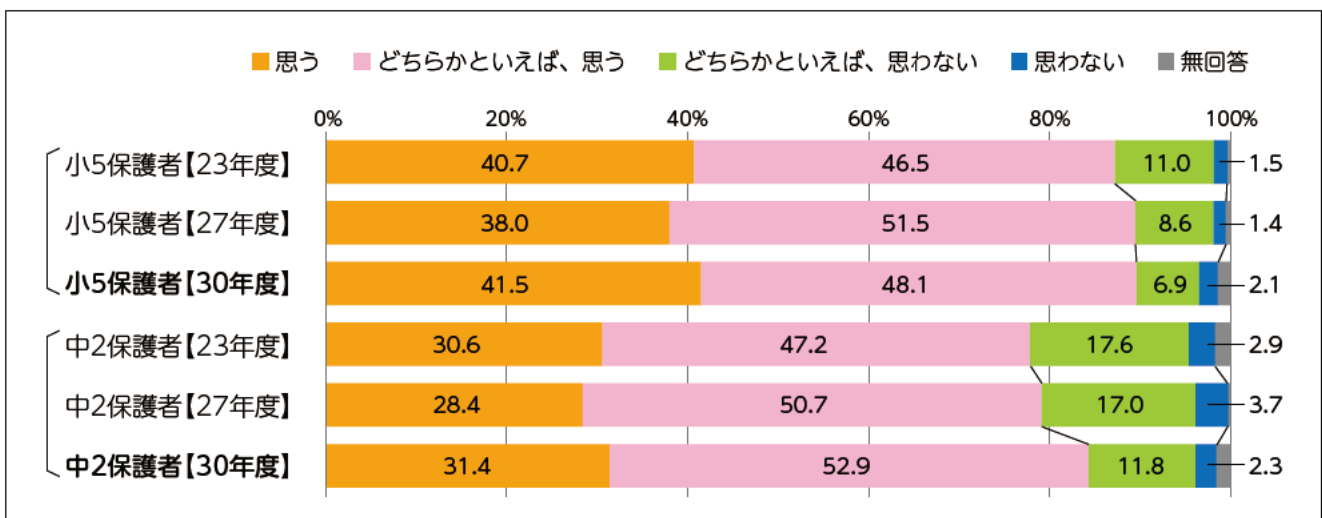
子どもが困ったことや悩みがあったとき、自身や家の人に話をしていると思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生の保護者は89.6%、中学生の保護者は84.3%となっており、子どもよりそれぞれ23.3ポイント、22.4ポイント高くなっています。

■ 図 3-3 あなたは、困ったことや悩みがあったとき、家の人（兄弟姉妹は含みません）に話をして
いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-4 あなたは、お子さまが困ったことや悩みがあったとき、あなたや家の人（お子さまの兄弟
姉妹は含みません）に話をしていると思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

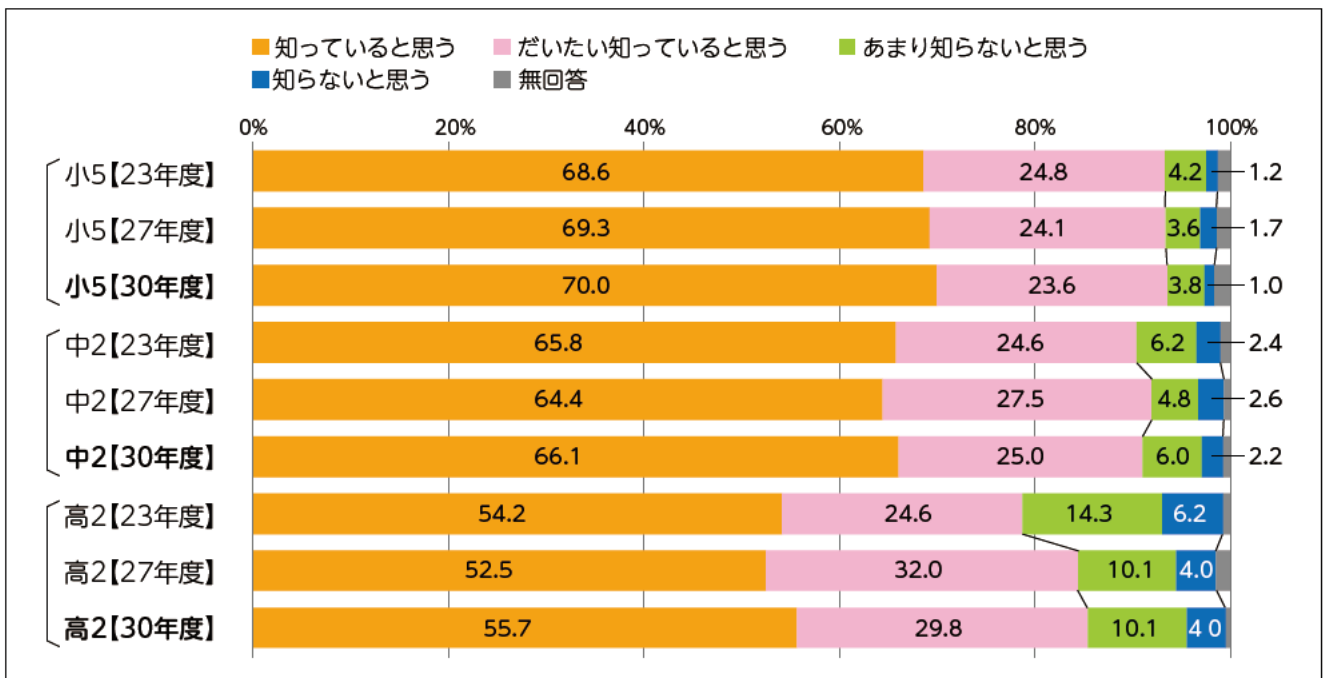
●「家の人(兄弟姉妹は含みません)が仲の良い友だちの名前を知っていると思う」小学生、中学生と、「子どもの仲の良い友だちの名前を知っている」保護者はともに9割以上。

家の人(兄弟姉妹は含みません)が仲の良い友だちの名前を知っているかについて、「知っていると思う」「だいたい知っていると思う」と答えた小学生は93.6%、中学生は91.1%、高校生は85.5%となっています。

子どもの仲の良い友だちの名前を知っているかについて、「知っている」「だいたい知っている」と答えた小学生の保護者は95.4%、中学生の保護者は92.8%となっています。

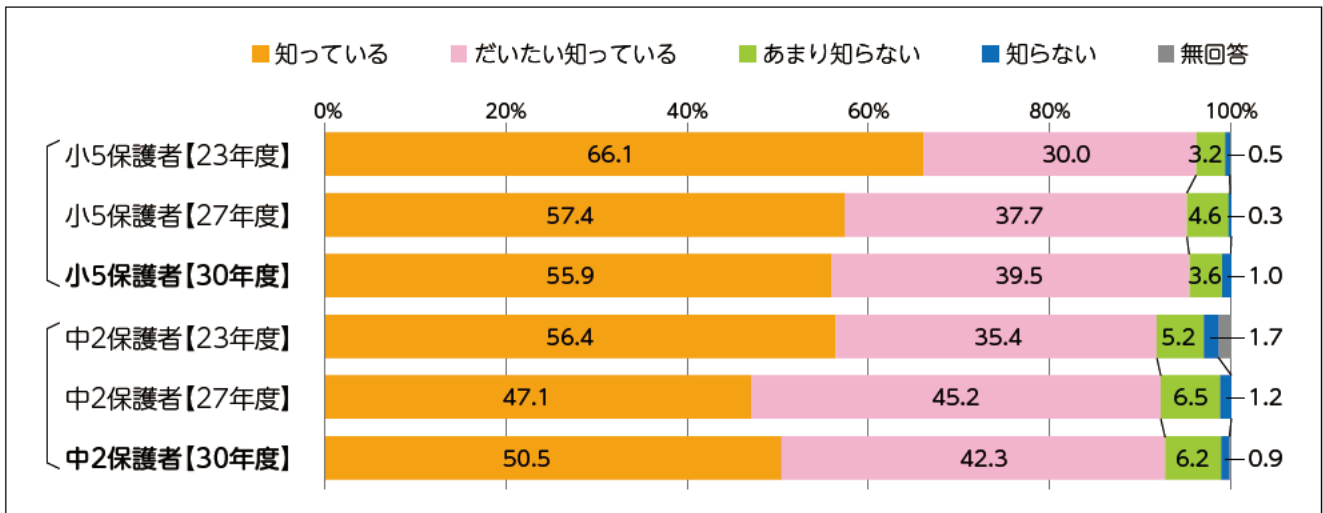
「知っていると思う」と答えた小学生が70.0%、中学生が66.1%となっているのに対し、「知っている」と答えた小学生の保護者は55.9%、中学生の保護者は50.5%となっており、子どもよりそれぞれ14.1ポイント、15.6ポイント低くなっています。

■ 図 3-5 家の人(兄弟姉妹は含みません)は、あなたの仲の良い友だちの名前を知っていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-6 あなたは、お子さまの仲の良い友だちの名前を知っていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●子どもがいきいきと育つための保護者の役割は「心の安らぎを与える」「心身の成長を支える」「子どもの夢や希望を応援する」が高い。

子どもがいきいきと育つために担うべき役割について、小学生の保護者は「心の安らぎを与える」が79.3%と最も高く、次いで「心身の成長を支える」が77.7%、「子どもの夢や希望を応援する」が72.6%となっています。中学生の保護者は「心身の成長を支える」が77.3%と最も高く、次いで「子どもの夢や希望を応援する」が76.3%、「心の安らぎを与える」が75.0%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生、中学生の保護者ともに「気軽に相談にのる」、「事故や犯罪から守る」の割合が10ポイント以上上昇しています。また、中学生の保護者は「心身の成長を支える」、「子どもの夢や希望を応援する」の割合も10ポイント以上上昇しています。

■ 図 3-7 お子さまがいきいきと育つために、あなたはどのような役割を担うべきだと思いますか
(複数回答・いくつでも)

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
心の安らぎを与える	①79.3	①82.6	①79.3	①75.6	①73.3	③75.0
心身の成長を支える	②68.6	②74.6	②77.7	③65.7	③69.8	①77.3
しつけをおこなう	46.9	45.6	50.8	40.9	41.4	45.9
社会規範を教える	39.5	42.2	45.7	41.3	41.1	44.9
気軽に相談にのる	50.9	55.6	62.1	51.3	56.3	64.2
積極的に声をかける	30.4	29.2	34.7	31.2	27.5	33.8
事故や犯罪から守る	50.2	56.2	61.4	43.6	48.7	55.7
有害な情報から守る	29.3	29.7	33.5	25.8	25.7	30.3
勉強を教える	21.3	23.5	27.1	9.0	10.4	13.3
スポーツや遊びの指導や相手をする	25.2	26.2	27.7	14.9	14.5	16.7
さまざまな体験の機会を設ける	56.9	59.9	59.5	44.5	45.2	48.3
伝統や文化、風習を伝える	22.2	21.9	22.1	18.8	17.2	17.8
家庭における役割を与える	39.1	36.8	36.2	34.8	33.1	33.3
自主的な活動をうながす	45.9	45.4	44.7	42.6	42.4	47.0
子どもの夢や希望を応援する	③67.8	③72.5	③72.6	②66.1	②72.7	②76.3
その他	0.8	1.5	0.8	1.0	1.2	0.8
わからない	0.0	0.4	0.3	0.7	0.5	0.3
無回答	0.3	0.3	0.3	0.7	0.5	0.5

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●子どもがほっとする場所について、小学生、中学生の保護者は「自分の家で、家族と過ごす場所」と思う割合が8割以上だが、小学生は約6割、中学生は約5割と意識に差がある。

ほっとする場所について、小学生は「自分の家で、家族と過ごす場所」が64.1%と最も高く、次いで「自分の家で、1人で過ごせる場所」が54.9%、「おじいさんやおばあさんの家」が38.8%となっています。中学生は「自分の家で、1人で過ごせる場所」が80.7%と最も高く、次いで「自分の家で、家族と過ごす場所」が48.4%、「おじいさんやおばあさんの家」が24.1%となっています。高校生は「自分の家で、1人で過ごせる場所」が88.1%と最も高く、次いで「自分の家で、家族と過ごす場所」が41.6%、「友だちの家」が15.8%となっています。

子どもがほっとする場所について、小学生の保護者は「自分の家で、家族と過ごす場所」が92.5%と最も高く、次いで「おじいさんやおばあさんの家」が46.7%、「自分の家で、1人で過ごせる場所」が44.6%となっています。中学生の保護者は「自分の家で、家族と過ごす場所」が82.1%と最も高く、次いで「自分の家で、1人で過ごせる場所」が70.2%、「おじいさんやおばあさんの家」が33.0%となっています。

小学生、中学生ともに「自分の家で、1人で過ごせる場所」が保護者よりそれぞれ10.3ポイント、10.5ポイント高く、「自分の家で、家族と過ごす場所」が保護者よりそれぞれ28.4ポイント、33.7ポイント低くなっています。

■ 図 3-8 あなたがほっとする場所はどんなところですか（複数回答・いくつでも）

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
自分の家で、一人で過ごせる場所 ※1	—	—	②54.9	—	—	①80.7	—	—	①88.1
自分の家で、家族と過ごす場所 ※2	—	—	①64.1	—	—	②48.4	—	—	②41.6
自分の家 ※3	①83.7	①83.4	—	①85.9	①84.7	—	①84.6	①87.9	—
学校	17.2	15.5	22.0	②18.8	③20.9	22.5	③14.0	③12.7	11.9
友だちの家	③19.7	16.7	25.4	③17.5	20.5	23.8	②17.5	11.8	③15.8
おじいさんやおばあさんの家	②35.1	②37.5	③38.8	③17.5	②25.9	③24.1	12.0	②17.6	13.4
図書館	13.1	③23.7	26.9	7.8	13.5	17.3	5.9	6.9	6.5
公園	6.3	9.6	11.5	3.3	5.8	7.8	3.3	5.1	4.2
塾	2.2	4.3	5.3	1.8	5.2	5.2	0.8	1.5	2.4
児童館	1.0	1.6	4.4	0.0	0.4	1.2	0.1	0.1	0.2
習い事の教室、スポーツクラブ	8.5	8.7	14.2	3.8	5.5	7.3	2.5	2.2	2.4
フリースクール、フリースペース	0.0	0.2	1.1	0.2	0.7	1.3	0.3	0.3	0.6
コンビニエンスストア	1.5	2.5	6.2	2.2	4.0	5.6	1.6	1.7	3.1
ゲームセンター、カラオケボックス	8.6	10.2	15.9	7.1	10.4	12.1	6.6	6.1	9.7
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	2.8	2.3	7.1	2.1	3.0	4.0	2.4	2.0	2.4
その他	5.4	6.6	5.9	5.4	8.0	4.1	6.5	7.2	3.2
特にない	1.9	4.1	2.7	2.6	4.4	2.4	2.4	4.4	2.1
無回答	5.5	0.7	0.6	4.7	0.4	0.6	4.6	1.7	0.2

※ 23年度、27年度は、回答の選択を3つまでとしていたため、比較する際には注意が必要です

※ 1、2 23年度、27年度にこの調査項目はありません ※ 3 30年度にこの調査項目はありません

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

■ 図 3-9 あなたは、お子さまがほっとする場所はどんなところだと思いますか
(複数回答・いくつでも)

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
自分の家で、一人で過ごせる場所 ※1	—	—	③44.6	—	—	②70.2
自分の家で、家族と過ごす場所 ※2	—	—	①92.5	—	—	①82.1
自分の家 ※3	①94.2	①97.7	—	①94.1	①96.1	—
学校	③16.1	③18.2	19.5	③16.9	③19.2	19.7
友だちの家	10.3	9.2	13.8	13.6	11.2	13.7
おじいさんやおばあさんの家	②37.9	②47.6	②46.7	②26.2	②30.8	③33.0
図書館	3.4	4.8	5.3	2.2	3.1	3.8
公園	3.7	6.1	5.3	0.6	1.0	2.0
塾	1.0	0.8	2.1	2.4	3.0	2.4
児童館	0.5	0.8	1.7	0.1	0.2	0.9
習い事の教室、スポーツクラブ	9.8	9.7	11.2	8.3	6.0	8.2
フリースクール、フリースペース	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1	0.2
コンビニエンスストア	0.0	0.3	0.4	0.2	0.5	1.1
ゲームセンター、カラオケボックス	1.8	2.2	1.7	1.4	2.1	2.5
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	0.8	0.9	1.0	0.9	0.6	1.1
その他	1.4	2.5	1.7	3.1	2.1	2.0
特にない	0.0	0.1	0.0	0.3	0.7	0.1
わからない	0.2	0.6	0.4	0.6	1.0	0.7
無回答	3.3	0.4	0.2	2.6	0.3	0.3

※ 23年度、27年度は、回答の選択を3つまでとしていたため、比較するには注意が必要です

※ 1、2 23年度、27年度にこの調査項目はありません ※ 3 30年度にこの調査項目はありません

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

2 大人の理解・姿勢

●保護者の子どもに関する不安や悩みは「子どもの成績や進学」が最も高い。

子どもに関する不安や悩みについて、小学生の保護者は「子どもの成績や進学」が39.5%で最も高く、次いで「子どもの育て方やしつけ」が37.3%、「子どもの友だち関係」が31.1%となっています。中学生の保護者は「子どもの成績や進学」が64.9%で最も高く、次いで「子どもの育て方やしつけ」が28.8%、「子どもの生活態度」が28.5%となっています。

■ 図 3-10 あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか
(複数回答・いくつでも)

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
子どもの健康	24.3	24.8	20.4	20.8	24.3	20.1
子どもの成績や進学	①42.8	①47.1	①39.5	①73.9	①69.2	①64.9
子どもの友だち関係	③36.1	②42.8	③31.1	②28.2	②34.8	27.5
子どもの生活態度	26.5	24.8	26.5	23.7	27.0	③28.5
子どもの就職	11.1	7.9	6.3	18.5	13.2	12.3
子どもの育て方やしつけ	②41.8	③41.2	②37.3	③25.6	③28.3	②28.8
子どもとあなたとの関係 ※	—	6.8	8.1	—	5.8	7.6
子どもと配偶者との関係	4.8	4.1	5.6	3.5	4.9	5.2
子どもと先生との関係	4.7	8.0	6.2	7.3	6.1	7.1
教育費	17.7	21.7	19.7	20.2	21.4	24.3
その他	1.9	2.3	2.3	1.3	1.9	1.3
特に悩みはない	15.3	14.8	18.0	9.0	9.7	12.7
無回答	0.6	0.5	0.8	1.4	0.2	0.5

※ 23年度にこの調査項目はありません

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●ふだんの生活のなかで大切にされていると感じる子どもの割合は、保護者が自分の子どもについてそのように感じる割合より低い。

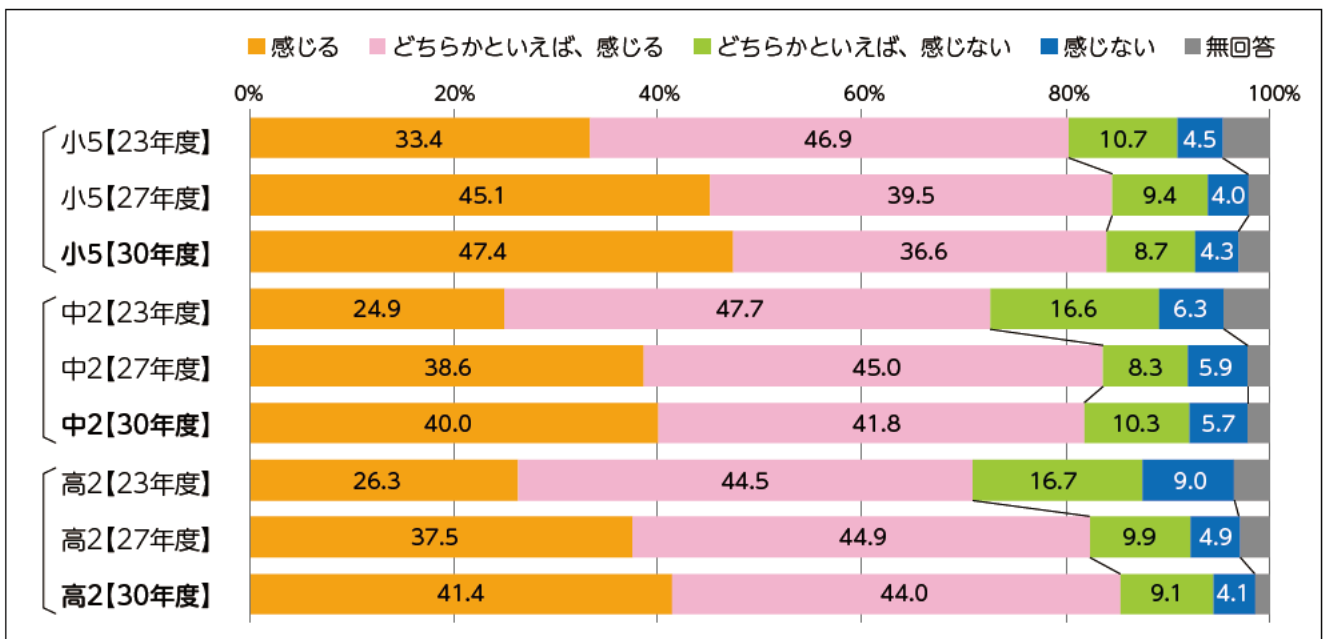
家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じるかについて、「感じる」「どちらかといえば、感じる」と答えた小学生は84.0%、中学生は81.8%、高校生は85.4%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生、中学生、高校生ともに「感じる」が10ポイント以上上昇しています。

自分の子どもが家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じるかについて、「感じる」「どちらかといえば、感じる」と答えた小学生の保護者は96.2%、中学生の保護者は94.5%となっています。

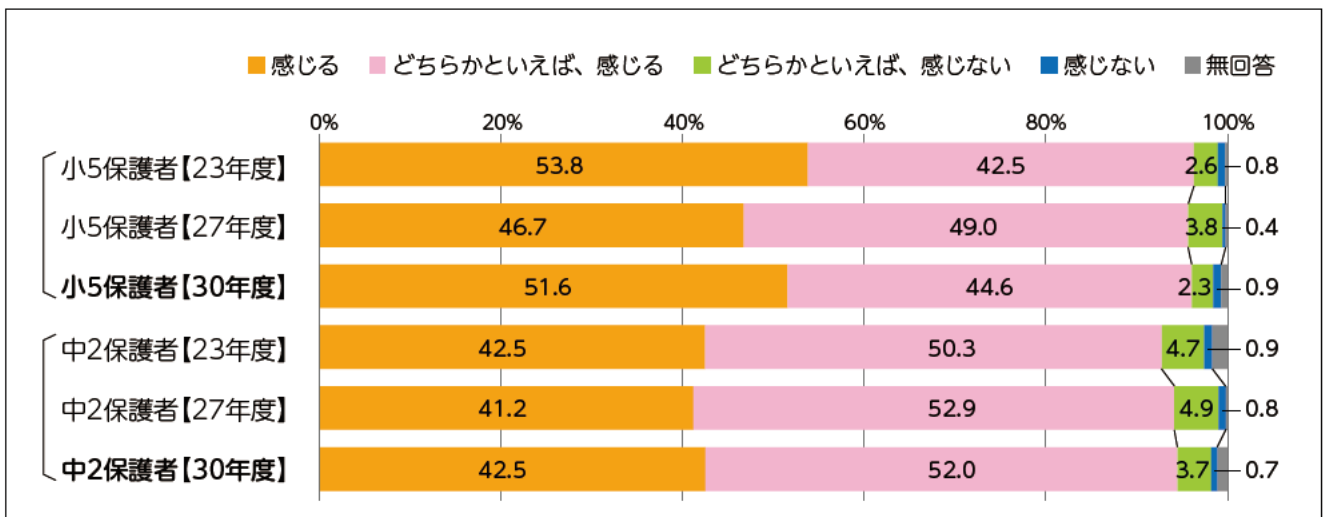
小学生、中学生ともに、「感じる」「どちらかといえば、感じる」の割合が保護者よりそれぞれ12.2ポイント、12.7ポイント低くなっています。

■ 図 3-11 あなたは、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-12 あなたは、あなたのお子さまが、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか

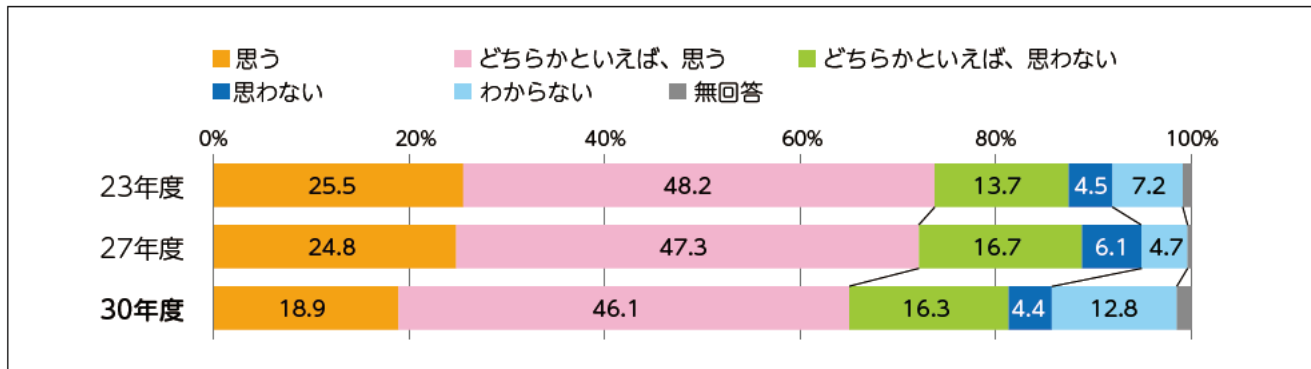


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思う県民の割合は減少している。

今の社会のなかで、子どもたちが大切にされているかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた県民は65.0%となっています。

■ 図 3-13 あなたは、今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思いますか



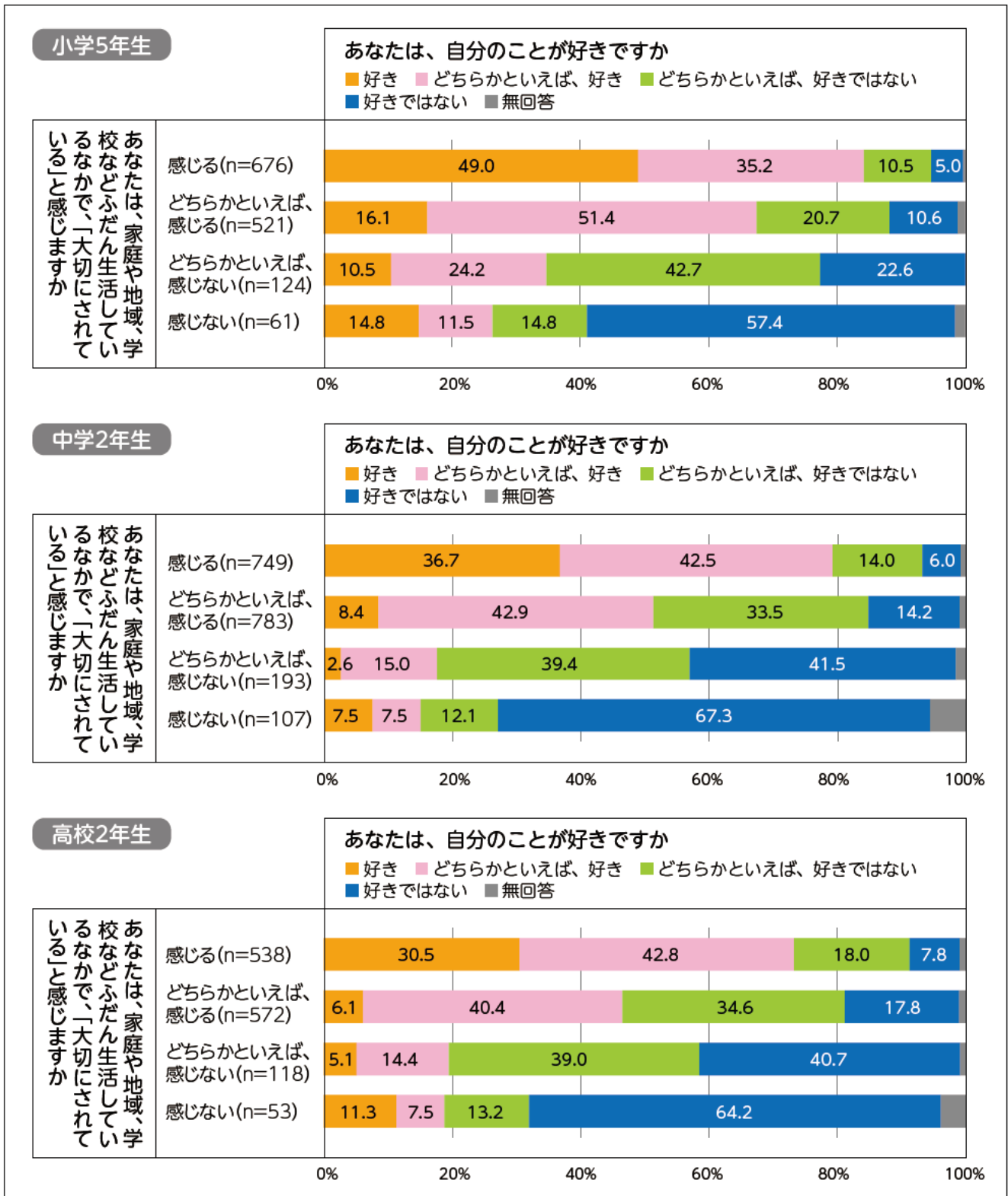
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●ふだんの生活のなかで大切にされていると感じる子どもは、大切にされていると感じない子どもより自分のことが好きな割合が高い。

「ふだんの生活のなかで、大切にされていると感じる」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生とも大切にされていると「感じる」と答えた子どもは「感じない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」の割合が高くなっています。

また、「感じない」と答えた子どもで、自分のことが「好きではない」と答えた小学生は57.4%、中学生は67.3%、高校生は64.2%となっており、いずれも過半数となっています。

■ 図 3-14 「ふだんの生活のなかで、大切にされていると感じる」と「自分のことが好き」の関係



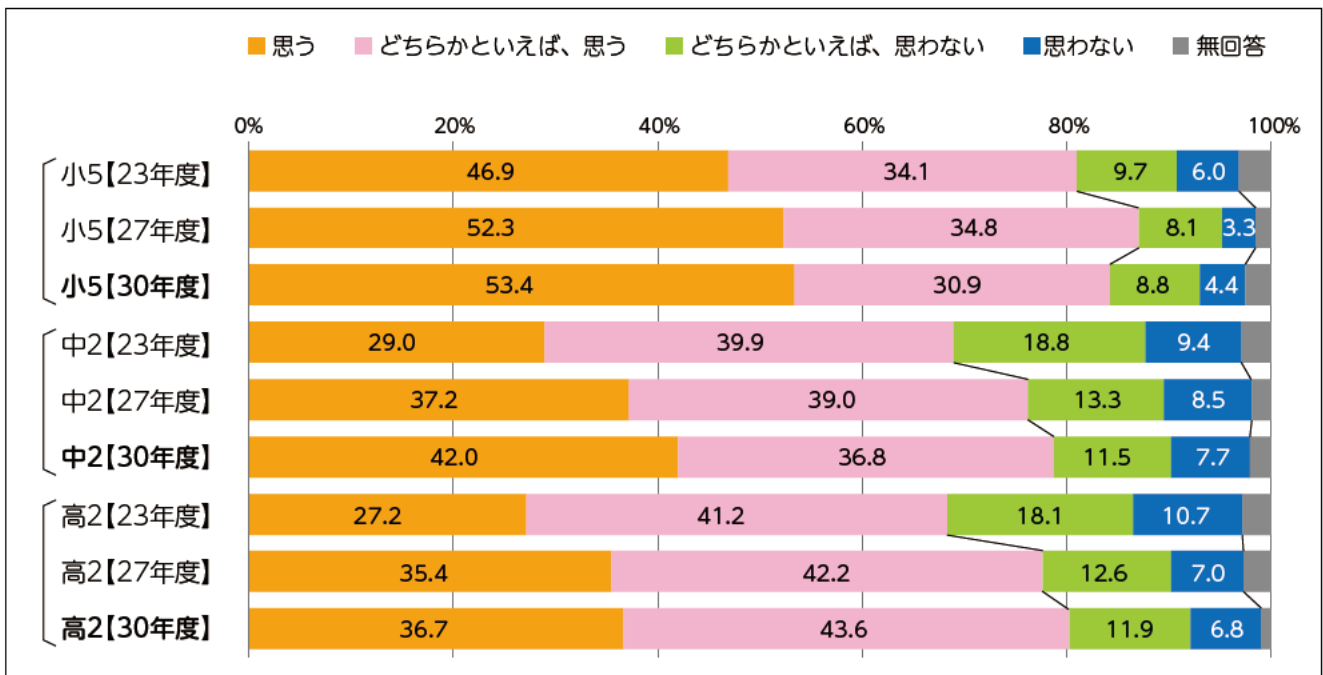
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●親などが自分のことをわかっていると思う子どもの割合は、子どもを理解していると思う保護者の割合より低い。

親（保護者）などの大人が自分のことをわかっていると思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生は84.3%、中学生は78.8%、高校生は80.3%となっています。平成23年度と比較すると、中学生は9.9ポイント、高校生は11.9ポイント上昇しています。

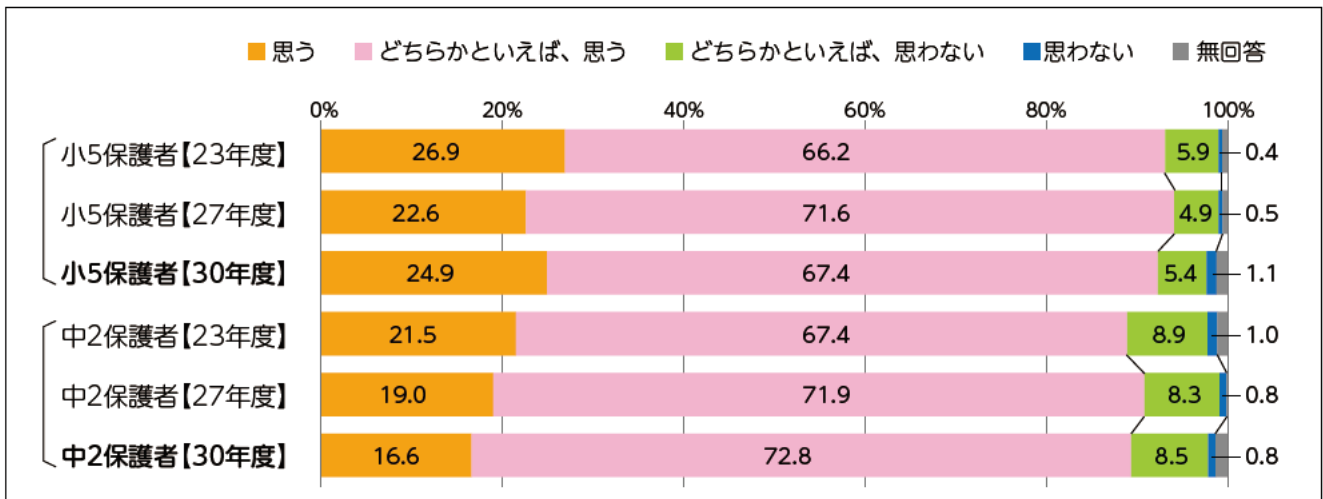
子どものことを理解していると思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生の保護者は92.3%、中学生の保護者は89.4%となっており、それぞれ子どもより高くなっています。一方で、「思う」と答えた小学生の保護者は24.9%、中学生の保護者は16.6%で、子どもよりそれぞれ28.5ポイント、25.4ポイント低くなっています。

■ 図 3-15 あなたは、親（保護者）などの大人は、「自分のことをわかっている」と思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-16 あなたは、お子さまのことを理解していると思いますか

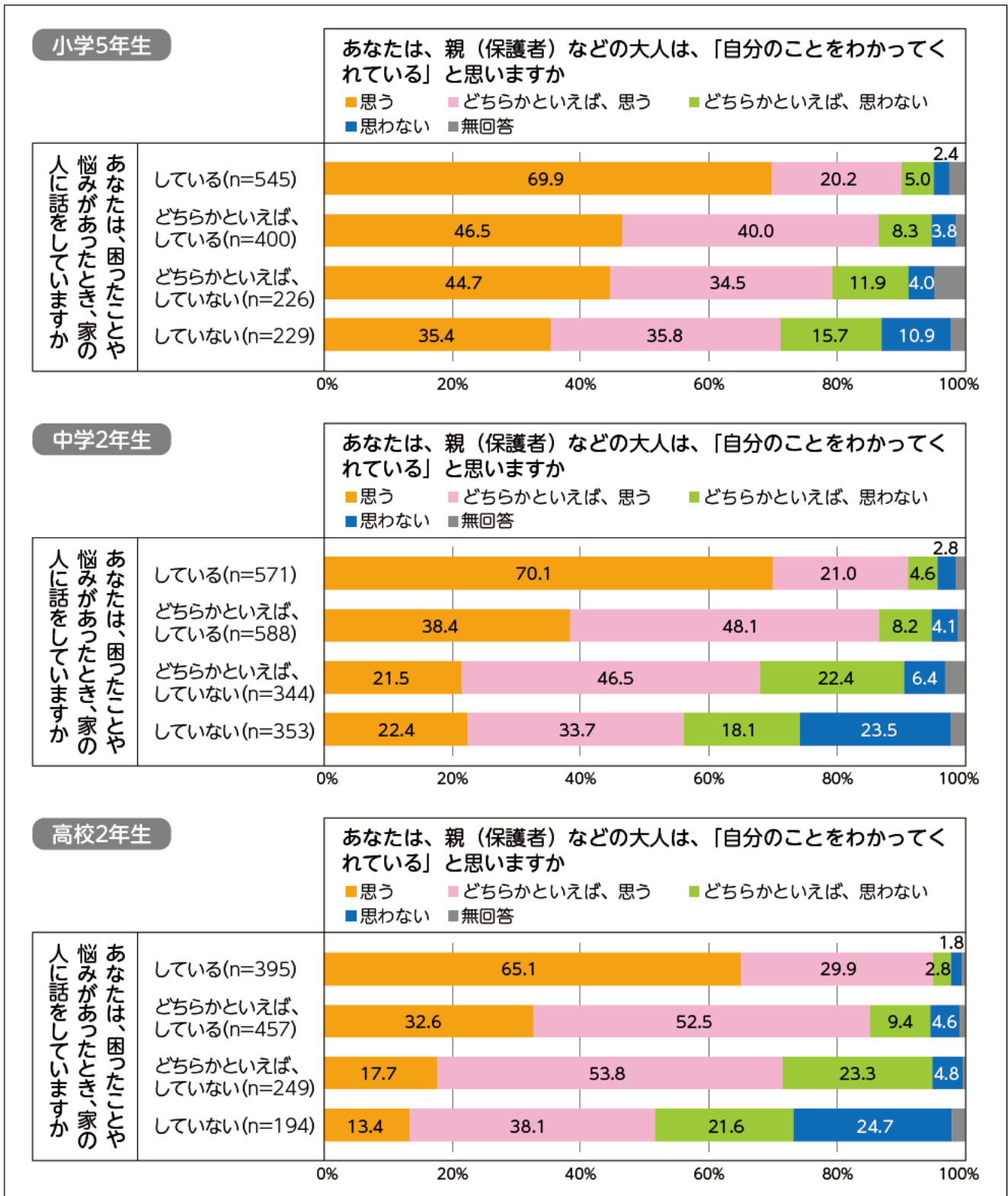


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

● 悩み等を家の人に話をすること、親などが自分のことをわかってくれていると思うことには関係性がみられる。

「困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしている」と「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」の関係について、小学生、中学生、高校生とも、話をしていると答えた子どもは話をしていないと答えた子どもより、親などの大人が自分のことをわかってくれていると「思う」「どちらかといえば、思う」の割合が高くなっています。

■ 図 3-17 「困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしている」と「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」の関係

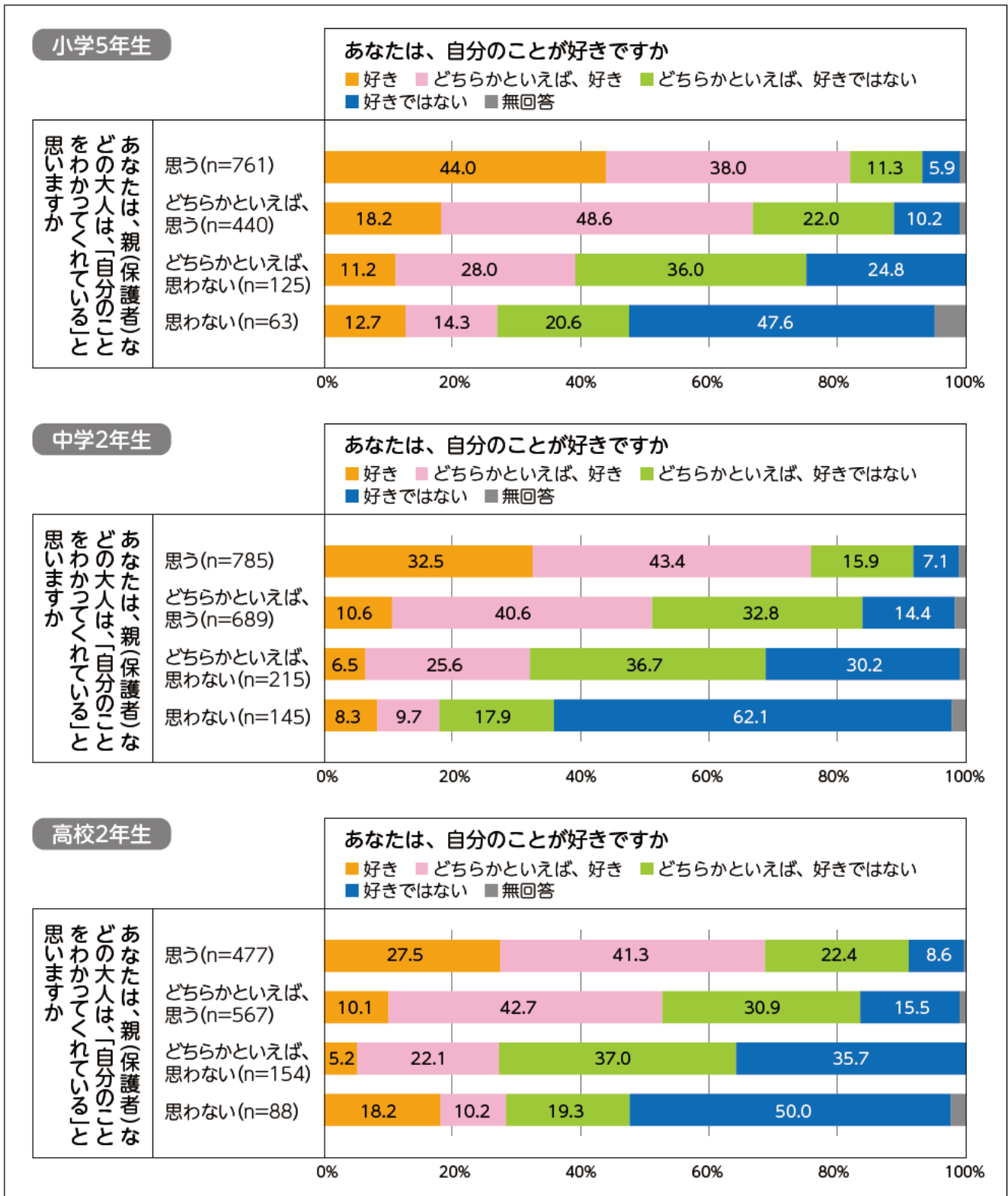


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●親などが自分のことをわかってくれていると思う子どものほうが、自分のことが好きと答える割合が高い。

「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生とも、親などの大人は自分のことをわかってくれていると「思う」と答えた子どもは、親などの大人は自分のことをわかってくれていると「思わない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」の割合が高くなっています。

■ 図 3-18 「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「自分のことが好き」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

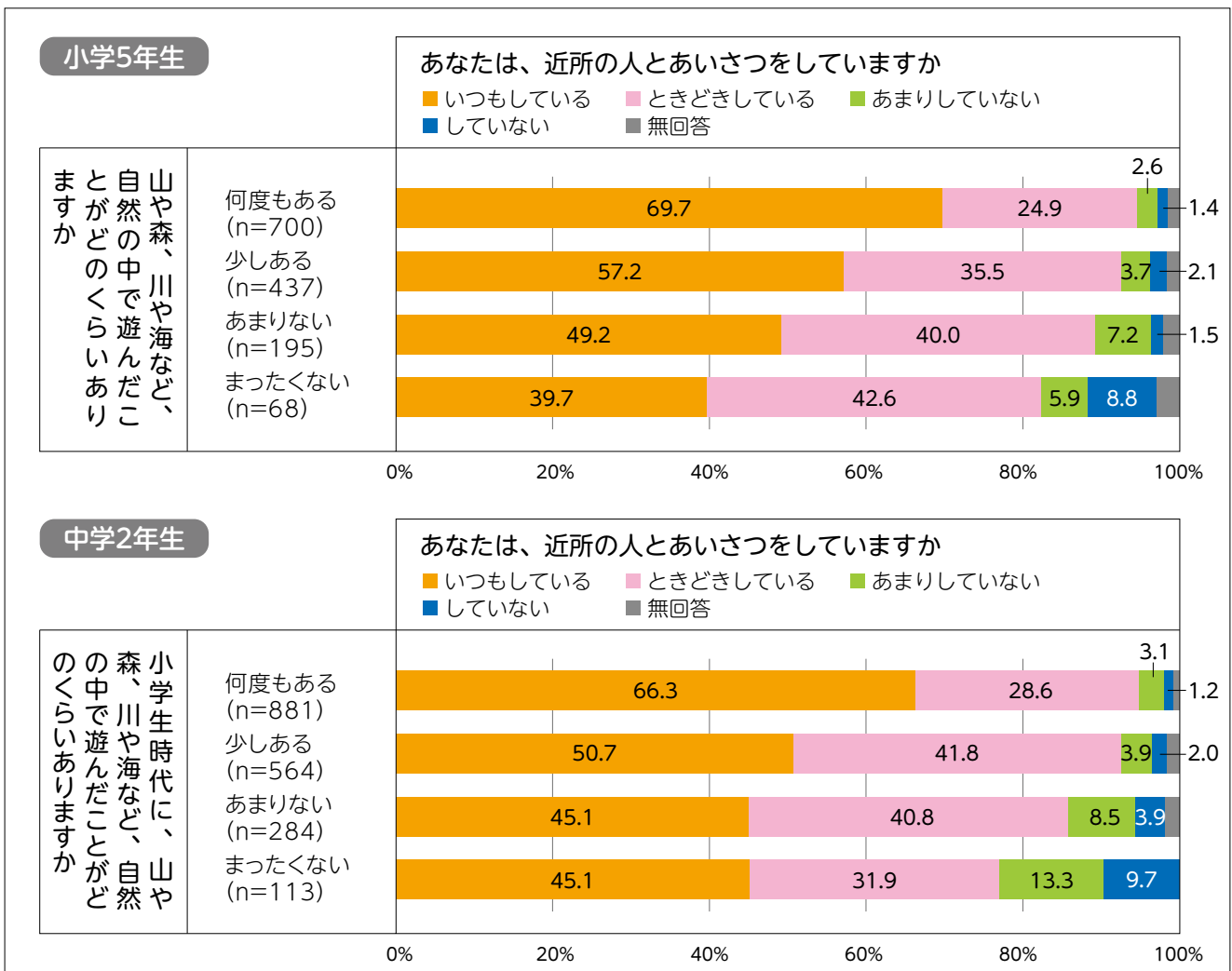
3 体験

● **小さいころに自然の中で遊んだことが多い子どもは、経験が少ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高い。**

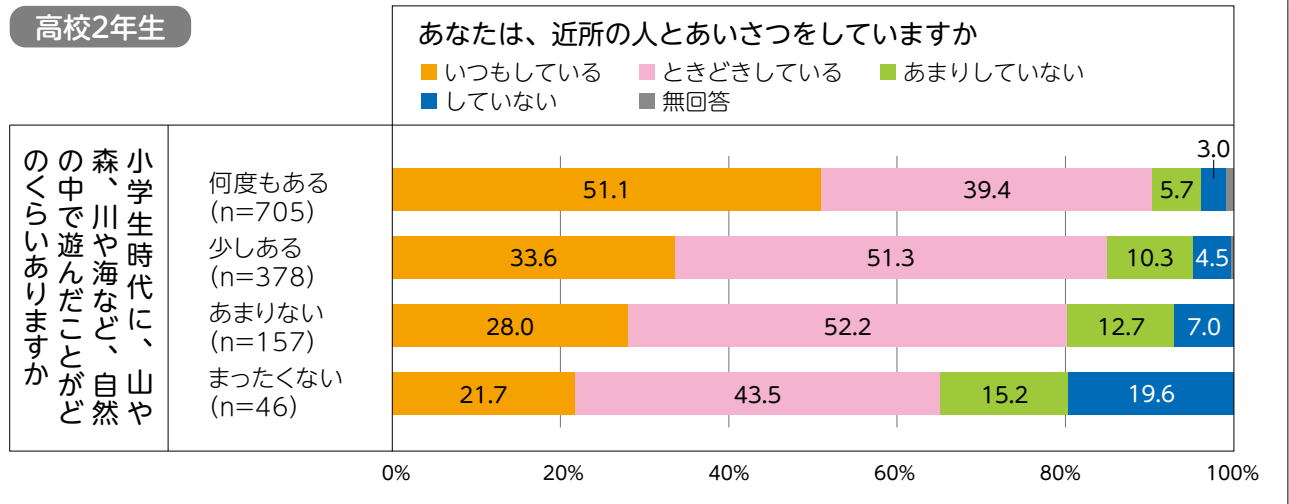
「小学生時代に、自然の中で遊んだことがある」と「近所の人とあいさつをしている」の関係について、小学生、中学生、高校生とも小学生時代に、自然の中で遊んだことが「何度もある」と答えた子どもは「まったくない」と答えた子どもより、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」「ときどきしている」の割合が高くなっています。

小学生時代に、自然の中で遊んだことが「何度もある」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生ともに90%以上であれば同率となっていますが、自然の中で遊んだことが「まったくない」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。

■ 図 3-19 「小学生時代に、自然の中で遊んだことがある」と「近所の人とあいさつをしている」の関係



高校2年生

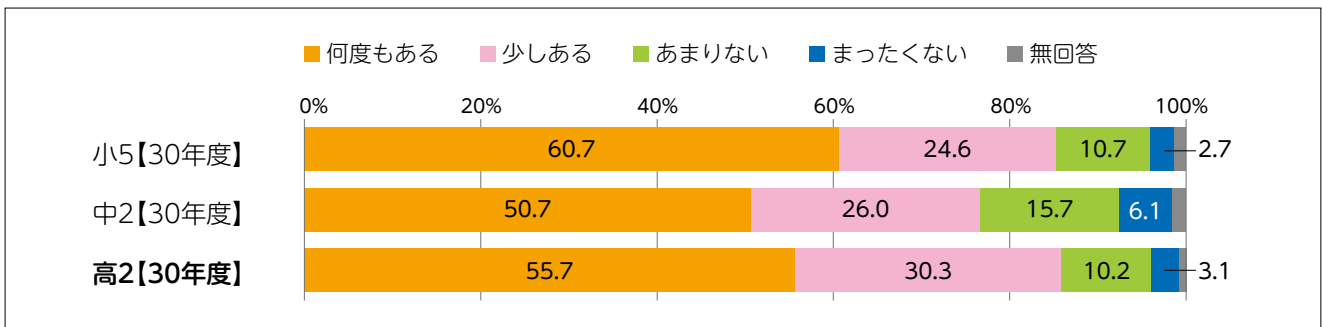


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

● **小さいころに、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことがある子どもは7割以上。**

小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことがあるかについて、「何度もある」「少しある」と答えた小学生は85.3%、中学生は76.7%、高校生は86.0%となっています。

■ **図 3-20 あなたは、小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことがありますか**

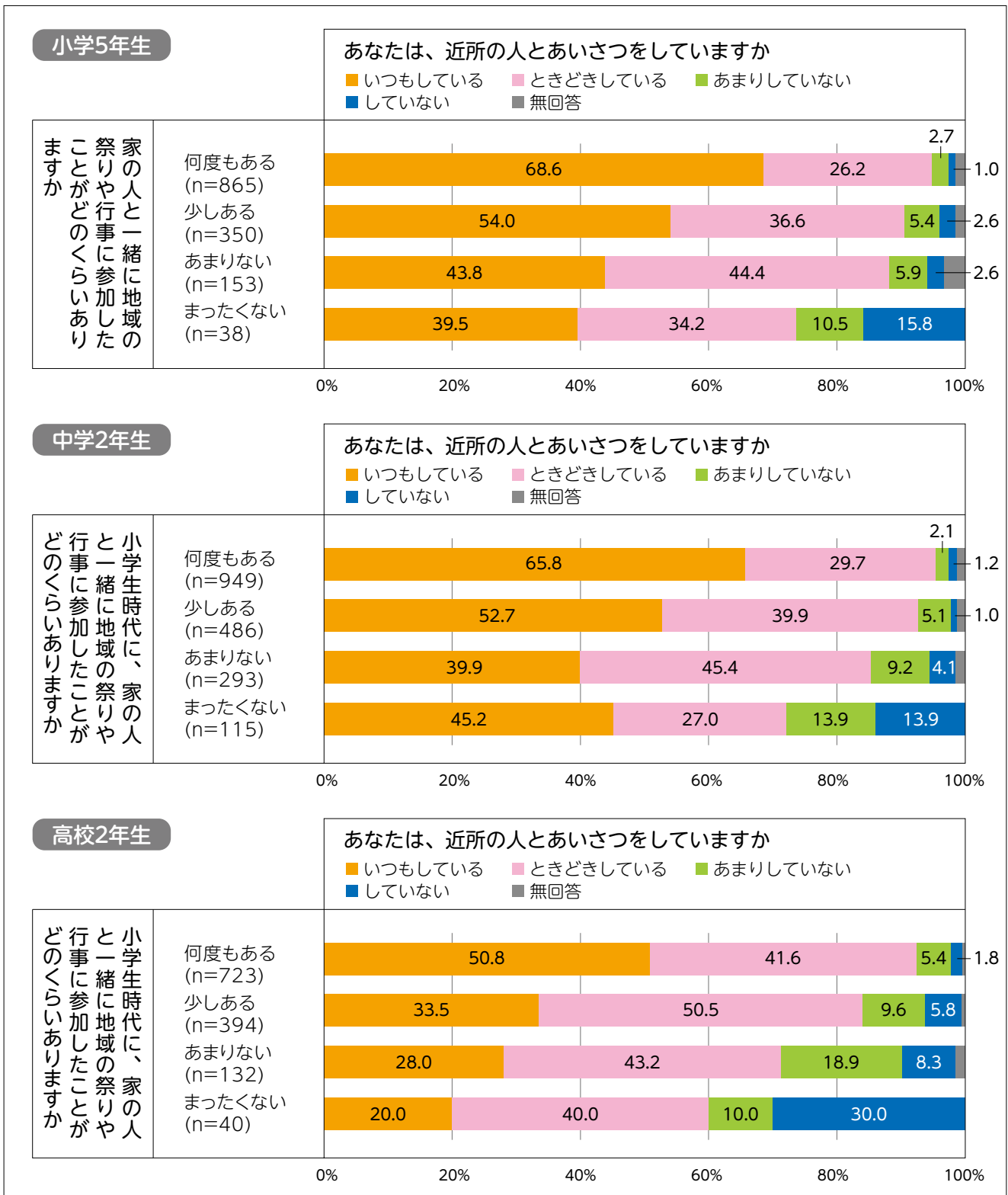


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●小さいころに、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加した経験が多い子どもは、経験が少ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高い。

「小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことが「何度もある」と答えた子どもは「まったくない」と答えた子どもより、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」の割合が高くなっています。

■ 図 3-21 「小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係



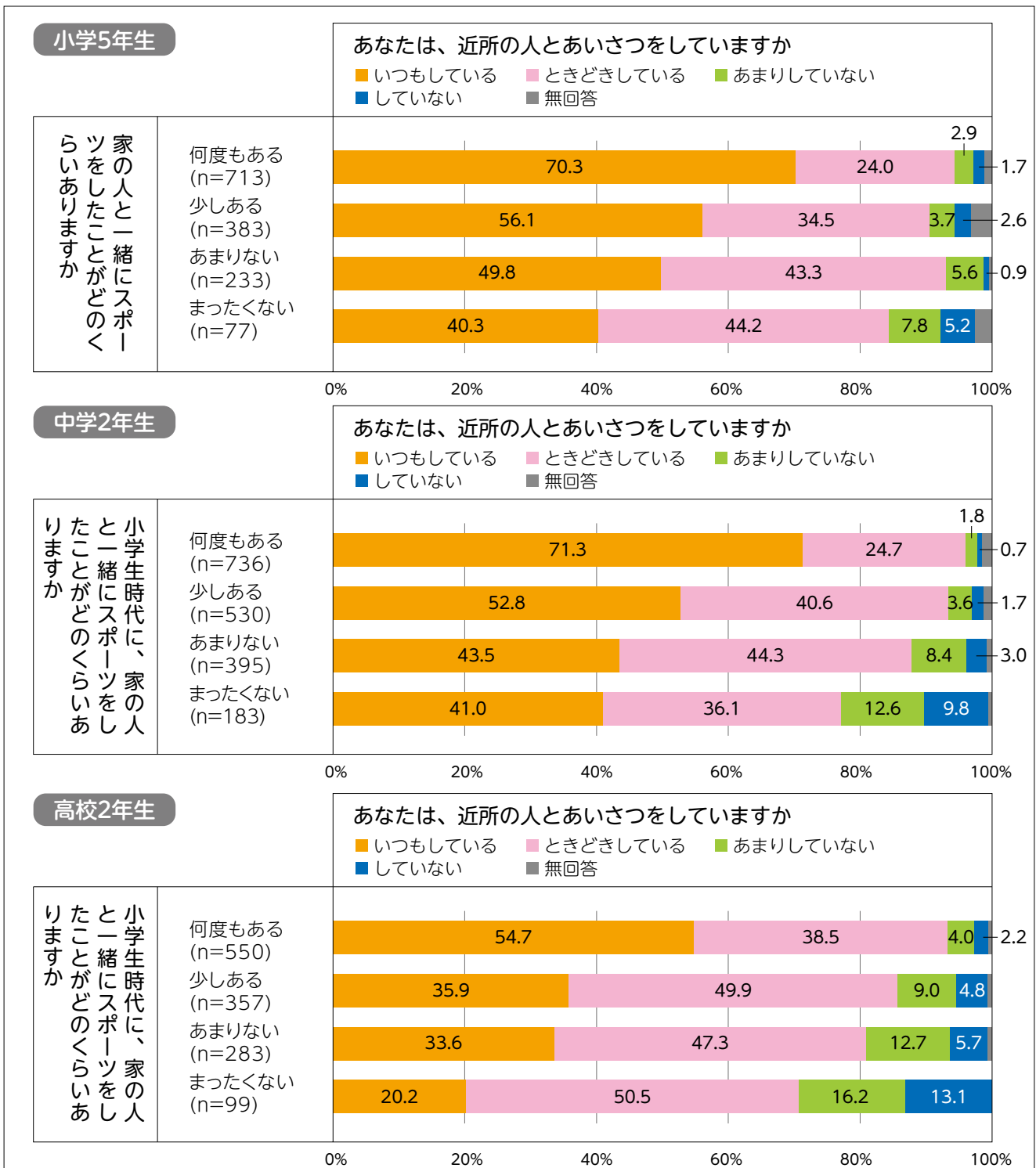
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●小さいころに、家の人と一緒にスポーツをした経験が多い子どもは、経験が少ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高い。

「小学生時代に、家の人と一緒にスポーツをしたこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに家の人と一緒にスポーツをしたことが「何度もある」と答えた子どもは「まったくない」と答えた子どもより、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」「ときどきしている」の割合が高くなっています。

小学生時代に、家の人と一緒にスポーツをしたことが「何度もある」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生ともに90%以上とほぼ同率となっていますが、家の人と一緒にスポーツをしたことが「まったくない」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。

■ 図 3-22 「小学生時代、家の人と一緒にスポーツをしたこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

4 子どもの自己決定

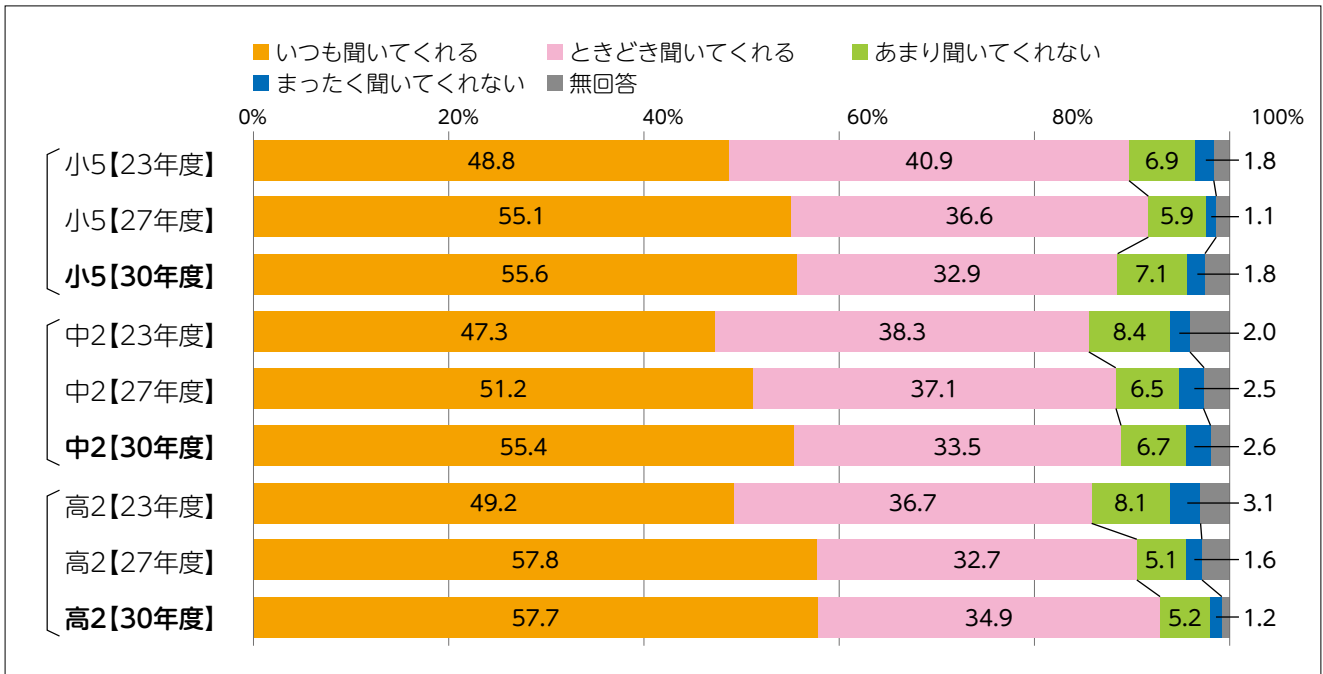
●自分のことを決めるときに親などが意見を聞いてくれると答えた子どもの割合は、子どものことを決めるときに子どもの意見を聞いていると答えた保護者の割合より低い。

自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人は意見をきいてくれるかについて、「いつも聞いてくれる」「ときどき聞いてくれる」と答えた小学生は88.5%、中学生は88.9%、高校生は92.6%となっています。

子どものことを決めるとき、子どもの意見を聞いているかについて、「いつも聞いている」「ときどき聞いている」と答えた小学生の保護者は97.9%、中学生の保護者は98.0%となっています。

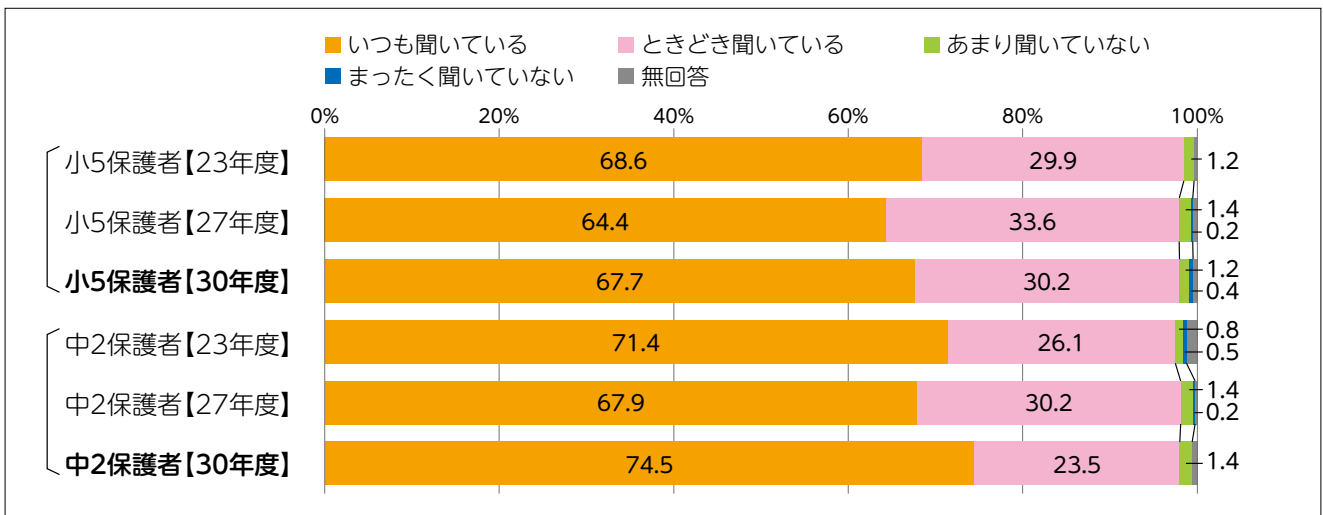
「いつも聞いてくれる」と答えた小学生は55.6%、中学生は55.4%となっており、それぞれ保護者より12.1ポイント、19.1ポイント低くなっています。

■ 図 3-23 あなたが自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人は、あなたの意見を聞いてくれますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-24 あなたは、お子さまのことを決めるとき、お子さまの意見を聞いていますか

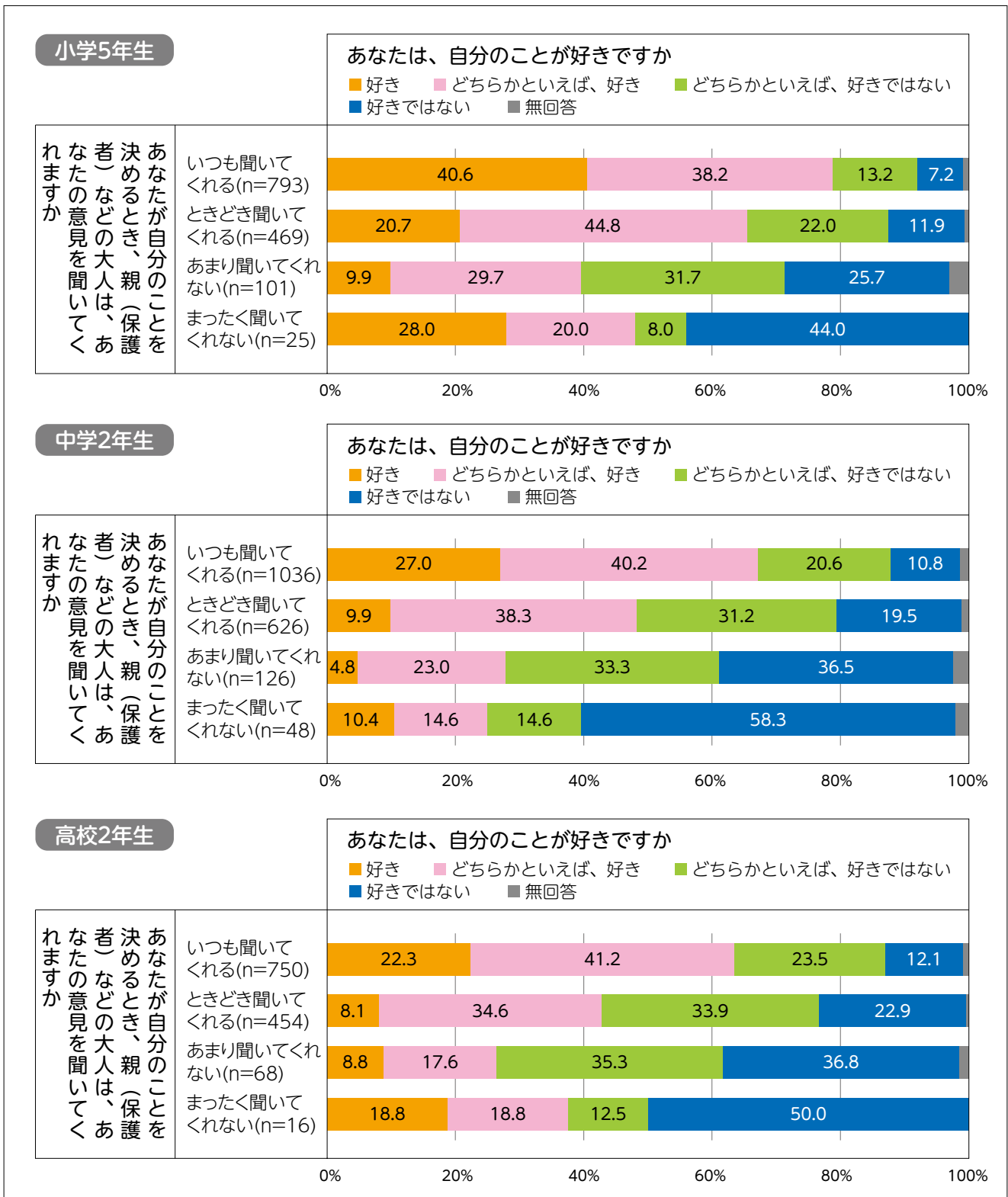


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●自分のことを決めるときに大人が意見を聞いてくれないと答えた子どもは、聞いてくれると答えた子どもより、自分のことが好きではない割合が高い。

「自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに大人が意見を「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは「まったく聞いてくれない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた割合が高くなっています。

■ 図 3-25 「自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいことは、小学生は習いごとや服そう、中学生はテレビ、ゲーム、高校生は服そう。

自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいことについて、小学生は「習いごと」が44.1%で最も高く、次いで「服そう」が44.1%、「テレビ、ゲーム」が42.0%となっています。中学生は「テレビ、ゲーム」が49.9%で最も高く、次いで「服そう」が49.3%、「寝る時間」が46.7%、高校生は「服そう」が52.0%で最も高く、次いで「進学したい学校」50.9%、「趣味の活動」が48.3%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生は「服そう」、中学生は「習いごと」、「テレビ、ゲーム」、「携帯電話、スマートフォンを持つこと」、「趣味の活動」、「祭りなどの地域の行事」、高校生は「テレビ、ゲーム」、「進学したい学校」、「クラブ活動（部活動）」がそれぞれ10%ポイント以上上昇しています。

■ 図 3-26 あなたは、どのようなことについて自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思いますか（複数回答・いくつでも）

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
服そう	32.9	②36.4	②44.1	①45.8	①47.6	②49.3	②47.1	①47.6	①52.0
習いごと	②37.3	①42.6	①44.1	18.8	31.3	30.5	11.3	14.2	19.9
塾	13.6	11.7	14.2	16.5	22.3	20.5	8.8	9.9	15.6
家に帰る時間	18.8	21.0	25.5	25.4	30.2	31.3	33.2	32.3	37.3
テレビ、ゲーム	①38.8	③35.4	③42.0	34.0	42.6	①49.9	28.8	27.7	40.5
寝る時間	③35.6	29.4	32.5	③38.2	40.7	③46.7	38.8	35.6	44.6
進学したい学校	19.2	18.6	26.3	36.1	40.2	42.0	36.1	②43.7	②50.9
クラブ活動（部活動）※1	20.4	15.7	24.2	37.2	②43.3	42.1	26.9	35.4	39.2
アルバイト	11.8	7.8	11.4	16.7	16.2	18.3	26.4	20.5	28.9
就職先	19.6	12.4	18.1	22.6	23.4	24.6	28.1	30.3	36.2
付き合い友だち	30.7	21.0	29.5	②42.0	③43.1	44.3	①50.2	③40.5	47.3
携帯電話・スマートフォンを持つこと	27.7	31.4	33.4	30.7	39.2	40.9	25.6	27.4	35.3
趣味の活動	22.5	21.8	26.9	30.7	38.8	42.0	③40.3	38.8	③48.3
学校のきまり	10.6	8.4	10.4	10.5	10.0	10.8	12.8	7.1	12.5
祭りなどの地域の行事	11.9	20.1	19.5	8.7	23.2	21.9	7.7	14.5	15.5
地域の児童館や公園などの施設の使い方 ※2	2.8	4.0	—	2.0	2.8	—	2.4	3.2	—
子どもにかかわる社会の決まり（ルールなど）※3	3.7	5.7	7.6	2.7	5.2	6.9	3.8	3.4	7.9
その他	3.2	1.8	2.3	1.3	2.0	1.8	2.8	1.6	1.6
自分で決めたいと思うことはない	5.0	5.4	6.2	4.3	4.0	5.2	2.7	3.9	4.8
無回答	3.7	2.9	3.1	4.7	2.5	2.2	5.9	3.7	1.8

※1 23年度、27年度は「部活動」 ※2 30年度にこの調査項目はありません

※3 23年度、27年度は「子どもにかかわる社会の決まりなどの重要なこと」

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」【○番号は割合の多い順を表しています】

●保護者が子どもに決めさせたり、子どもの意見を尊重したりしたいことは、小学生の保護者は習いごとや服そう、中学生の保護者はクラブ活動（部活動）、進学したい学校。

子どもに決めさせたり、子どもの意見を尊重したりしたいことについて、小学生の保護者は「習いごと」が68.6%で最も高く、次いで「服そう」が65.6%、「付き合う友だち」が58.4%となっています。中学生の保護者は「クラブ活動（部活動）」が69.5%と最も高く、次いで「進学したい学校」が66.0%、「服そう」が64.9%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生の保護者は「服そう」、「習いごと」、「テレビ、ゲーム」がそれぞれ10ポイント以上上昇しています。また、平成23年度に1位だった「付き合う友だち」が平成30年度は3位となっています。中学生の保護者は「習いごと」、「テレビ、ゲーム」、「祭りなどの地域の行事」がそれぞれ10ポイント以上上昇しています。

■ 図 3-27 あなたは、どのようなことについてお子さまに決めさせたり、お子さまの意見を尊重したりしたいと思いますか（複数回答・いくつでも）

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
服そう	③54.8	①64.4	②65.6	59.4	③63.0	③64.9
習いごと	②56.3	③61.9	①68.6	39.0	38.5	49.3
塾	23.6	20.6	26.7	29.9	28.1	38.0
家に帰る時間	6.6	8.3	12.8	9.3	10.3	16.3
テレビ、ゲーム	11.8	16.3	26.4	13.5	18.4	26.5
寝る時間	8.9	8.8	14.6	17.6	20.5	23.1
進学したい学校	52.2	52.0	44.6	①68.9	①65.1	②66.0
クラブ活動（部活動）※1	52.7	49.9	47.0	②66.9	②64.4	①69.5
アルバイト	15.3	12.8	13.6	12.5	9.7	14.1
就職先	29.5	31.4	27.6	28.2	29.2	31.6
付き合う友だち	①64.5	②62.1	③58.4	③60.8	62.1	60.1
携帯電話・スマートフォンを持つこと	4.1	3.4	7.2	8.6	11.3	17.9
趣味の活動	41.8	48.1	41.1	35.4	40.1	41.3
学校のきまり	8.6	9.5	11.7	10.6	9.9	13.6
祭りなどの地域の行事	20.2	25.5	26.6	16.5	26.1	27.1
地域の児童館や公園などの施設の使い方 ※2	5.8	6.5	—	4.1	5.3	—
子どもにかかわる社会の決まり（ルールなど） ※3	6.8	9.5	15.6	9.4	8.8	17.2
その他	0.8	0.7	0.9	1.4	0.9	0.5
自分で決めさせようと思うことはない	0.0	0.1	0.3	0.3	0.6	0.1
無回答	1.0	0.9	0.7	1.5	0.6	0.9

※1 23年度、27年度は「部活動」 ※2 30年度にこの調査項目はありません

※3 23年度、27年度は「子どもにかかわる社会の決まりなどの重要なこと」

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

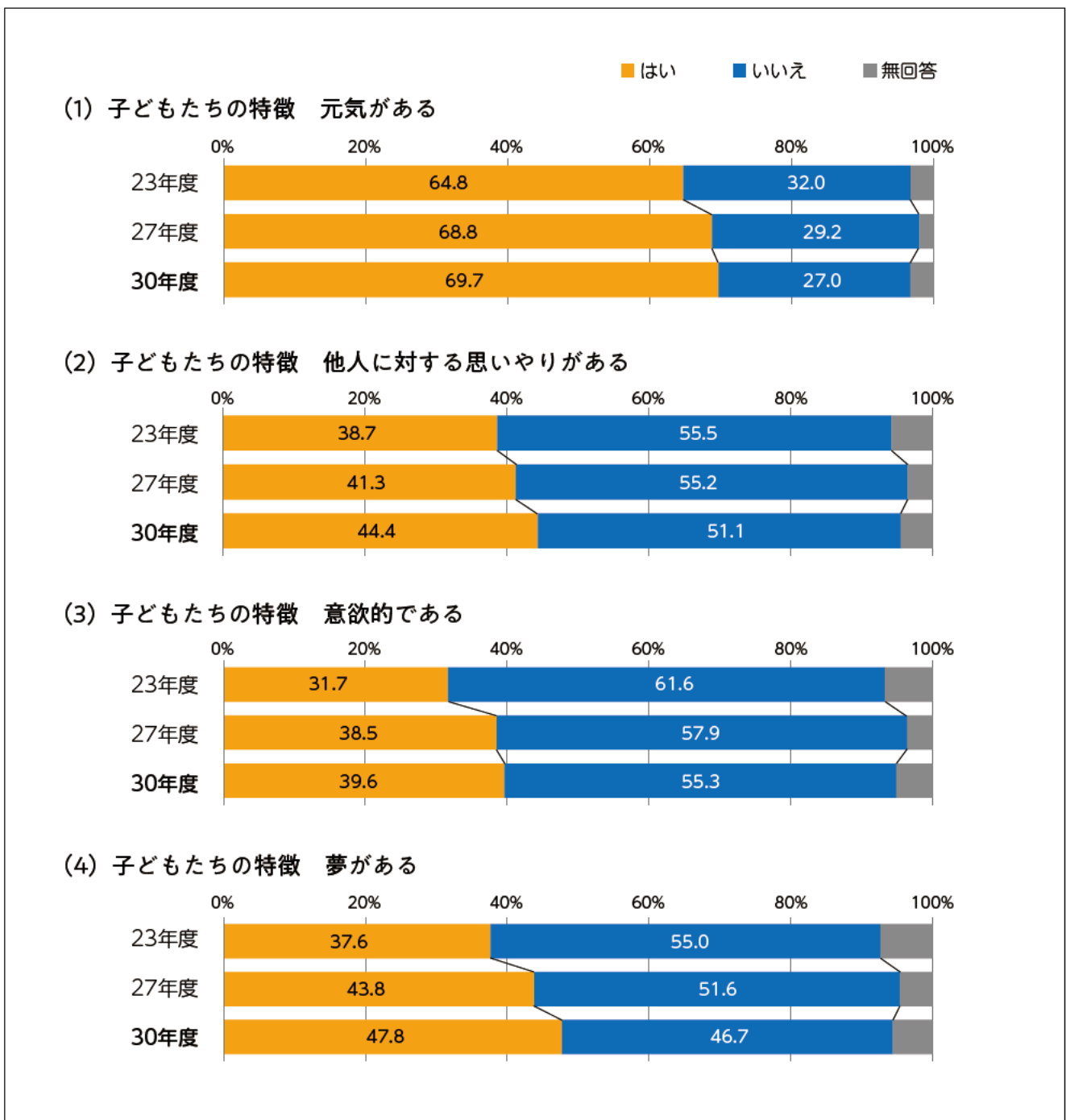
●今の子どもの特徴について、「元気がある」、「個性がある」は6割以上。「忍耐力がある」、「社会に関心がある」は3割未満。

今の子どもたちの特徴について、「元気がある」と答えた県民は69.7%、「夢がある」は47.8%、「誠実である」は49.1%、「個性がある」は64.9%となっており、肯定的な割合が高くなっています。

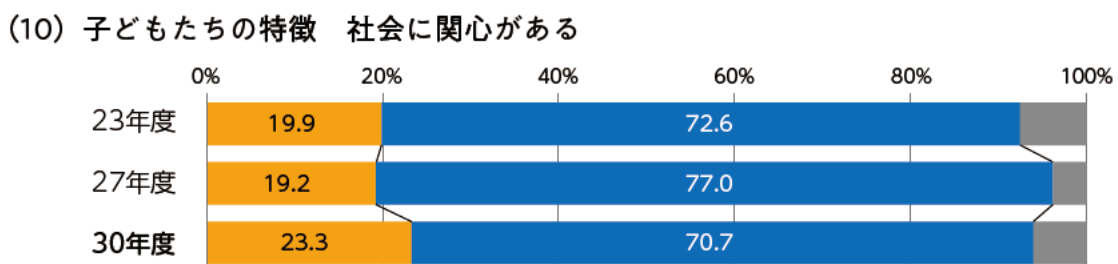
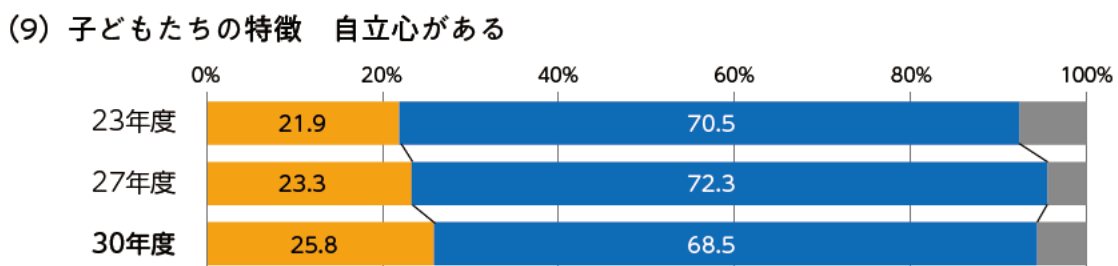
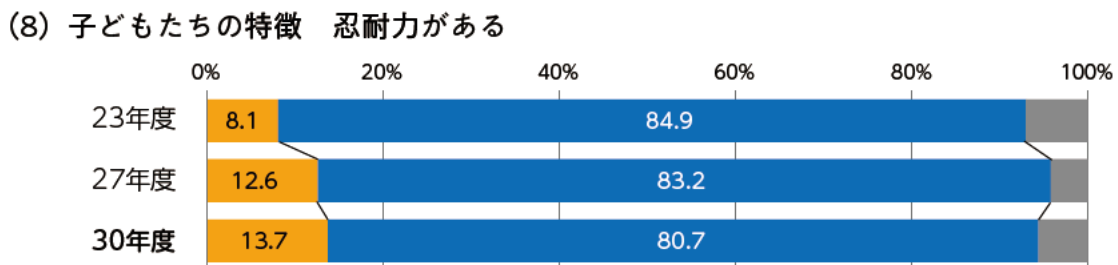
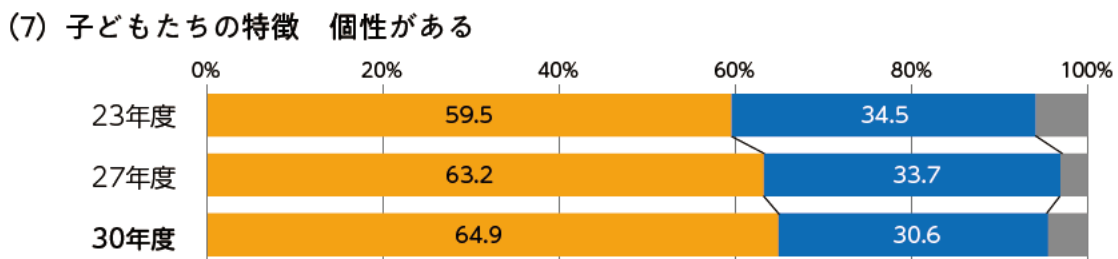
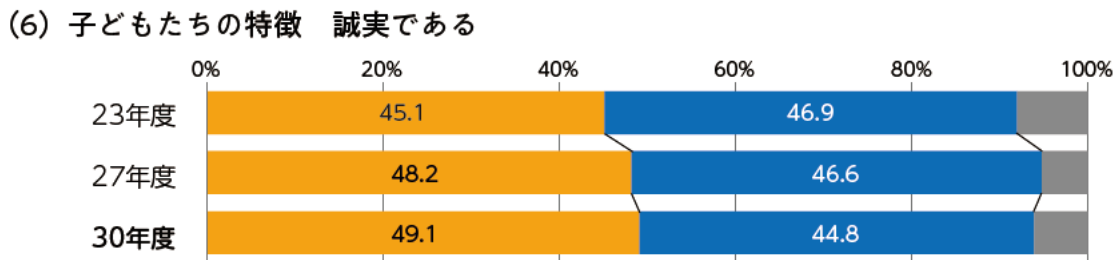
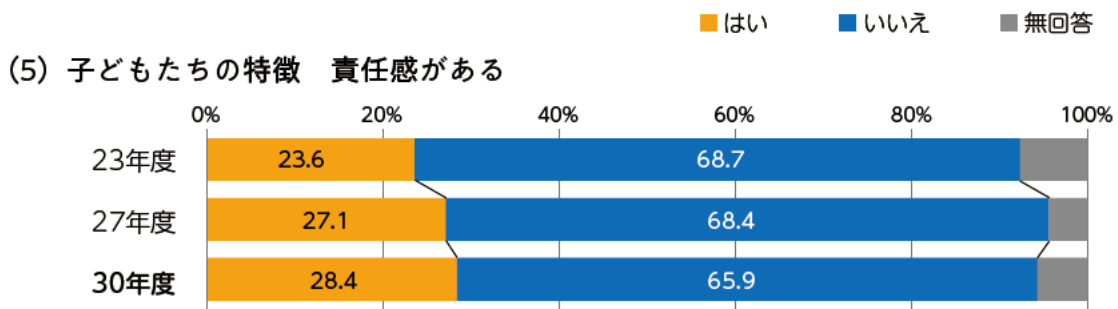
一方、「他人に対する思いやりがある」は44.4%、「意欲的である」は39.6%、「責任感がある」は28.4%、「忍耐力がある」は13.7%、「自立心がある」は25.8%、「社会に関心がある」は23.3%となっており、否定的な割合が高くなっています。

平成23年度と比較すると、「夢がある」と答えた県民は10.2ポイント上昇しています。

■ 図 3-28 あなたは、一般に今の子どもたちの特徴をどのように感じますか。



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」



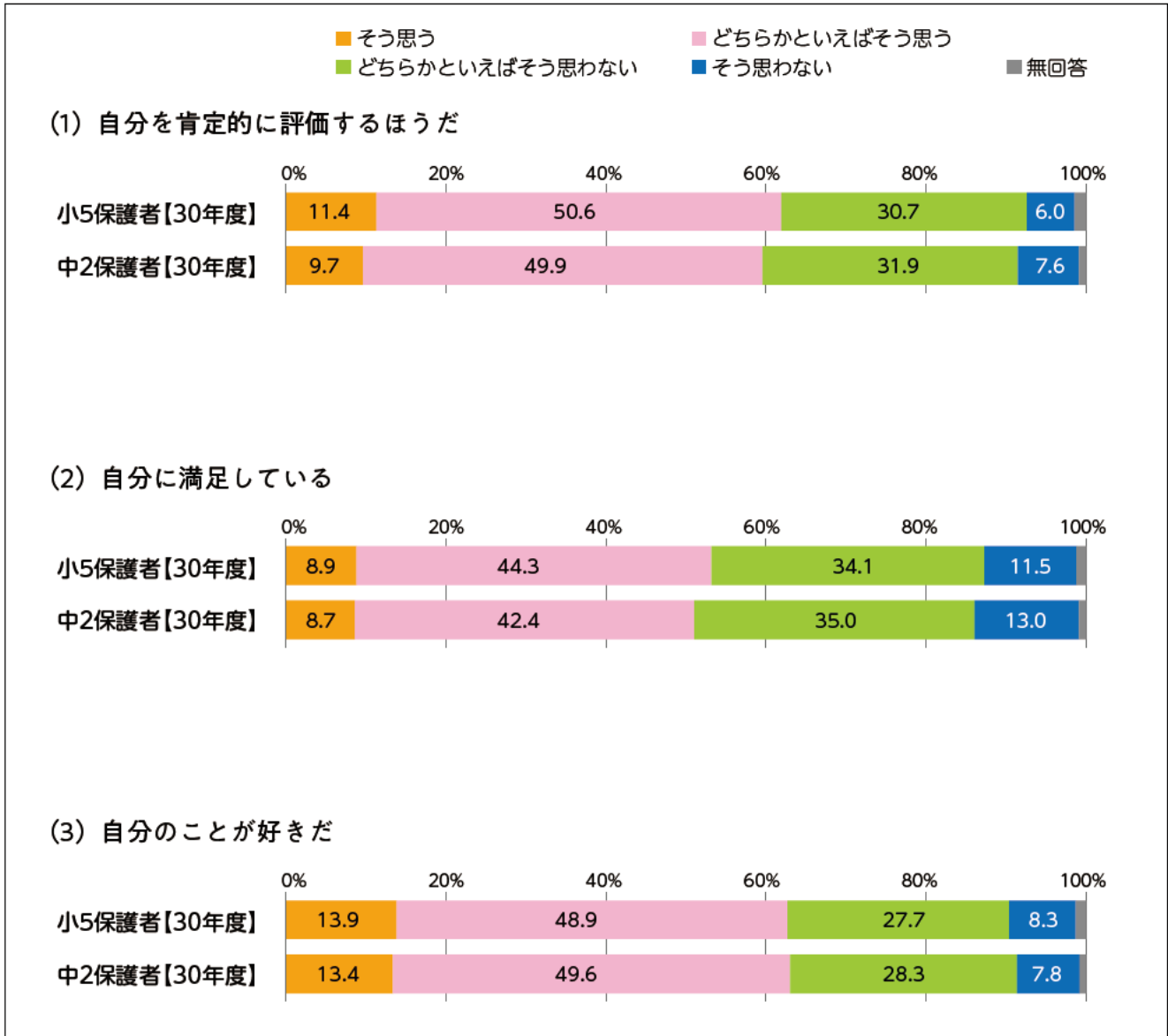
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

5 保護者の自己肯定感

●「自分を肯定的に評価するほうだ」、「自分のことが好きだ」と肯定的に捉える保護者は約6割。

保護者の自己肯定感について、「自分を肯定的に評価するほうだ」、「自分のことが好きだ」について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた小学生、中学生の保護者は約6割、「自分に満足している」について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた小学生、中学生の保護者は約5割となっています。

■ 図 3-29 あなた自身のことについて、あなたは次のことについてどのように思いますか。



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

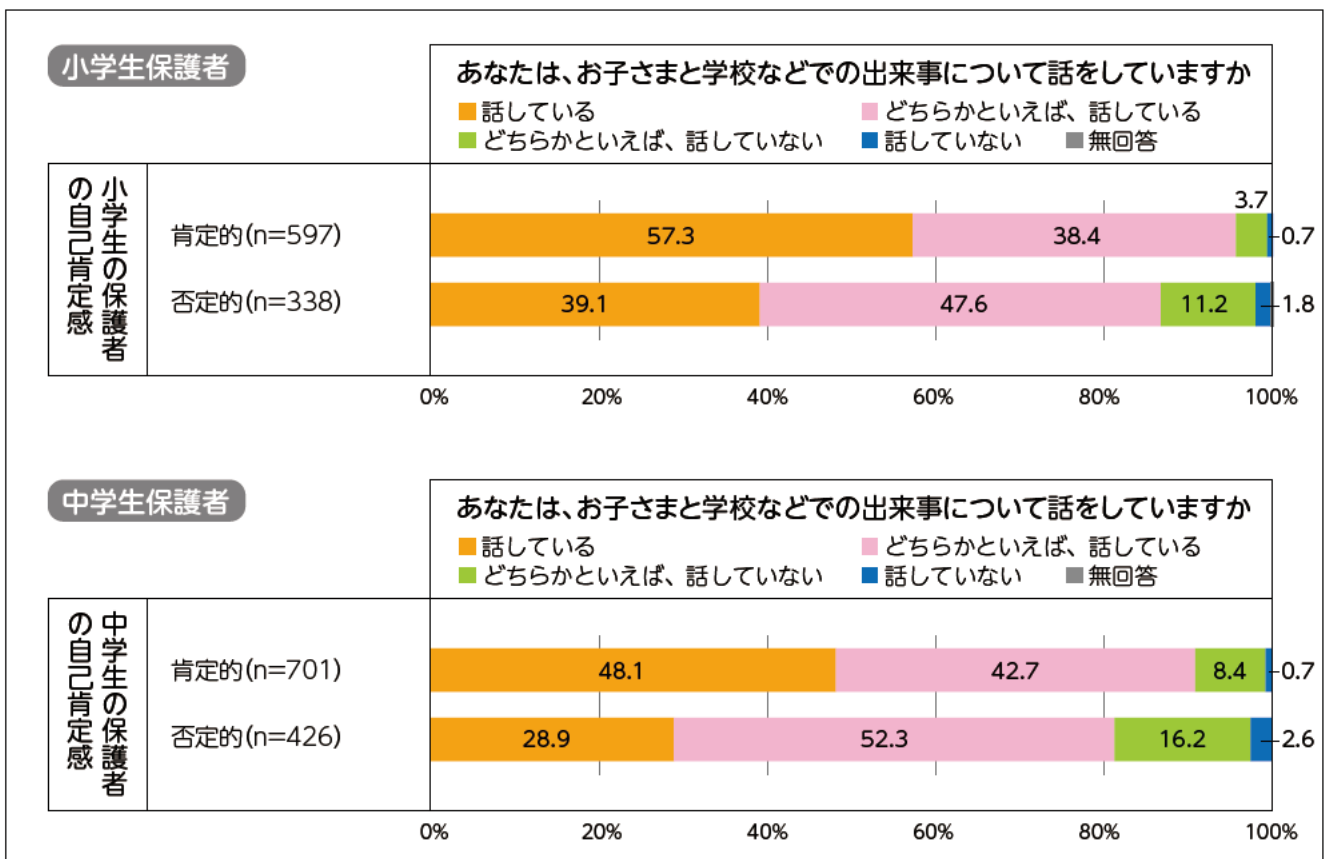
●自己肯定感の高い保護者は、低い保護者より子どもと学校などでの出来事について話をしていたり、子どものことを理解していると思う割合が高い。

「保護者の自己肯定感」と「子どもと学校などでの出来事について話をしている」の関係について、自身について肯定的に考える保護者は、否定的に考える保護者よりも、子どもと学校などでの出来事について「話している」「どちらかといえば、話している」と回答する割合が高くなっています。同様に、肯定的な保護者のほうが、子どものことを理解していると「思う」「どちらかといえば、思う」と回答する割合が高くなっています。

また、「保護者の自己肯定感」と「自身と地域の人たちの関係やつながりの強さ」の関係について、「強いほうだと思う」「どちらかといえば、強いほうだと思う」と回答する割合は、肯定的な保護者が約6割に対して、否定的な保護者は約3割となっており、保護者の自己肯定感と地域のごつなりの強さに関係性がみられます。

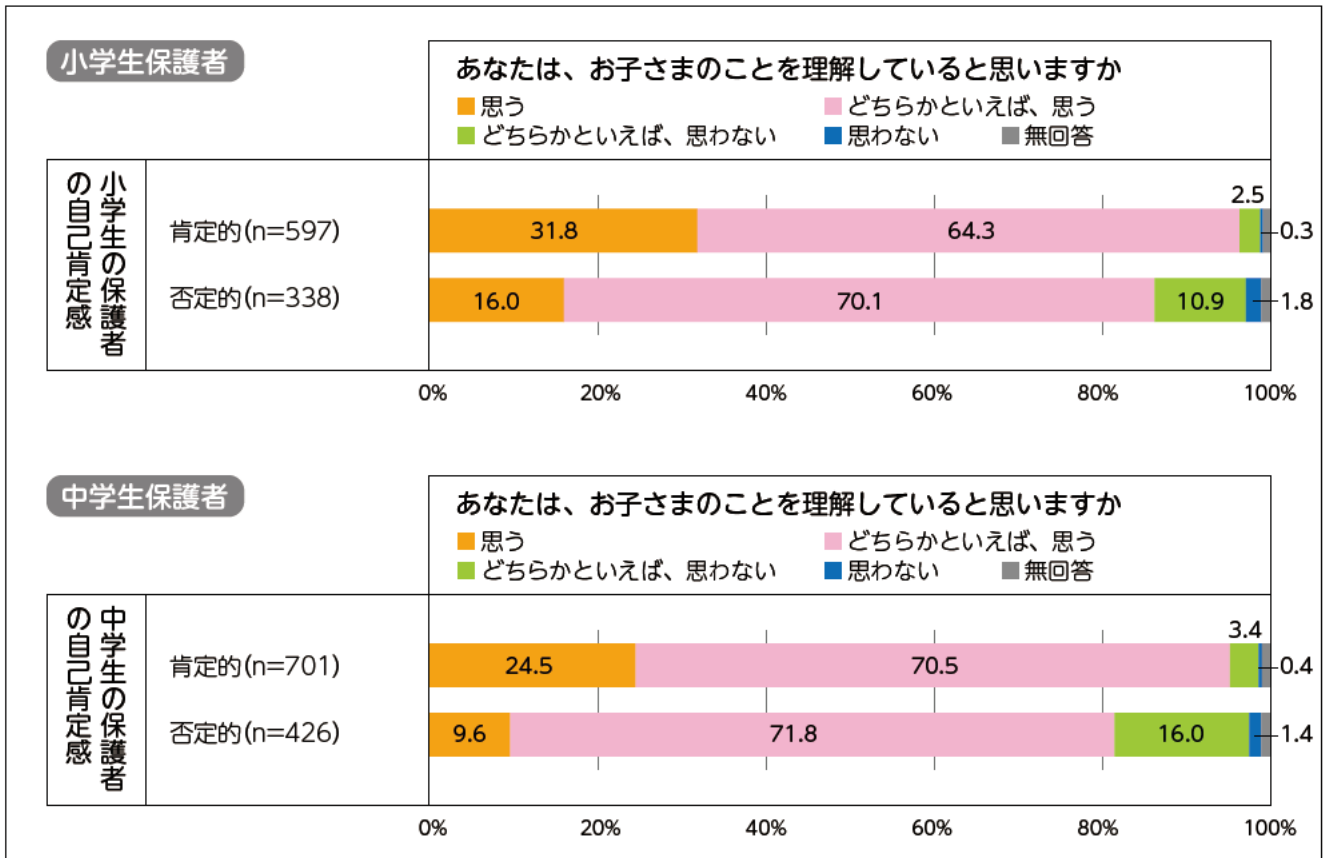
以下の図では、保護者に対する設問「あなた自身のことについて、あなたは次のことについてどのように思いますか。()自分を肯定的に評価するほうだ (2)自分に満足している (3)自分のことが好きだ」の(1)～(3)のいずれも「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」を選択した保護者を『肯定的』、(1)～(3)のいずれも「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選択した保護者を『否定的』としています。

■ 図 3-30 「保護者の自己肯定感」と「子どもと学校などでの出来事について話をしている」の関係



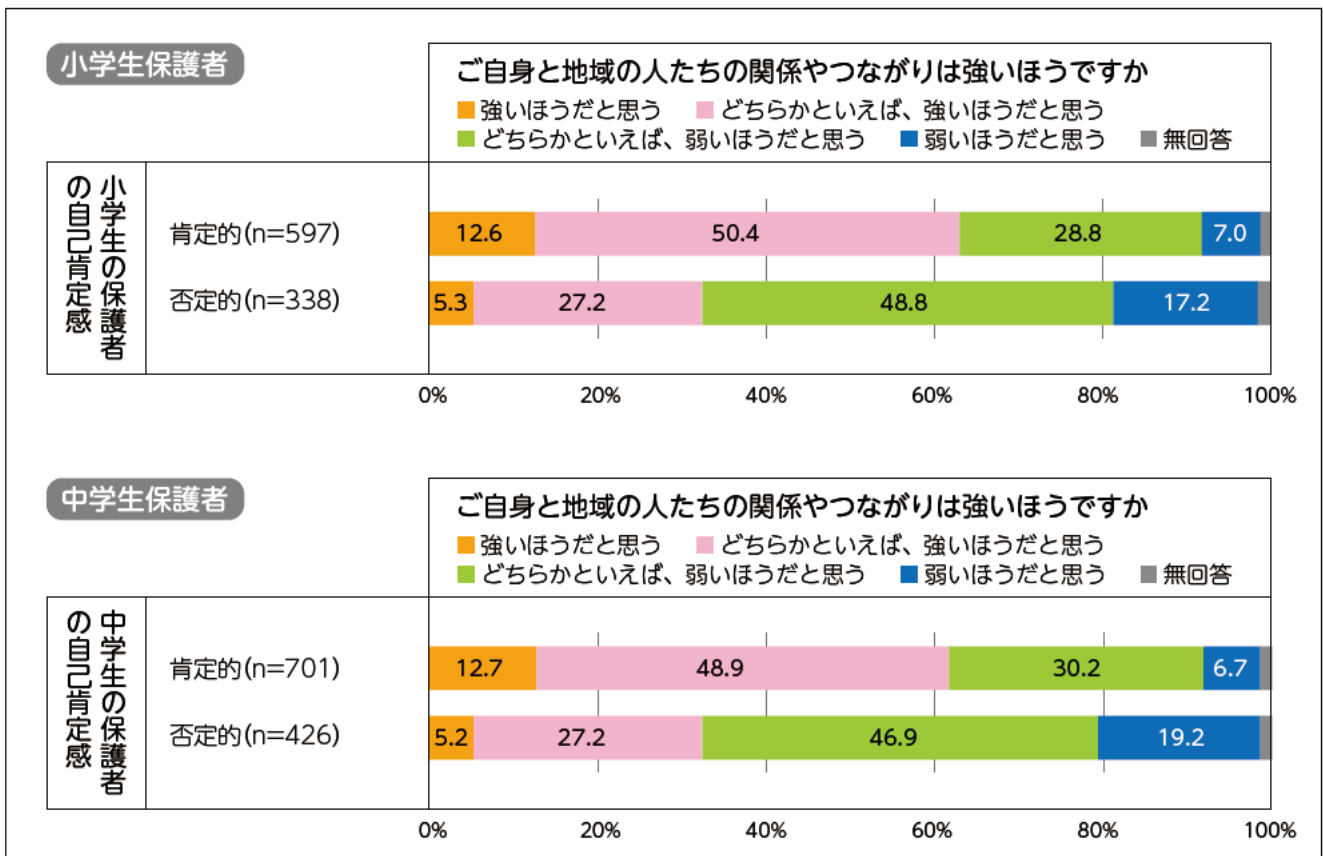
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

■ 図 3-31 「保護者の自己肯定感」と「子どもへの理解」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

■ 図 3-32 「保護者の自己肯定感」と「自身と地域の人たちの関係やつながりの強さ」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

第4章

子どもと地域

この章では、「三重県子ども条例に基づく調査」の結果をもとに、子どもと近所の大人との日常的なかかわりや地域活動への意識をみます。また、子育てにおける地域との関係性や重要性、子育てに関する活動への参加状況から、子どもを育て見守る保護者や県民の意識と現状を把握します。

子どもたちの育ちを見守り応援したい県民は約9割となっているものの減少しています。

子育てをする上で、近所・地域の支えが重要と考える保護者、県民はともに約9割と高くなっています。一方で、地域の人との関係やつながりが強い保護者は約5割にとどまっています。

現在子育てに関する活動に参加していない県民は8割と大半を占めていますが、今後の活動意向としては、必ずしも低いものではありません。しかし、参加したいが、どのような活動がよいかわからないといった声も多くあります。保護者からは、子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り活動、子育てに関する情報提供、子育てに関する悩み相談、外出や親の帰りが遅いときに子どもを預かる活動など幅広いニーズがあがっており、こうした保護者のニーズに対応していくためには、県民に対して情報提供していくことなどが重要といえます。

保護者や県民が、住んでいる地域で子どもと取り組めるとよいことについて、防災活動など地域の安全を守るための活動が高くなっています。また、小学生や中学生の保護者では異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりすることも高くなっています。一方で、中学生と高校生では、住んでいる地域での取組について、「特にしたいことはない」が最も高くなっています。

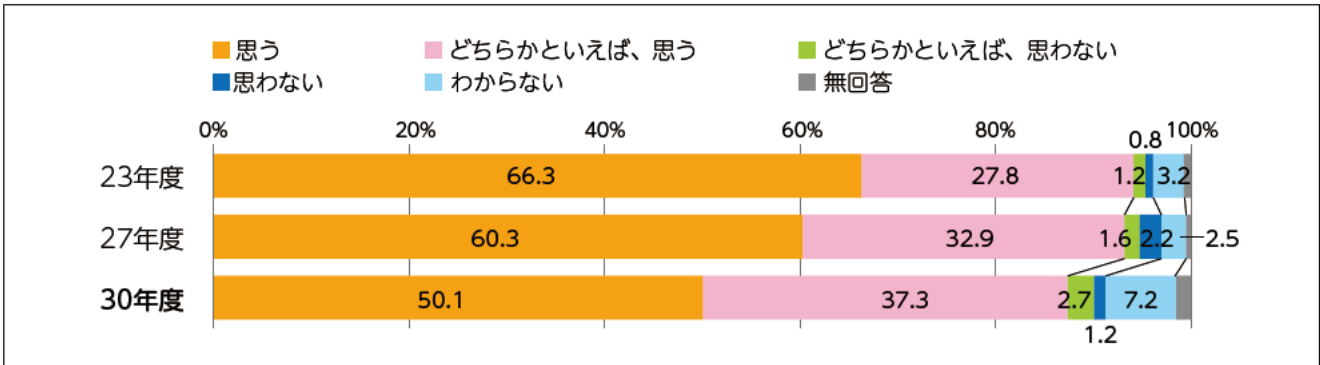
1 地域の応援

●子どもたちの育ちを見守り応援したい県民は約9割だが、減少している。

子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた県民は87.4%となっています。

平成23年度、平成27年度と比較すると、「思う」と答えた県民は10ポイント以上低下しています。

■ 図 4-1 あなたは、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

悩みを抱える子どもや子育て中の保護者を支援する取組を行っているNPOの方に聞きました

●今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていることや、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思うことについての割合が前回調査より下がっていることについて(P. 42、62参照)

昔と比べると、社会全体で責任を持って子どもを育てるといった風土がなくなっているように感じます。その背景として、自分に直接関わることには関心を持つが、社会全体のことには関心を持ちにくい人が増えているように思います。

(例えば、自身の子どもや自分が知っている子どもの騒ぎ声は許せるが、知らない子どもの場合は許すことができなかつたり、自分が子育て中のときには地域のサポートを求めるが、子育てが終わると次の世代の支え手になるという考えが選択肢にはないなど。) 今回の調査で、これらの設問に対して、「わからない」との回答が増えていることも、無関心層の増加が一因と考えられるのではないかと思います。

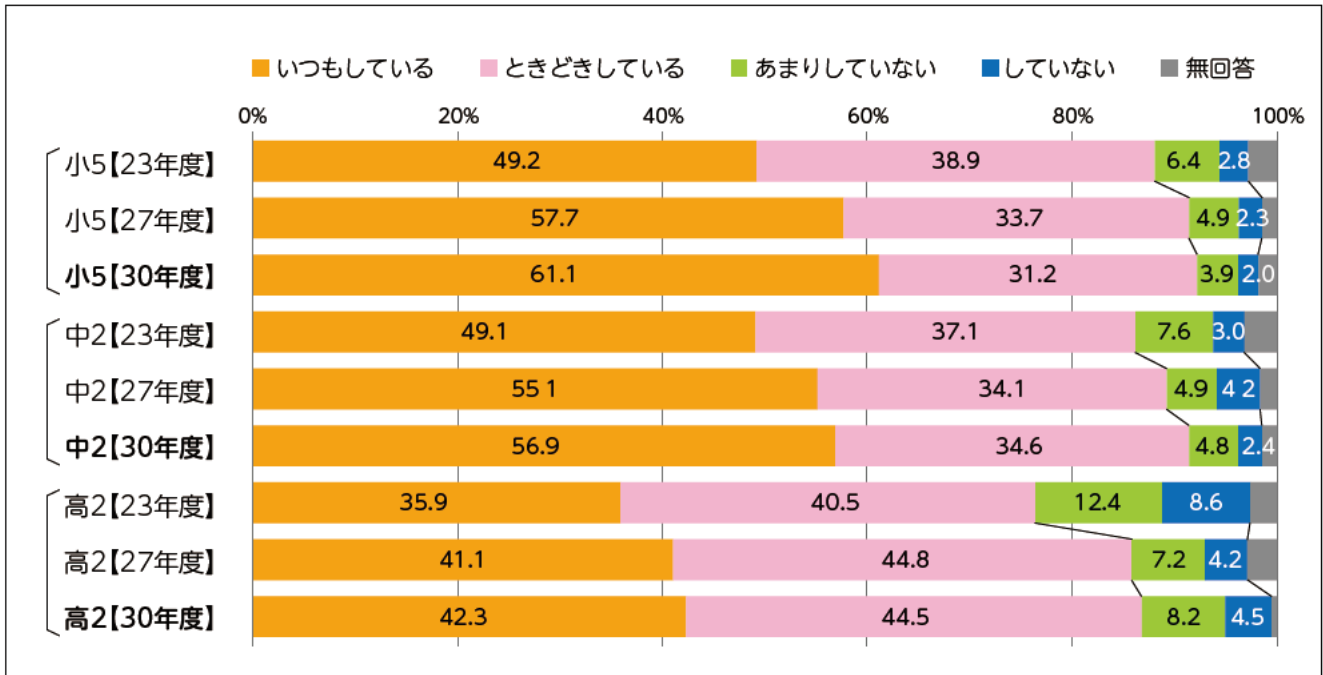
(NPO法人 三重県子どもNPOサポートセンター)

●近所の人とあいさつをしている子どもは約9割。

近所の人とのあいさつについて、「いつもしている」「ときどきしている」と答えた小学生は92.3%、中学生は91.5%、高校生は86.8%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生、中学生、高校生ともに「いつもしている」の割合が増加しており、特に小学生は11.9ポイント上昇しています。

■ 図 4-2 あなたは、近所の人とあいさつをしていますか

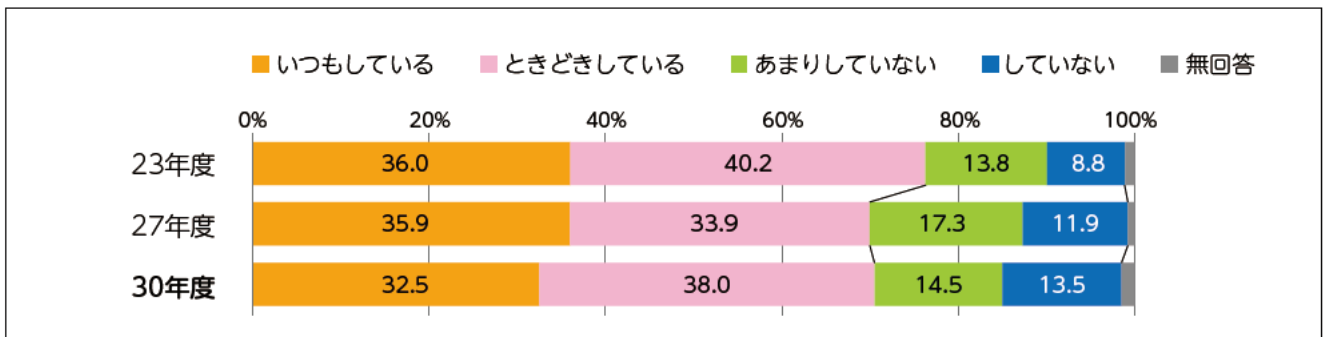


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●近所の子どもとあいさつをしている県民は約7割。

近所の子どもとのあいさつについて、「いつもしている」「ときどきしている」と答えた県民は70.5%となっています。

■ 図 4-3 あなたは、近所の子どもとあいさつをしていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●子育てをする上で、近所・地域の支えが重要と考える保護者、県民は約9割。

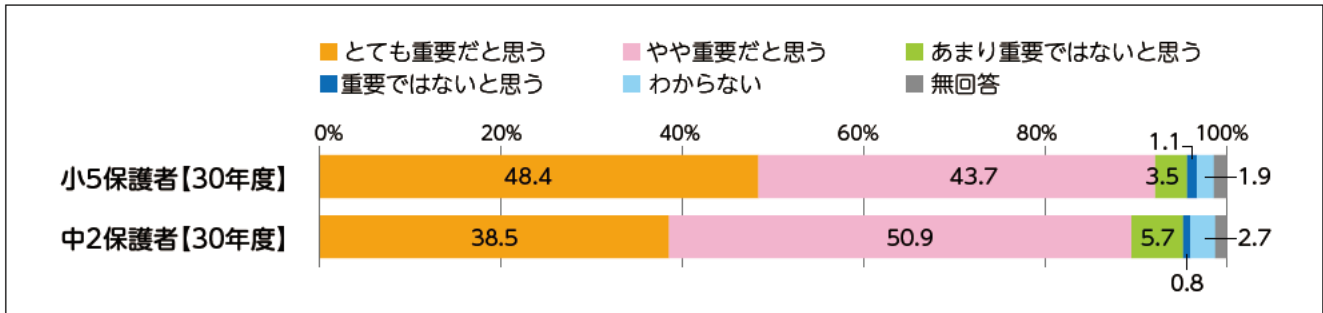
子育てをする上で、近所・地域の支えの重要性について、「とても重要だと思う」「やや重要だと思う」と答えた小学生の保護者は92.1%、中学生の保護者は89.4%となっています。

「とても重要だと思う」と答えた小学生の保護者は48.4%となっており、中学生の保護者より9.9ポイント高くなっています。

一方、子育てをする上で、近所・地域の支えの重要性について、「とても重要だと思う」「やや重要だと思う」と答えた県民は92.7%となっています。

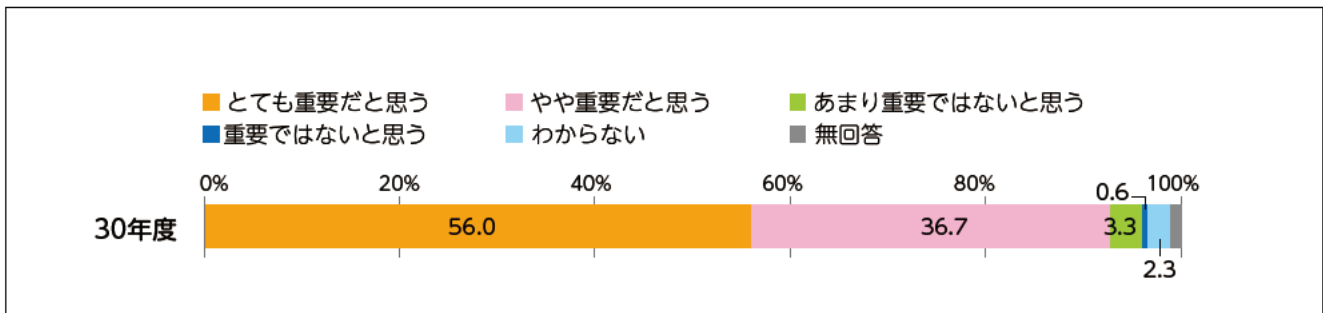
「とても重要だと思う」と答えた県民の割合は保護者よりも高く、特に中学生の保護者より17.5ポイント高くなっています。

■ 図 4-4 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

■ 図 4-5 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●子どもにかかる市町の取組を紹介します

〈名張市〉

地域と連携しながら子育て支援

子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れることができる場所として、市内15カ所に開設されている「まちの保健室」は、切れ目ない子育て支援に取り組む「名張版ネウボラ」の重要な拠点となっています。市内15地域に看護師や介護福祉士などが配置され、子育て、福祉、健康づくりなど、何でも気軽に話せる身近なワンストップ相談窓口です。各地域には、民生・児童委員、ボランティア、区長など地域の皆さんの協力のもと、親子で気軽に遊べる「子育て広場」が展開されており、こうした住民の地域づくり活動とも連携しています。

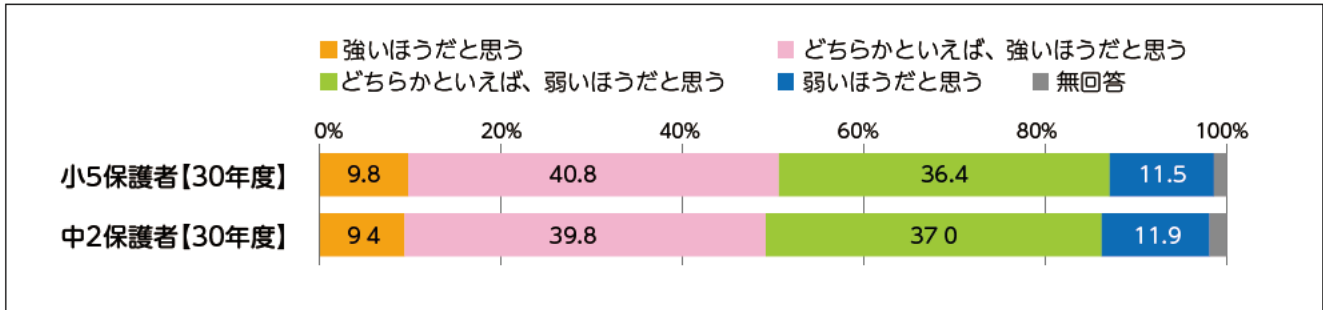


●地域の人たちとの関係やつながりが強い保護者は約5割。

自身と地域の人たちの関係やつながりの強さについて、「強いほうだと思う」「どちらかといえば、強いほうだと思う」と答えた小学生の保護者は50.6%、中学生の保護者は49.2%となっています。

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要との認識は約9割と高いものの（P.64）、自身と地域の人たちの関係やつながりが強い保護者は約5割にとどまっています。

■ 図 4-6 ご自身と地域の人たちの関係やつながりは強いほうですか

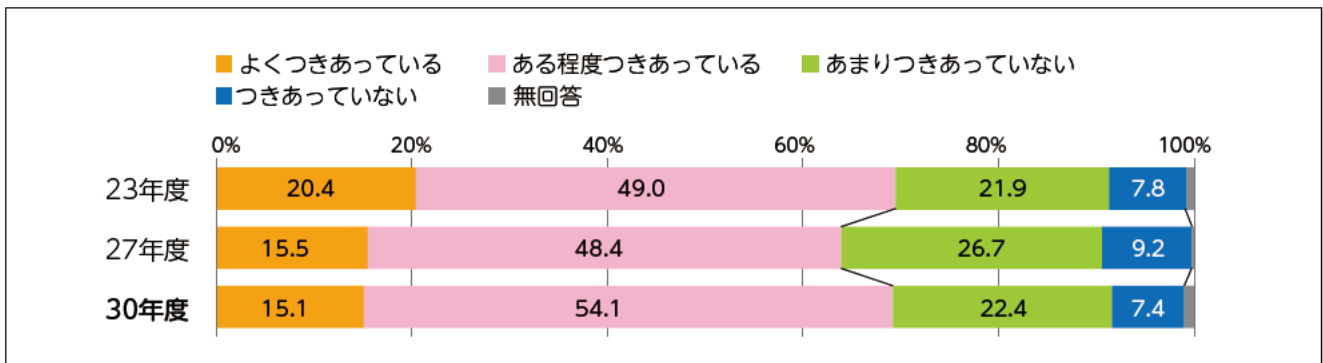


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●となり近所とよくつきあっている県民は約7割。

となり近所とのつきあいの程度について、「よくつきあっている」「ある程度つきあっている」と答えた県民は69.2%となっています。

■ 図 4-7 あなたは、となり近所とのつきあいを、どの程度されていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●**大切と思う人間関係やつながりは保護者、県民とも「家族」が9割以上。「近所・地域の人」は保護者が約5割、県民が約7割。**

大切と思う人間関係やつながりについて、小学生の保護者、中学生の保護者ともに「家族」がそれぞれ97.3%、97.4%と最も高く、次いで「子どもを通じた知り合い（ママ友など）」、「近所・地域の人」となっています。

大切と思う人間関係やつながりについて、県民は「家族」が94.9%と最も高く、次いで「近所・地域の人」が66.0%、「親戚」53.0%となっています。

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要という保護者の認識は約9割と高いものの（P.64）、自身にとって大切と思う人間関係やつながりとして「近所・地域の人」と答えた保護者は約5割にとどまっています。

■ 図 4-8 あなたにとって大切と思う人間関係やつながりは何ですか（複数回答・いくつでも）

	小学生保護者	中学生保護者	県 民
	30年度	30年度	30年度
家族	① 97.3	① 97.4	① 94.9
親戚	49.1	47.5	③ 53.0
近所・地域の人	③ 54.1	③ 53.6	② 66.0
職場の同僚や仕事関係の人	45.2	45.5	46.9
学生時代の知り合い	50.8	48.8	42.5
趣味の仲間	16.5	19.7	32.3
子どもを通じた知り合い（ママ友など）	② 57.7	② 54.4	27.8
インターネット上の付き合いの人	0.5	0.7	2.4
その他	2.0	1.8	2.0
特にいない	0.5	0.2	0.3
わからない	0.3	0.3	0.5
無回答	1.3	1.2	1.0

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査、県民調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●子育てにあたって求める地域の支えは、防犯のための声かけや登下校の見守りが最も高い。

子育てするにあたって地域でどのような支えがあると良いと思うかについて、小学生の保護者は「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が69.2%と最も高く、次いで「急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動」が32.2%、「子育てに関する情報を提供する活動」が31.7%となっています。

中学生の保護者は「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が63.4%と最も高く、次いで「子育てに関する情報を提供する活動」が30.5%、「子育てに関する悩みについて相談にのる活動」が29.3%となっています。

「急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動」と答えた小学生の保護者は中学生の保護者より10.1ポイント高くなっています。

■ 図 4-9 あなたは、子育てするにあたって、地域でどのような支えがあると良いと思いますか
(複数回答・いくつでも)

	小学生保護者	中学生保護者
	30年度	30年度
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	29.0	③29.3
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	26.4	27.1
子育てに関する情報を提供する活動	③31.7	②30.5
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	25.3	23.8
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	②32.2	22.1
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	①69.2	①63.4
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	13.4	14.7
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	12.7	13.6
その他	2.3	1.6
特にない	4.8	7.3
わからない	2.9	4.9
無回答	1.6	1.7

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●子育てに関する活動について、8割の県民が活動に参加していない。

子育てに関する活動の支え手として、現在参加している活動について、「参加している活動はない」が80.0%と最も高くなっています。次いで「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が7.4%、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動」が3.6%となっています。

■ 図 4-10 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが現在参加している活動はありますか（複数回答・いくつでも）

	県 民
	30年度
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	2.9
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	③3.6
子育てに関する情報を提供する活動	3.0
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	2.0
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	3.5
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	②7.4
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	2.2
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	1.6
その他	3.2
参加している活動はない	①80.0
無回答	2.6

資料：「三重県子ども条例に基づく調査、県民調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

●子育てに関する活動に対する県民の参加意向は低くないものの、今後参加したい活動についてはどのような活動がよいかわからない人が多い。

子育てに関する活動の支え手として、今後参加したい活動について、「参加したいが、どのような活動がよいかわからない」が32.2%と最も高く、次いで「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が26.9%、「参加したいと思わない」が20.1%となっています。

80.0%の県民が現在、「参加している活動はない」と答えたものの（P.68）、今後の活動意向として「参加したいと思わない」は20.1%にとどまっており、多くの人は何らかの活動意向を持っているとみられます。一方で、「参加したいが、どのような活動がよいかわからない」と答えた県民が32.2%となっており、活動したいとの気持ちは持っているものの、具体的な活動内容をイメージできていない県民が多くなっています。

■ 図 4-11 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが今後参加したい活動（現在参加している活動を継続する場合も含む）はありますか（複数回答・いくつでも）

	県 民
	30年度
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	9.6
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	10.2
子育てに関する情報を提供する活動	8.8
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	7.5
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	13.3
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	②26.9
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	6.7
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	5.4
その他	2.4
参加したいが、どのような活動がよいかわからない	①32.2
参加したいと思わない	③20.1
無回答	4.0

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●参加していない理由は、忙しくて時間が無いが最も高い。

現在参加している活動はない人の参加していない（参加できない）理由について、「仕事や家事などで忙しくて時間が無い」の割合が42.5%と最も高く、次いで「活動に関する情報がないため、関わる機会がない」が29.8%、「特に理由はない」が16.0%となっています。

■ 図 4-12 図 4-10 (P.68) で「参加している活動はない」を選択した人にお聞きします。参加していない（参加できない）理由は何ですか（複数回答・いくつでも）

	県民
	30年度
仕事や家事などで忙しくて時間が無い	①42.5
子どもを他人と関わらせることに対する保護者の抵抗感などの風潮がある	5.4
活動に関する情報がないため、関わる機会がない	②29.8
活動自体に興味がない	5.4
子どもが好きではない	2.3
その他	12.5
特に理由はない	③16.0
無回答	8.7

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

2

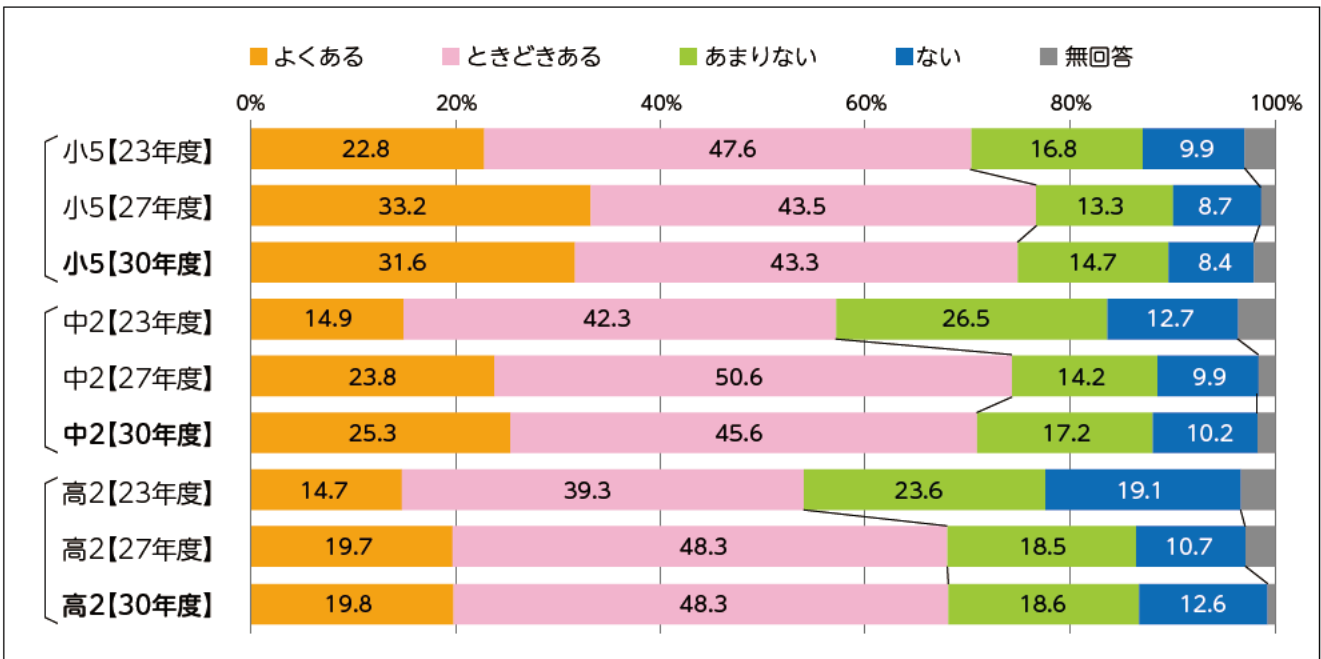
子どもと地域の大人のかかわり

●近所の大人からほめられたことがある子どもは約7割。近所の子どもをほめたことがある県民は約5割。

これまでに近所の大人からほめられたことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた小学生は74.9%、中学生は70.9%、高校生は68.1%となっています。

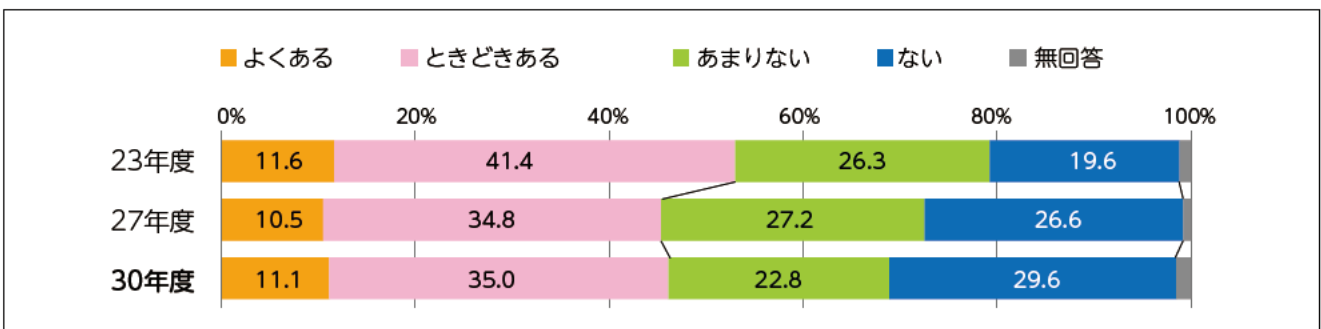
一方、近所の子どもをほめたことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた県民は46.1%となっています。平成23年度と比較すると、「ない」の割合が10ポイント上昇しています。

■ 図 4-13 あなたは、これまで近所の大人からほめられたことはありますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 4-14 あなたは、近所の子どもをほめたことはありますか



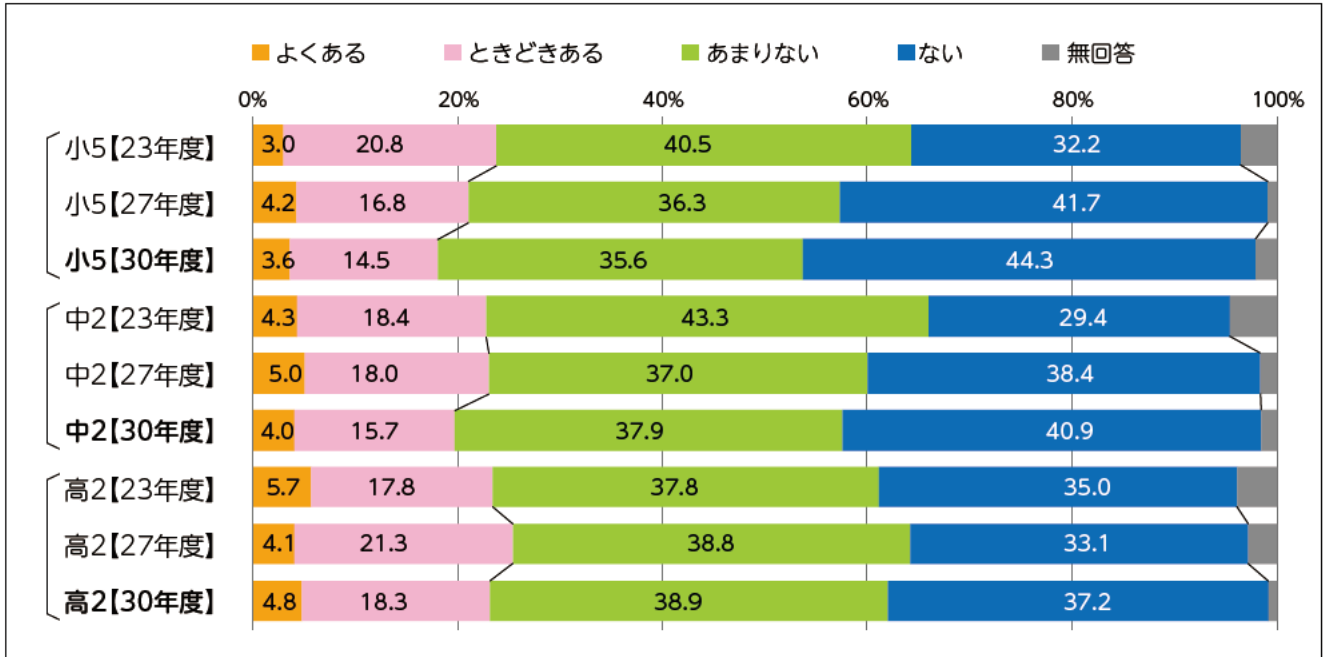
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●近所の大人から注意されたことがある子どもは約2割。近所の子どもを注意したことがある県民は約3割だが減少傾向。

これまでに近所の大人から注意されたことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた小学生は18.1%、中学生は19.7%、高校生は23.1%となっています。

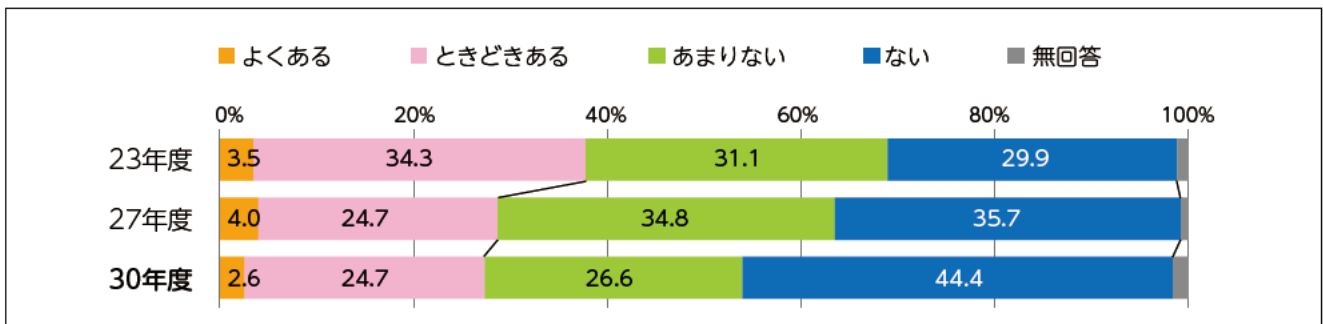
一方、近所の子どもを注意したことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた県民は27.3%となっています。平成23年度と比較すると、「ない」の割合が14.5ポイント上昇しています。

■ 図 4-15 あなたは、これまで近所の大人から注意されたことはありますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 4-16 あなたは、近所の子どもを注意したことはありますか

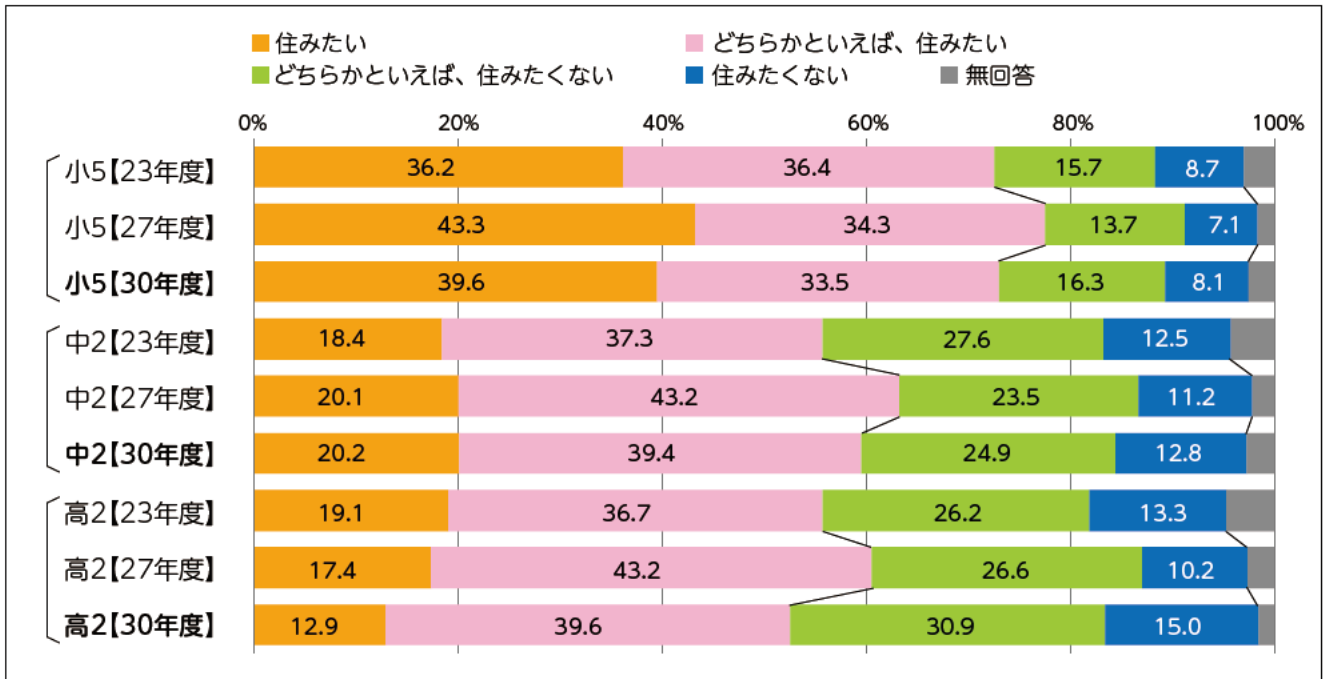


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●将来、自分が育った地域で住みたい小学生は約7割、中学生は約6割、高校生は約5割。

将来、自分が育った地域に住みたいかについて、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」と答えた小学生は73.1%、中学生は59.6%、高校生は52.5%となっており、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。

■ 図 4-17 あなたは、将来、自分が育った地域で住みたいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●住んでいる地域で取り組んでみたいことについて、小学生は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」、中学生、高校生は「特にしたいことはない」が最も高い。

住んでいる地域で取り組んでみたいことについて、小学生は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が36.7%と最も高く、次いで「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」が29.4%、「地域の歴史や文化について勉強する」「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が25.8%となっています。中学生は「特にしたいことはない」が37.2%と最も高く、次いで「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が26.5%、「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が22.2%となっています。高校生も「特にしたいことはない」が39.8%と最も高く、次いで「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が21.6%、「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が18.7%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生は「町の美化活動をする」、中学生は「地域の行事を計画する」、「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が10ポイント以上上昇しています。

■ 図 4-18 あなたは、住んでいる地域で、どんなことに取り組んでみたいと思いますか
(複数回答・いくつでも)

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
地域の歴史や文化について勉強する	16.0	③25.2	③25.8	12.3	16.1	14.8	8.2	6.3	9.2
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	②24.0	②28.6	②29.4	11.6	18.5	16.5	7.1	8.2	9.2
地域の大人と意見交換などをする	4.9	5.6	6.7	3.1	6.3	6.1	4.8	4.1	5.3
地域の行事を計画する	14.1	17.6	20.1	7.6	16.5	18.0	7.3	10.4	11.0
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	21.3	22.2	③25.8	②16.5	③24.0	③22.2	②19.1	②22.7	②21.6
お年寄りや昔遊びなどで交流する	22.4	20.5	22.9	6.0	10.3	10.6	7.5	4.4	6.2
異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする	①30.3	①32.2	①36.7	③15.3	②25.9	②26.5	③15.0	③17.3	③18.7
町の美化活動をする	9.4	17.4	19.4	9.2	16.8	14.9	10.4	10.7	14.5
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	14.4	17.2	20.0	6.3	12.4	12.3	4.7	6.3	8.9
いろいろな国の人と交流する	18.2	20.6	24.4	8.8	14.2	17.3	9.4	7.2	11.3
その他	1.3	2.9	3.4	1.2	2.2	1.3	1.1	1.2	1.4
特にしたいことはない	③23.2	③25.2	20.8	①43.0	①32.1	①37.2	①41.7	①40.0	①39.8
無回答	6.7	2.4	2.3	8.2	2.8	3.0	9.1	4.8	2.8

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●住んでいる地域で取り組めるとよいことについて、小学生の保護者は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」、中学生の保護者や県民は「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が最も高い。

子どもが住んでいる地域で取り組めるとよいことについて、小学生の保護者は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が47.4%と最も高く、次いで「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が35.0%、「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」が32.5%となっています。中学生の保護者は「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が36.6%と最も高く、次いで「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が34.4%、「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が29.5%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者ともに、平成27年度は5位以下だった「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」がそれぞれ2位、1位となっています。

地域の子どもと一緒に取り組みたいと思うことについて、県民は「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が37.9%と最も高く、次いで「町の美化活動をする」が34.2%、「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」が33.6%となっており、平成27年度と比較すると順位が大きく入れ替わっています。

中学生の保護者や県民で35%以上で1位となっている「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」は、中学生は12.3%、高校生8.9%にとどまり（P.74）、20ポイント以上の差となっています。

■ 図 4-19 【保護者】あなたは、お子さまが、住んでいる地域でどんなことに取り組めるとよいと思いますか / 【県民】子どもがいきいきと育つために、あなたが、地域の子どもと一緒に取り組みたいと思うことは、どんなことですか（複数回答・いくつでも）

	小学生保護者			中学生保護者			県民		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
地域の歴史や文化について勉強する	28.9	33.9	29.5	27.4	②30.7	26.3	23.5	28.8	25.7
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	28.7	②35.3	③32.5	23.2	28.0	28.3	24.1	30.5	③33.6
地域の大人と意見交換などをする ※1	12.7	17.2	10.9	15.1	17.8	15.9	14.6	17.3	17.4
地域の行事を計画する	14.0	16.7	15.6	12.9	14.4	16.3	③30.6	②35.5	29.2
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	②31.8	33.2	30.8	23.8	27.5	③29.5	29.1	①36.2	30.2
お年寄りや昔遊びなどで交流する ※2	28.5	25.8	24.1	16.6	14.9	14.0	19.8	17.3	17.1
異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする ※3	①47.7	①54.9	①47.4	①35.1	①34.5	②34.4	①34.2	③33.9	32.5
町の美化活動をする	③29.2	28.4	26.1	②30.1	27.3	25.6	②31.5	33.1	②34.2
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	29.1	28.7	②35.0	③29.0	27.6	①36.6	25.0	29.5	①37.9
いろいろな国の人と交流する	23.5	③34.7	23.2	21.6	③30.5	29.3	11.3	19.7	16.5
その他	0.5	1.8	1.3	2.3	1.4	1.1	2.2	4.1	2.0
特にない	10.2	5.5	6.6	12.1	9.5	9.5	11.1	10.2	8.4
無回答	1.9	1.0	1.4	2.4	1.1	1.4	1.9	0.5	2.5

※1 県民調査の選択肢「意見交換などをする」 ※2 県民調査の選択肢「昔遊びを伝える」

※3 県民調査の選択肢「一緒になって遊ぶ」

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査、県民調査」〔〇番号は割合の多い順を表しています。〕

第5章

「家族」をもつこと

この章では「三重県子ども条例に基づく調査」をもとに、高校生の結婚観や子どもを持つこと、男性の育児参画についての意識、県民の理想の家族の住まい方についてみます。

将来結婚したい、子どもがほしいと思う高校生は約8割と大半を占めますが、結婚したいと思わない高校生、子どもがほしいと思わない高校生はやや増加しています。

小学生時代に赤ちゃんとふれあったり、小さい子どもと遊んだ経験がある高校生は、遊んだ経験がない高校生より結婚したい、子どもがほしいと思う割合が高くなっています。

また、家の人に悩みや学校などでの出来事を話している高校生は、話をしていない高校生より結婚したい、子どもがほしいと思う割合が高くなっています。結婚や子どもを持つことについては、個人の考え方や価値観を尊重することが大前提となりますが、若者が結婚や子どもを持つことについて関心を持てるよう、子どものころから親子のコミュニケーションや、赤ちゃんや小さい子どもとのふれあい体験など家庭教育やライフプラン教育を充実させていくことが重要と考えられます。

男性が育児をすることについて、「男性も女性と育児を分担して、積極的に参加すべき」と答える高校生の割合は約6割となっており、性別に関わらず育児に参加すべきと考える意識が高くなっています。

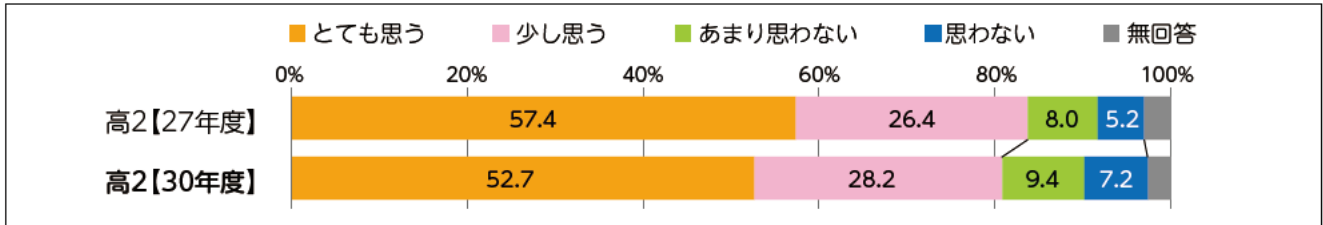
理想の家族の住まい方については、「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が最も高く、特に30歳代でその割合が高くなっています。

1 結婚観

● 将来、結婚したいと思う高校生は約8割。小学生時代に赤ちゃんや小さい子どもとふれあった経験がある高校生は、経験がない高校生より結婚したいと思う割合が高い。

将来、結婚したいと思うかについて、「とても思う」「少し思う」と答えた高校生は80.9%となっています。平成27年度と比較すると「思わない」「あまり思わない」の割合がやや高くなっています。

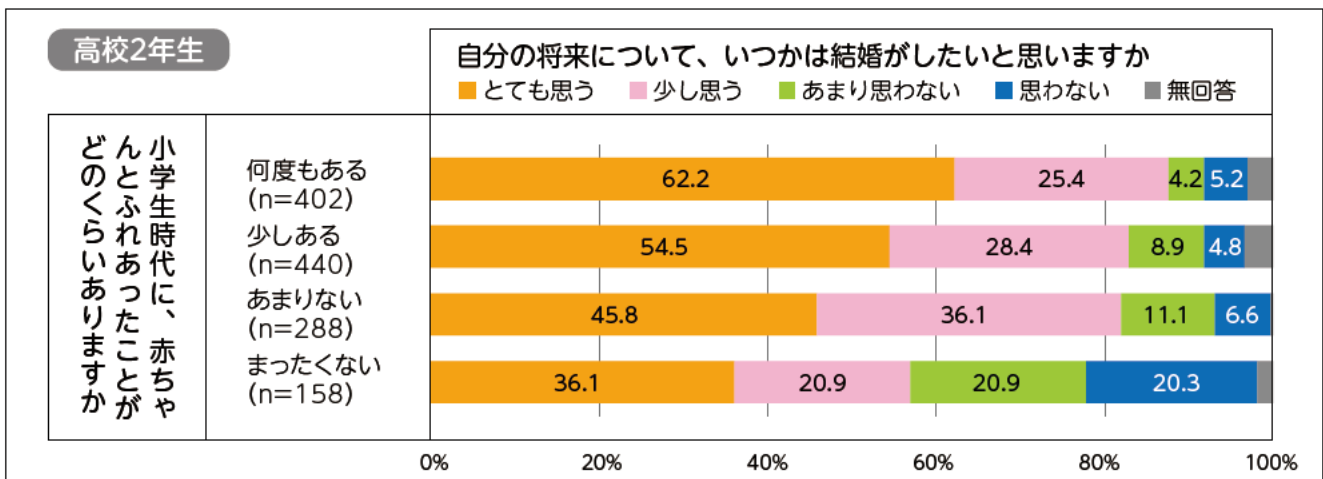
■ 図 5-1 あなたは、自分の将来について、いつかは結婚がしたいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係について、赤ちゃんとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が30.6ポイント高くなっています。

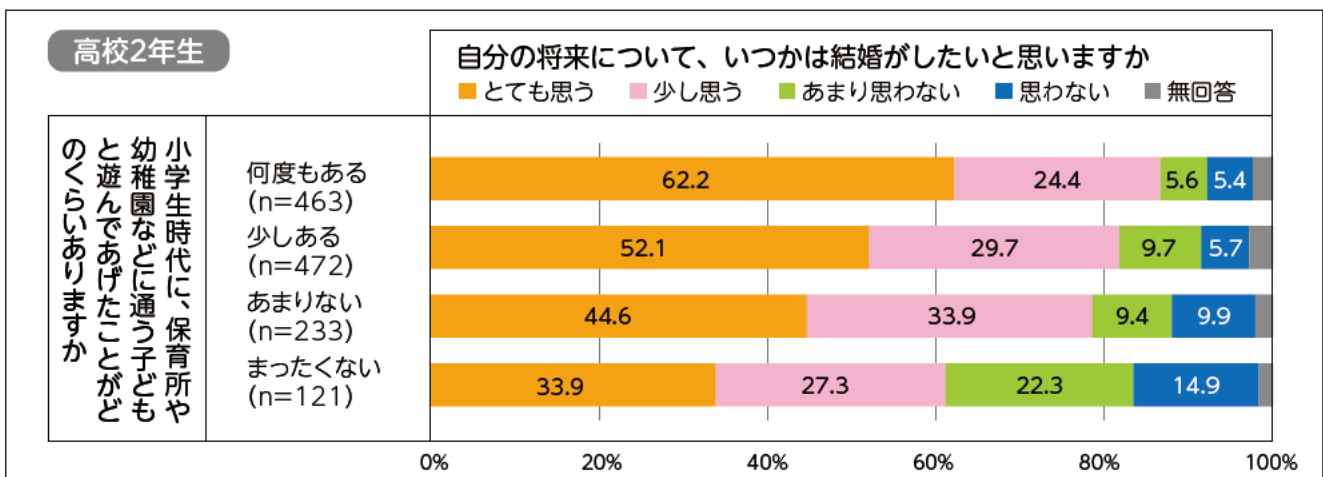
■ 図 5-2 「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係について、小さい子どもとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が25.4ポイント高くなっています。

■ 図 5-3 「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係



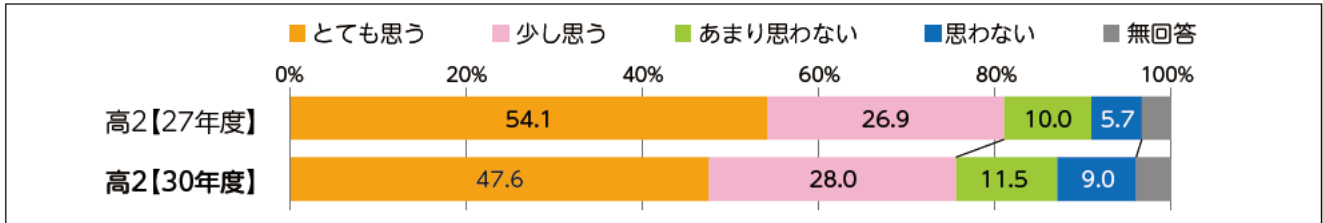
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

2 子どもを持つこと

● 将来、子どもを持ちたいと思う高校生は約8割。小学生時代に赤ちゃんや小さい子どもとふれあった経験がある子どもは、経験がない子どもより子どもを持ちたいと思う割合が高い。

将来、子どもをほしいと思うかについて、「とても思う」「少し思う」と答えた高校生は75.6%となっています。平成27年度と比較すると「思わない」「あまり思わない」の割合がやや高くなっています。

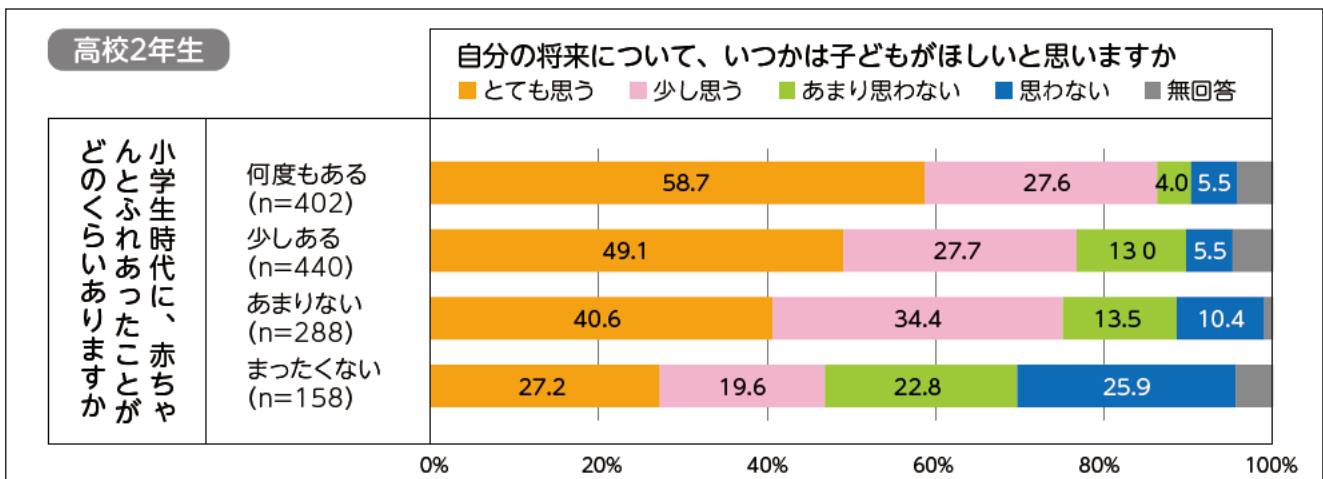
■ 図 5-4 あなたは、自分の将来について、いつかは子どもがほしいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係について、赤ちゃんとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が39.5ポイント高くなっています。

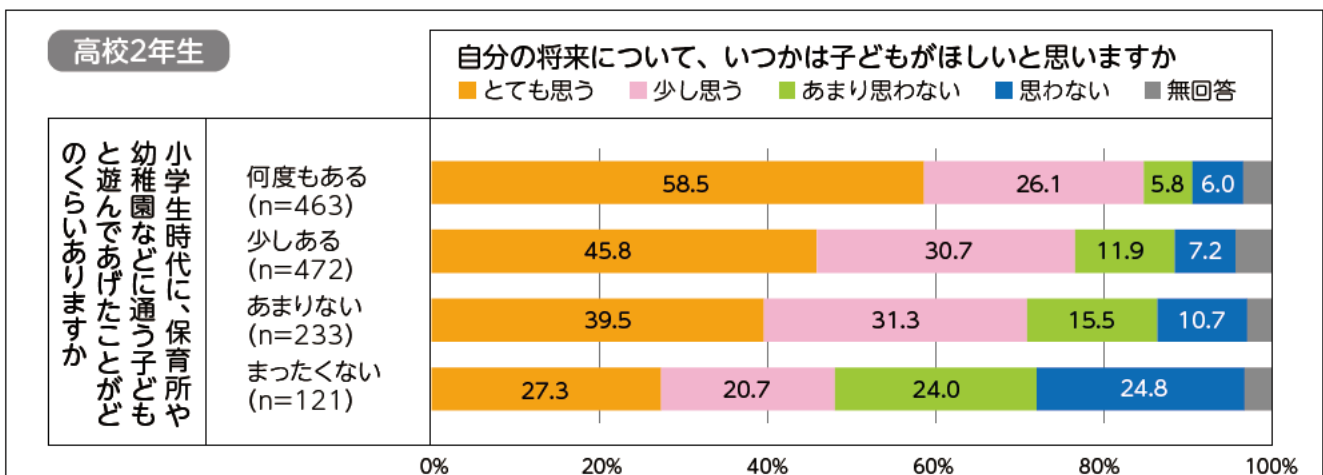
■ 図 5-5 「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係について、小さい子どもとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が36.6ポイント高くなっています。

■ 図 5-6 「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

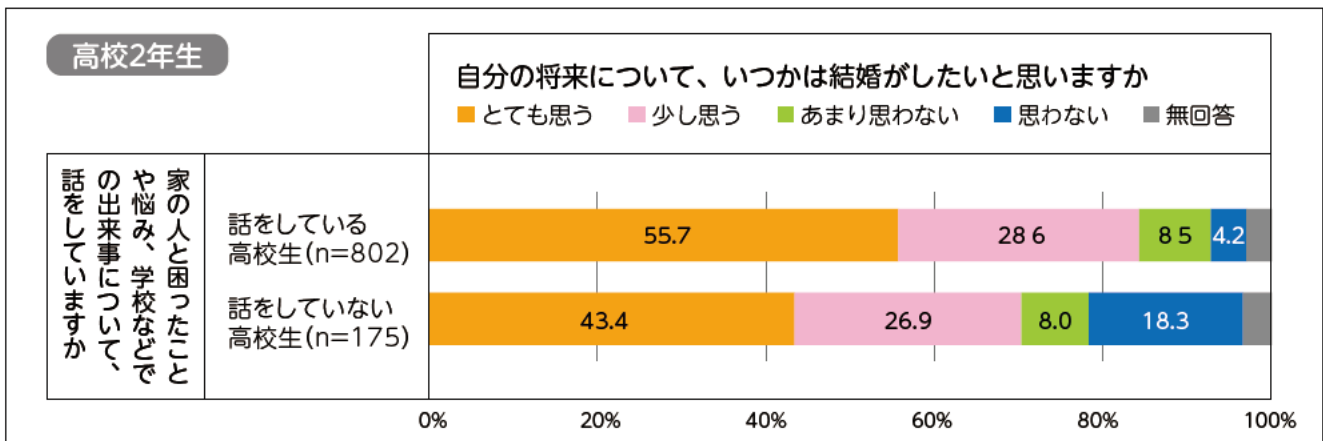
●家の人に悩みや学校などでの出来事を話している高校生は、話をしていない高校生より、いつかは結婚がしたい、いつかは子どもがほしいと思う割合が高い。

家の人に悩みや学校などでの出来事を話している高校生は、話をしていない高校生より、自分の将来について、いつかは結婚がしたいと「とても思う」「少し思う」と回答する割合が高く、同様にいつかは子どもがほしいと「とても思う」「少し思う」と回答する割合も高くなっています。

話をしていない高校生は、約2割が結婚がしたい、子どもがほしいと「思わない」と回答しています。

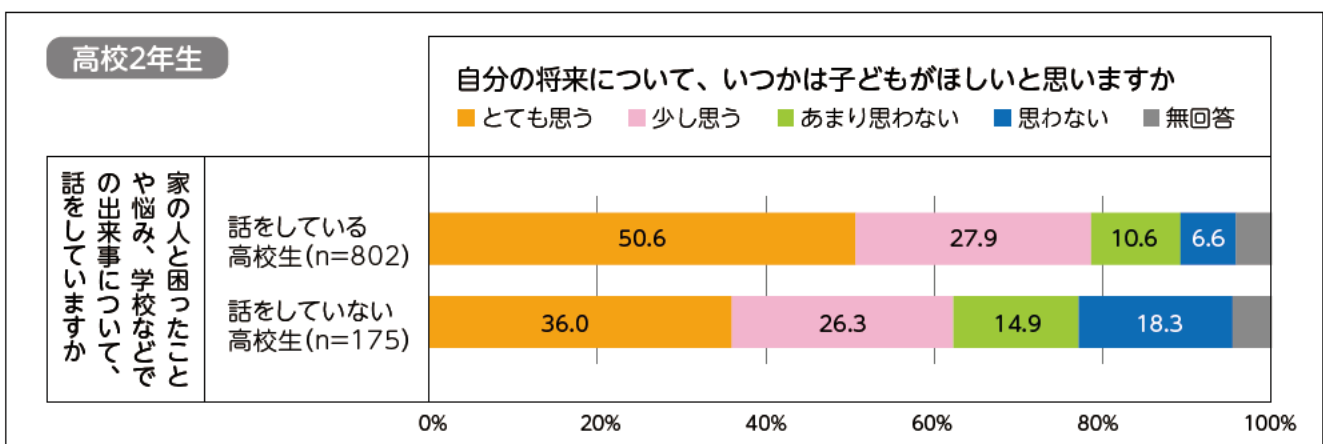
以下の図では、高校生に対する設問「あなたは、家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校などでの出来事について話をしていますか。」と「あなたは、困ったことや悩みがあったとき、家の人（兄弟姉妹は含みません。）に話をしていますか。」の2問について、2問とも「している」または「どちらかといえば、している」を選択した高校生を『話をしている高校生』、2問とも「どちらかといえば、していない」または「していない」を選択した高校生を『話をしていない高校生』としています。

■ 図 5-7 「家の人と困ったことや悩み、学校などでの出来事について話をしている」と「将来、結婚したいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査 子ども調査」

■ 図 5-8 「家の人と困ったことや悩み、学校などでの出来事について話をしている」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査 子ども調査」

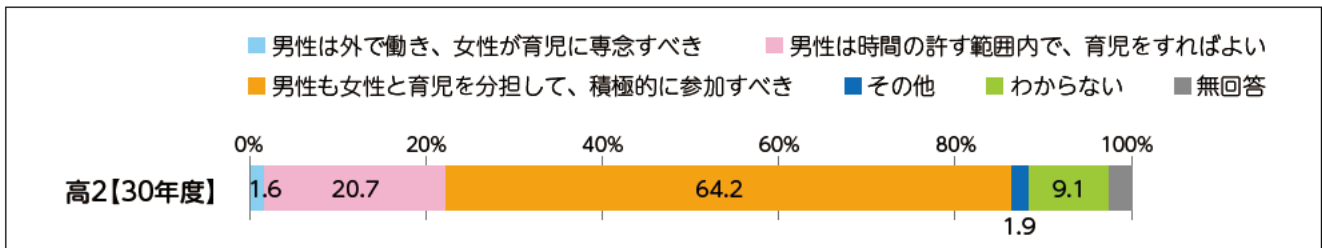
3 男性の育児参画

●男性が育児をすることについて、「男性も女性と育児を分担して、積極的に参加すべき」が約6割。

男性が育児をすることについて、高校生は「男性も女性と育児を分担して、積極的に参加すべき」が64.2%と最も高く、次いで「男性は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」が20.7%、「わからない」が9.1%となっています。

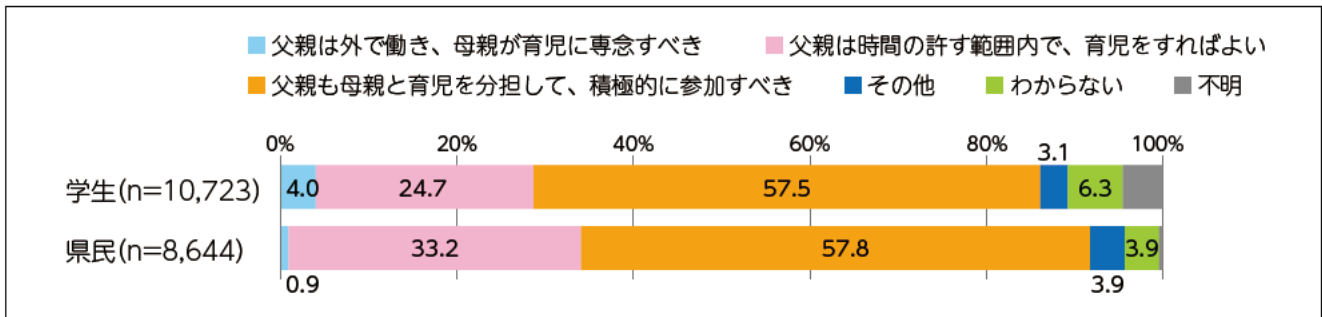
県内14の高等教育機関に在籍する学生では、「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」と答えた割合が57.5%と最も高く、次いで「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」が24.7%となっています。同様に、18歳から39歳の県民では、父親が育児をすることについて「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」と答えた割合が57.8%と最も高く、次いで「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」が33.2%となっています。

■ 図 5-9 男性が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 5-10 父親が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか



資料：三重県「結婚・出産・子育て、仕事に関するアンケート（平成29年度）」
三重県「結婚や妊娠・出産、子育てに関する県民意識調査（平成29年度）」

4 理想の家族の住まい方

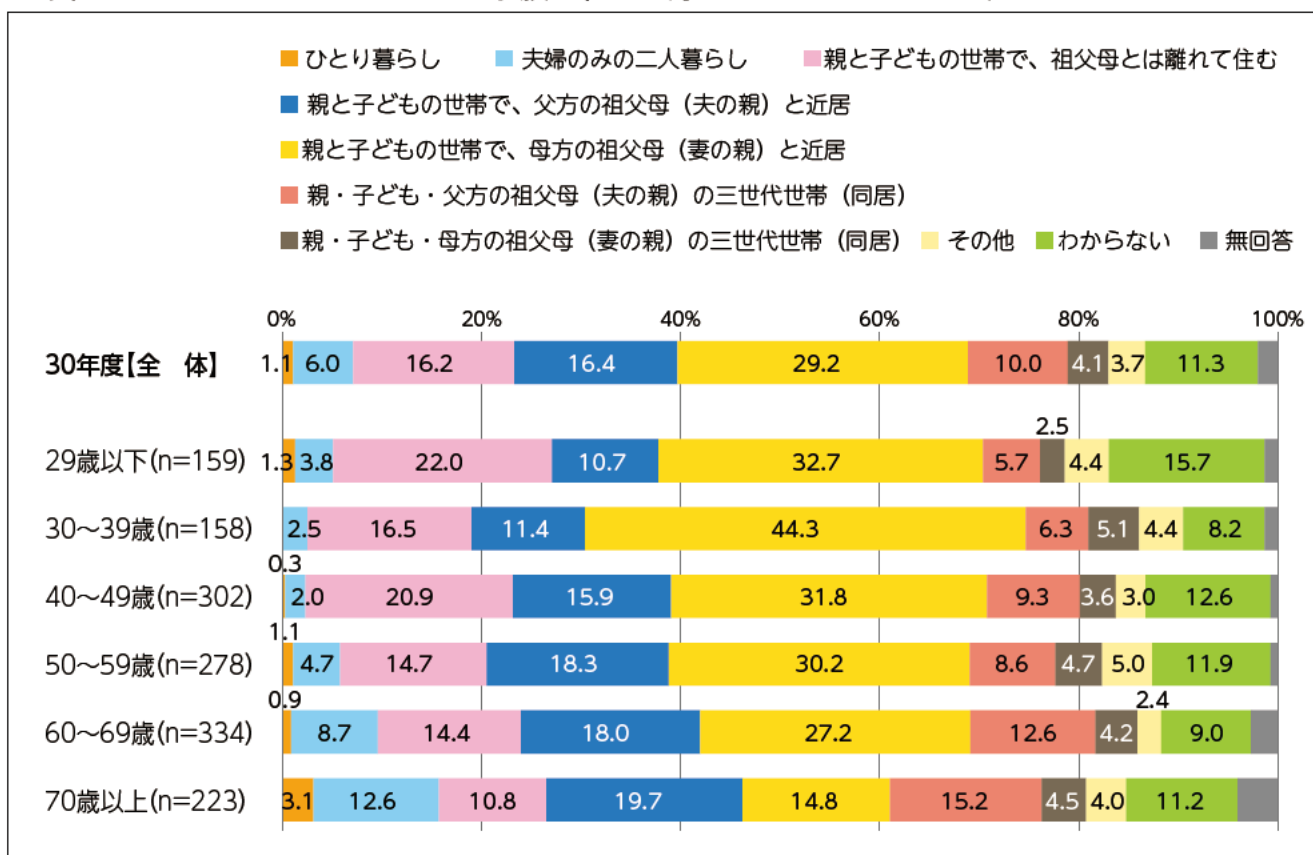
●理想の家族の住まい方について、「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が最も高い。

理想の家族の住まい方について、「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が29.2%と最も高く、次いで「親と子どもの世帯で、父方の祖父母（夫の親）と近居」が16.4%、「親と子どもの世帯で、祖父母とは離れて住む」が16.2%となっています。

年代別でみると、30～39歳で「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が44.3%で、ほかの年代より10ポイント以上高くなっています。

年代が高くなるほど「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」や「親と子どもの世帯で、祖父母とは離れて住む」の割合は低くなる傾向にあり、一方で「親と子どもの世帯で、父方の祖父母（夫の親）と近居」や「親・子ども・父方の祖父母（夫の親）の三世代世帯（同居）」の割合が高くなる傾向にあります。

■ 図 5-11 あなたにとって、理想の家族の住まい方とはどのようなものですか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

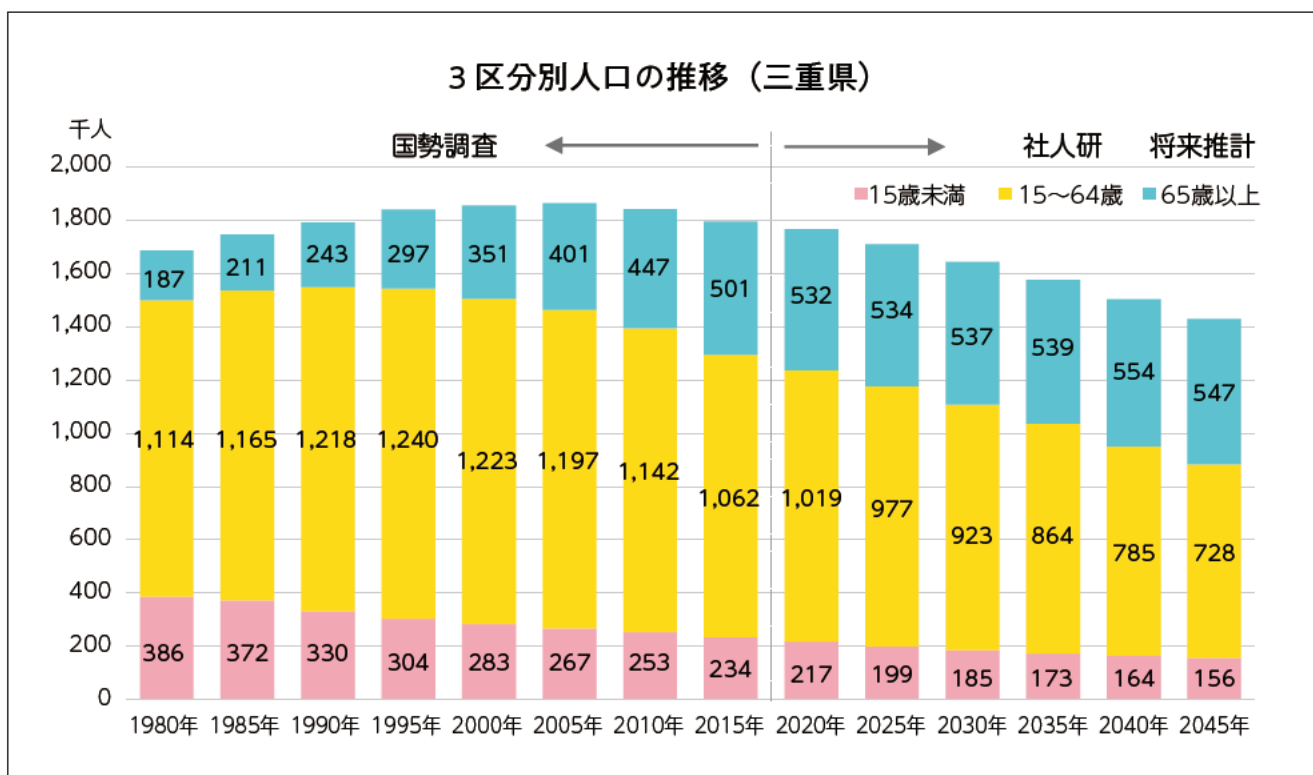
資料編

三重の子どもをとりまく現状

(1) 年齢階層別人口の推移

●人口は年々減少。

三重県における2015年までの人口と、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）による2020年から2045年までの将来推計人口についてみると、本県の総人口は2007年をピークに減少に転じ、今後も減少すると見込まれています。また、年齢3区分で見ると、15歳未満の年少人口と、15～64歳の生産年齢人口はすでに減少しています。一方、増加している65歳以上の老年人口も2040年以降減少に転じる見込みとなっています。



資料：2015年までは総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（都道府県）」

(2) 出生数や合計特殊出生率の推移

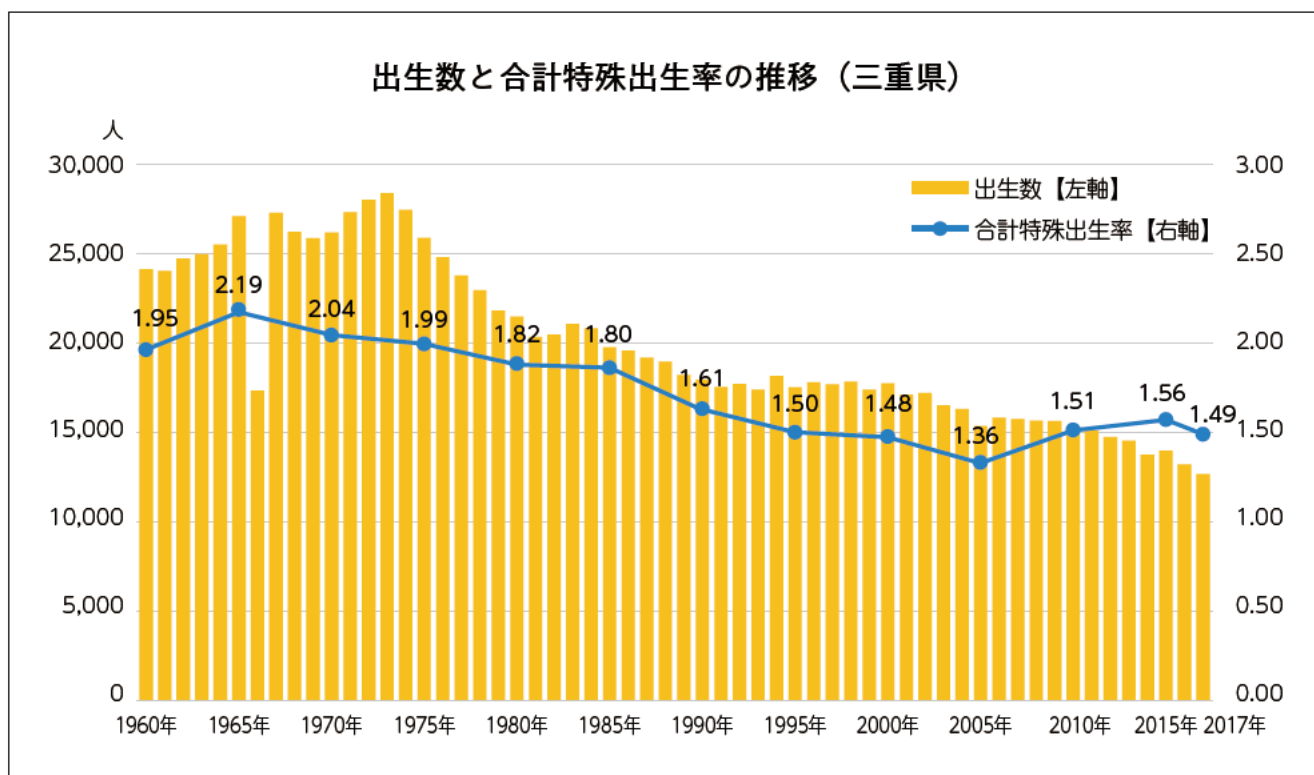
●出生数は減少傾向が続く。

三重県の出生数は、減少傾向が続いています。2017年は12,633人となり、10年前と比較すると3,000人以上の減少となっています。

2017年の合計特殊出生率は1.49となっています。

※合計特殊出生率

その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むと仮定したときの子どもの数に相当。



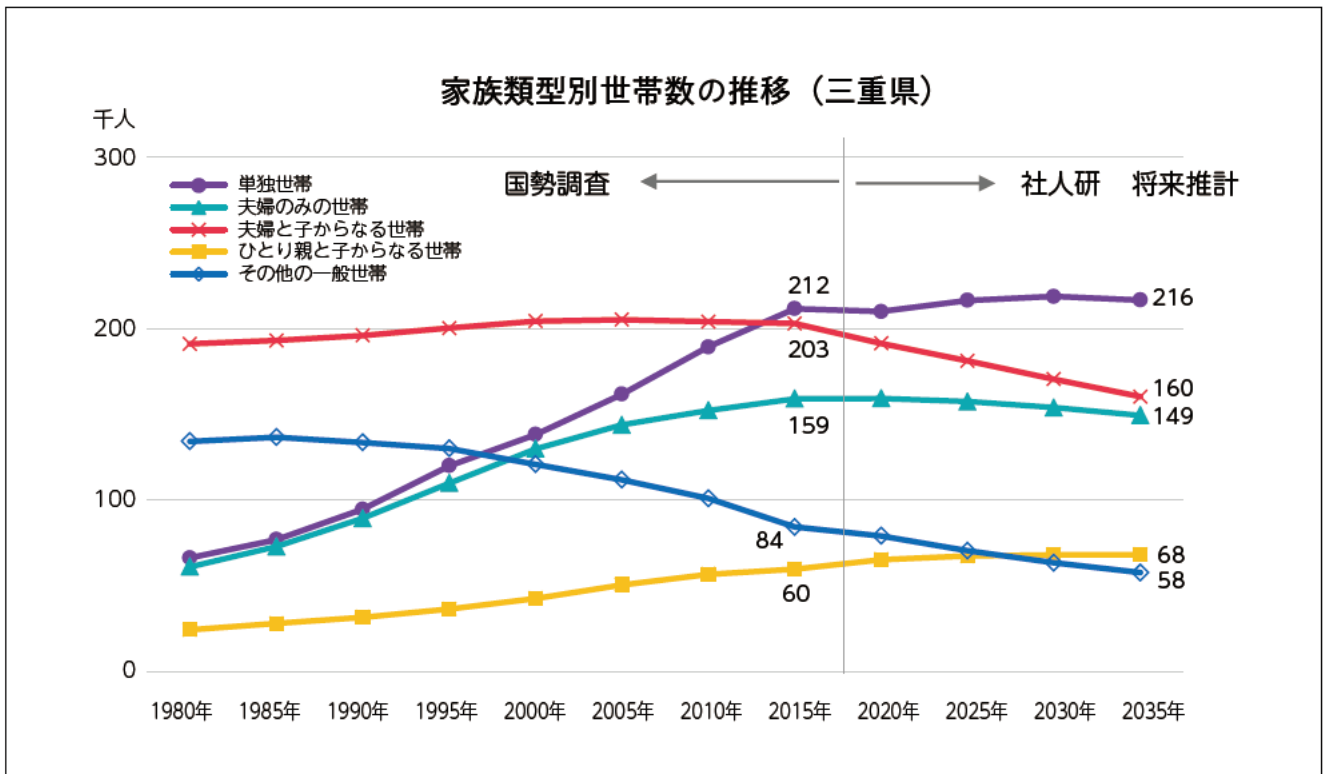
資料：厚生労働省「人口動態統計」、三重県統計課「三重県統計書」

(3) 家族類型別世帯数の推移

●夫婦と子からなる世帯は横ばいから将来的に減少へ。

三重県の家族類型別世帯数の推移をみると、増加していた単独世帯が夫婦と子からなる世帯を上回り、2015年時点で最も多くなっています。

夫婦と子からなる世帯は横ばいから将来的に減少が見込まれます。また、緩やかに増加していた夫婦のみの世帯も将来的には緩やかに減少が見込まれるほか、単独世帯も今後は横ばいとなることが見込まれています。

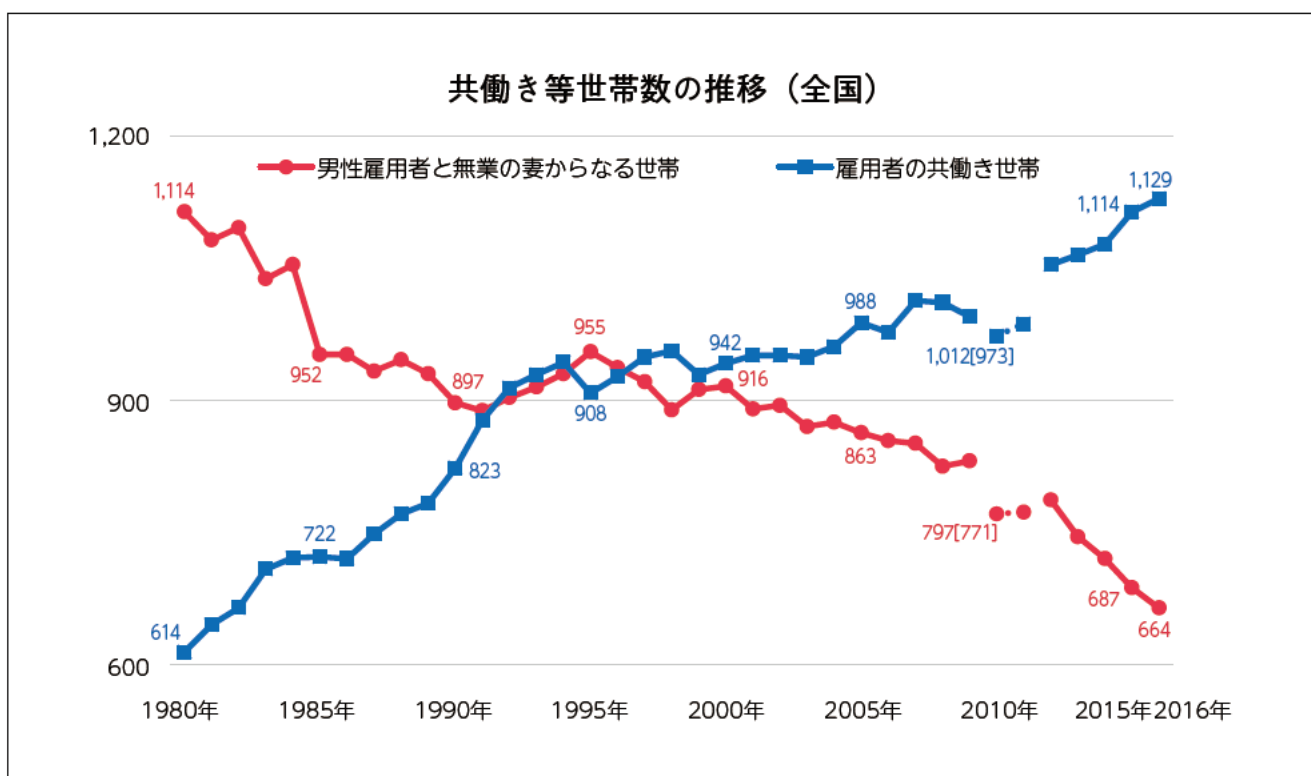


資料：2015年までは総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数将来推計（都道府県）」

(4) 全国の共働き等世帯の推移

●雇用者の共働き世帯は増加。

雇用者の共働き世帯数は増加している一方、男性雇用者と無業の妻からなる世帯は減少しています。



資料：内閣府「平成29年版男女共同参画白書」

注：1. 1980年から2001年までは総務庁「労働力調査特別調査」（各年2月。ただし、1980年から1982年は各年3月）、2002年以降は総務省「労働力調査（詳細集計）」より作成。

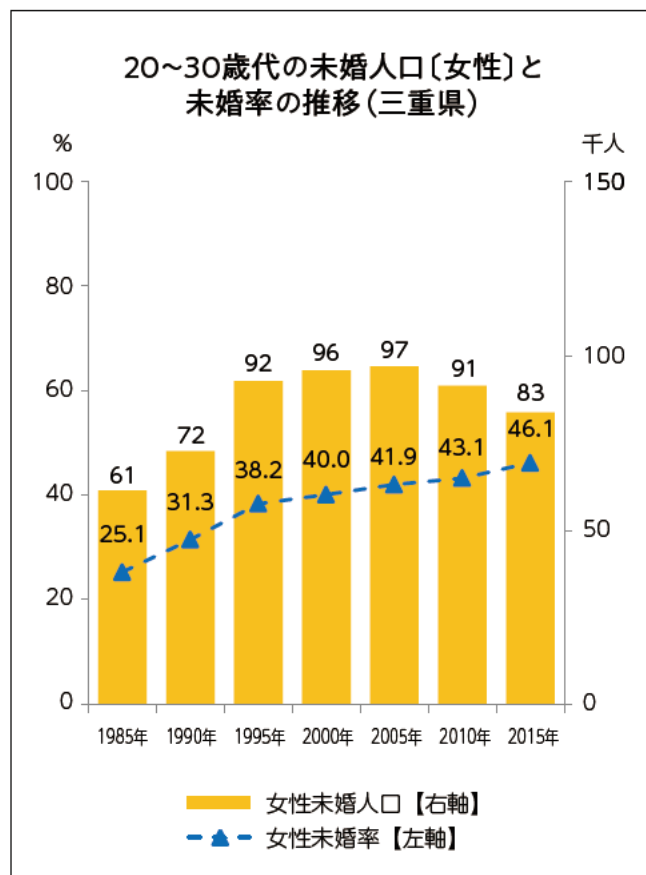
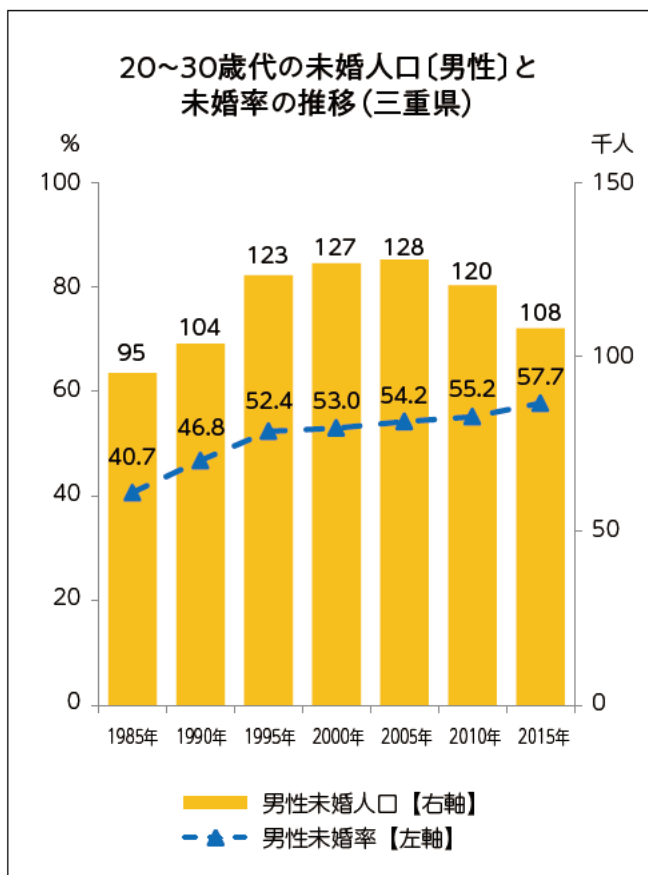
「労働力調査特別調査」と「労働力調査（詳細集計）」とは、調査方法、調査月等が相違することから、時系列比較には注意を要する。

2. 「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。
3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦共に非農林業雇用者（非正規の職員・従業員を含む）の世帯。
4. 2010年の[]内の実数は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

(5) 20～30歳代の未婚者数と未婚率の推移

●20～30歳代の未婚人口は減少。一方、未婚率は男女とも増加。

三重県の20～30歳代の未婚人口をみると、男性、女性ともに減少しています。一方、未婚率をみると、男性、女性ともに増加しており、特に男性は5割を超えています。

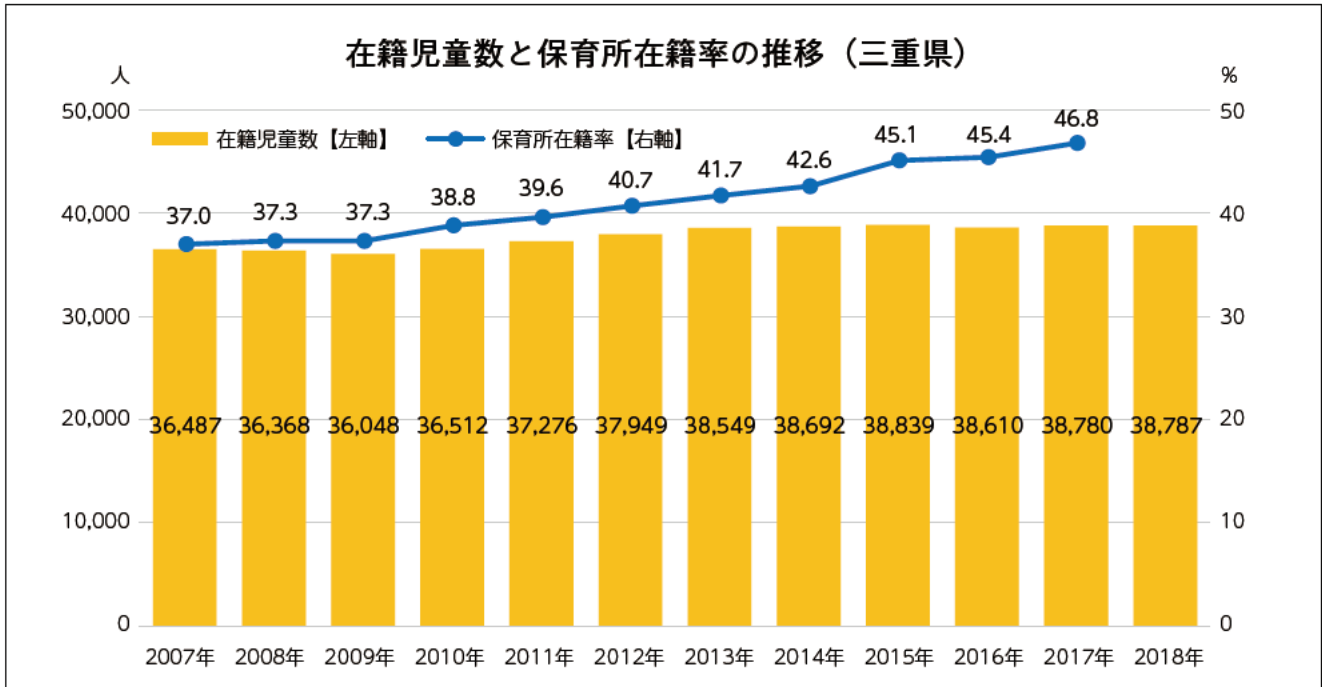


資料：総務省「国勢調査」

(6) 保育所在籍児数の推移

●保育所在籍児童数は横ばい、保育所在籍率は増加。

三重県の6歳未満の子どもの数は減少傾向にあるものの、保育所在籍児童数は横ばいとなっており、保育所在籍率は増加しています。



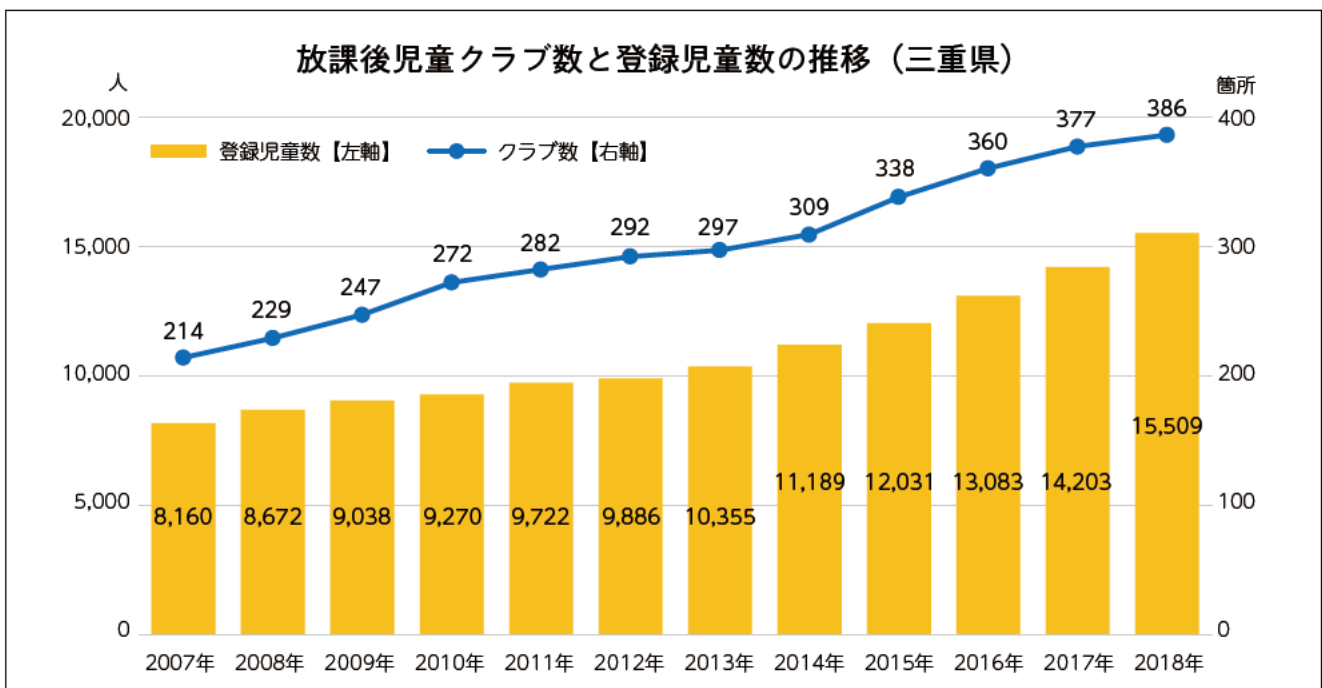
資料：三重県子ども・福祉部

注：在籍児童数は4月初日現在。在籍率は、6歳未満人口における保育所在籍児の割合。ただし、6歳未満人口は、当該年度の10月1日現在の人口を使用している。

(7) 放課後児童クラブの状況

●放課後児童クラブ数と登録児童数はともに増加。

三重県の小学校の児童数は減少傾向にあるものの、放課後児童クラブ数と登録児童数は増加しています。



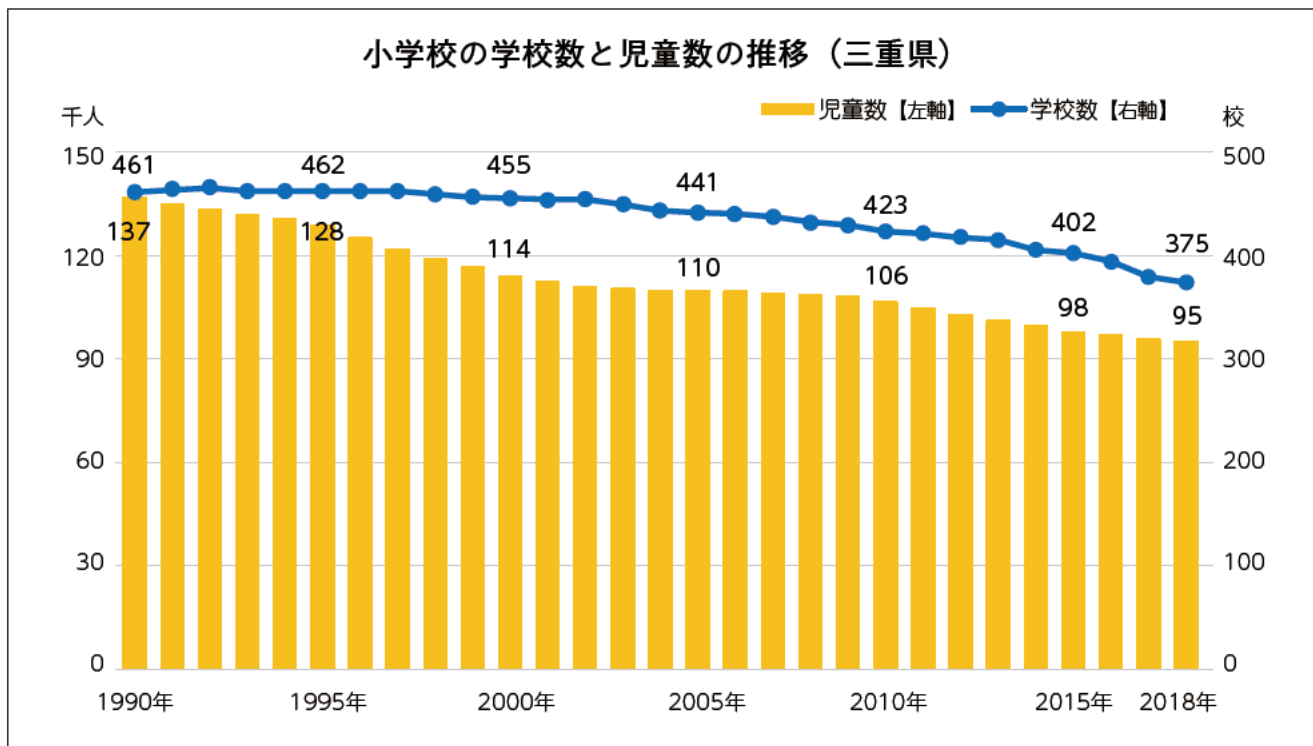
資料：三重県子ども・福祉部

(8) 学校数と児童生徒数の推移

- 小学校、中学校、高等学校の児童生徒数と学校数は減少傾向。一方、特別支援学校の在学者数、学校数は増加。

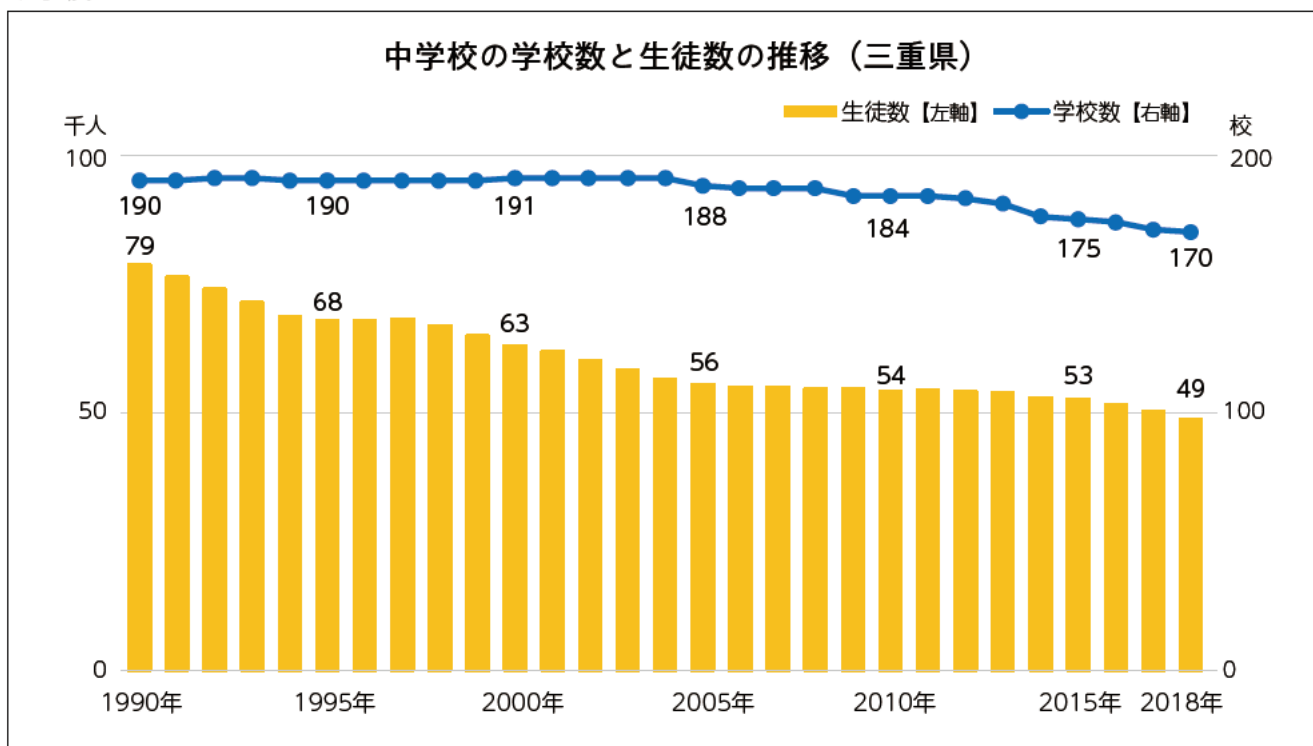
各学校の児童生徒数と学校数の推移をみると、小学校、中学校、高等学校は児童生徒数、学校数ともに減少しています。特別支援学校は在学者数、学校数ともに増加しています。

小学校



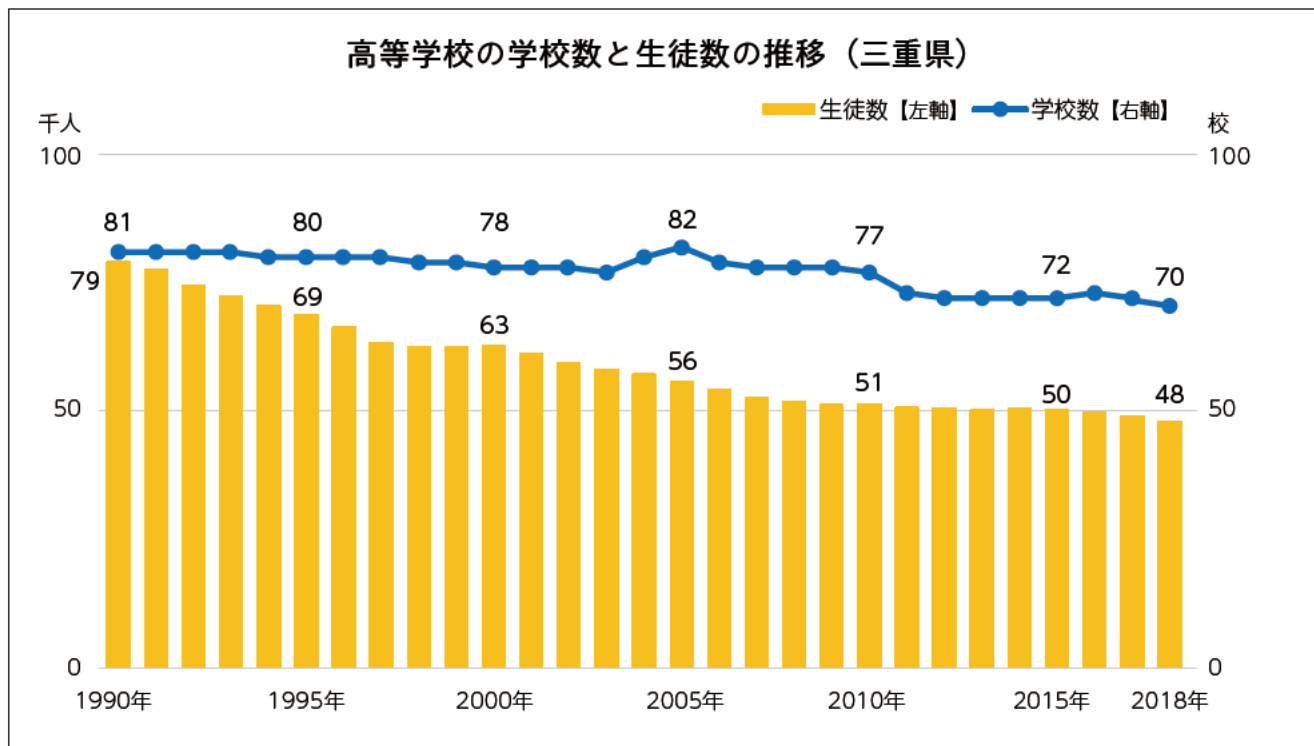
資料：文部科学省「学校基本調査」

中学校



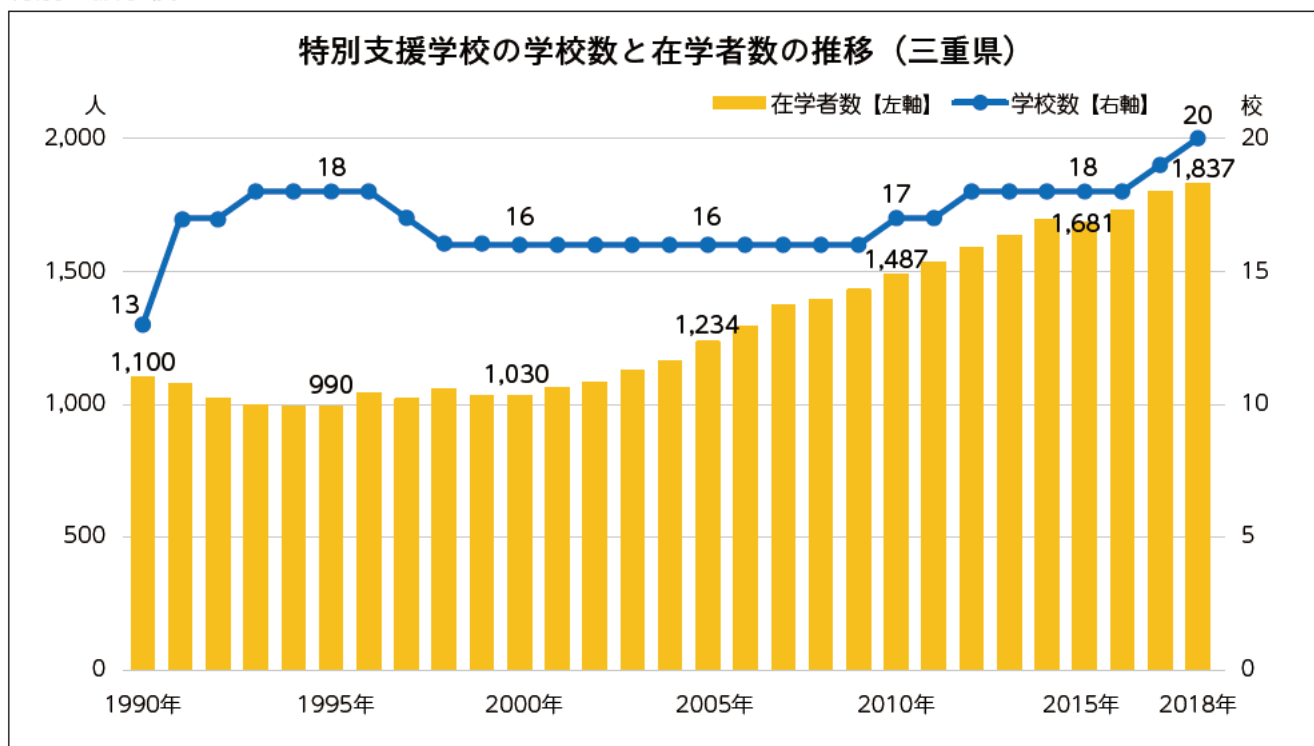
資料：文部科学省「学校基本調査」

高等学校



資料：文部科学省「学校基本調査」

特別支援学校

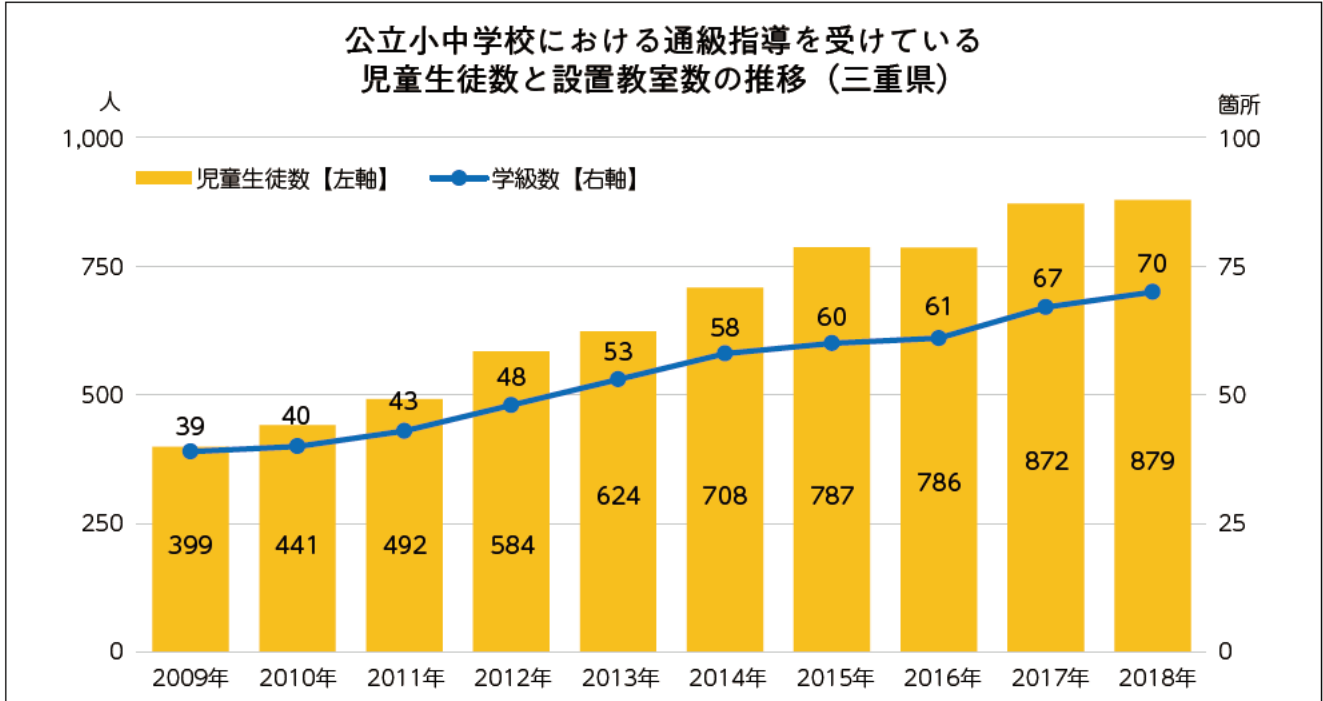


資料：文部科学省「学校基本調査」

(9) 公立小中学校における通級による指導を受けている児童生徒数と設置教室数の推移

●通級指導を受けている生徒数と設置教室数は増加。

公立小中学校における通級指導を受けている児童生徒数と設置教室数の推移をみると、児童生徒数、設置教室数ともに増加しています。



資料：三重県教育委員会

(10) 相対的貧困率と子どもの貧困率の推移

●増加傾向にあった相対的貧困率は減少に転じる。

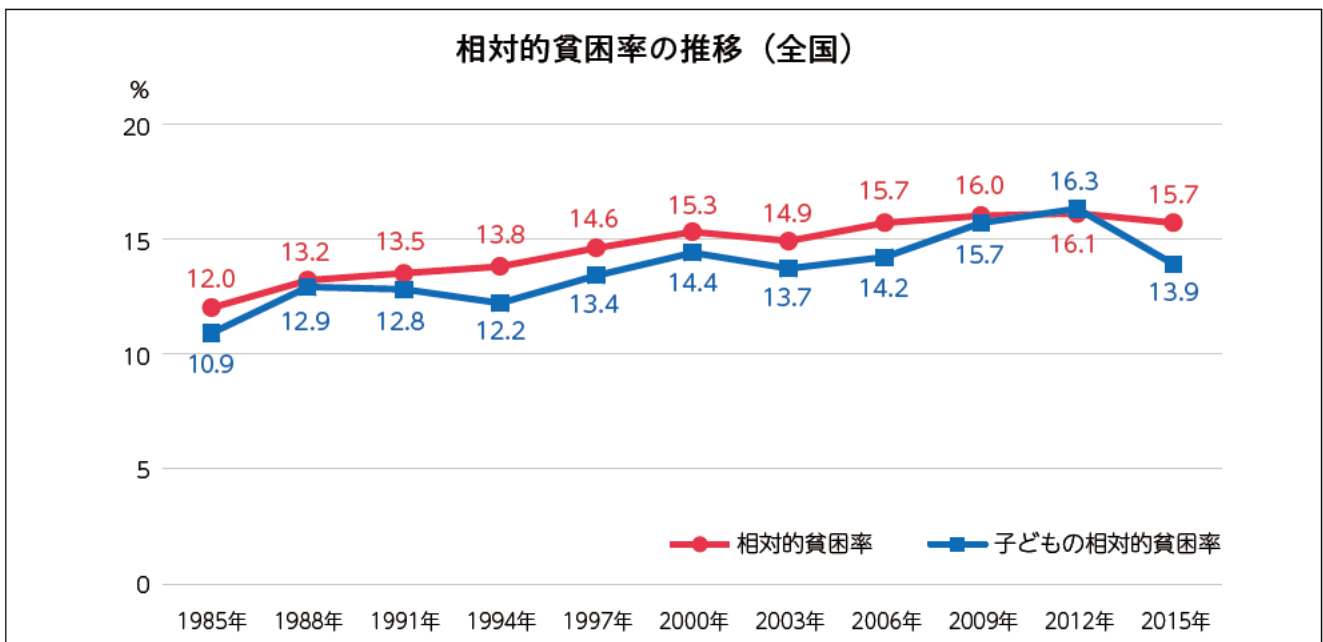
緩やかに増加傾向にあった相対的貧困率と子どもの相対的貧困率ですが、2015年に減少に転じています。

※相対的貧困率

一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合

貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額

※子どもの相対的貧困率 17歳以下の子ども全体に占める等価可処分所得が貧困線に満たない子どもの割合



資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」

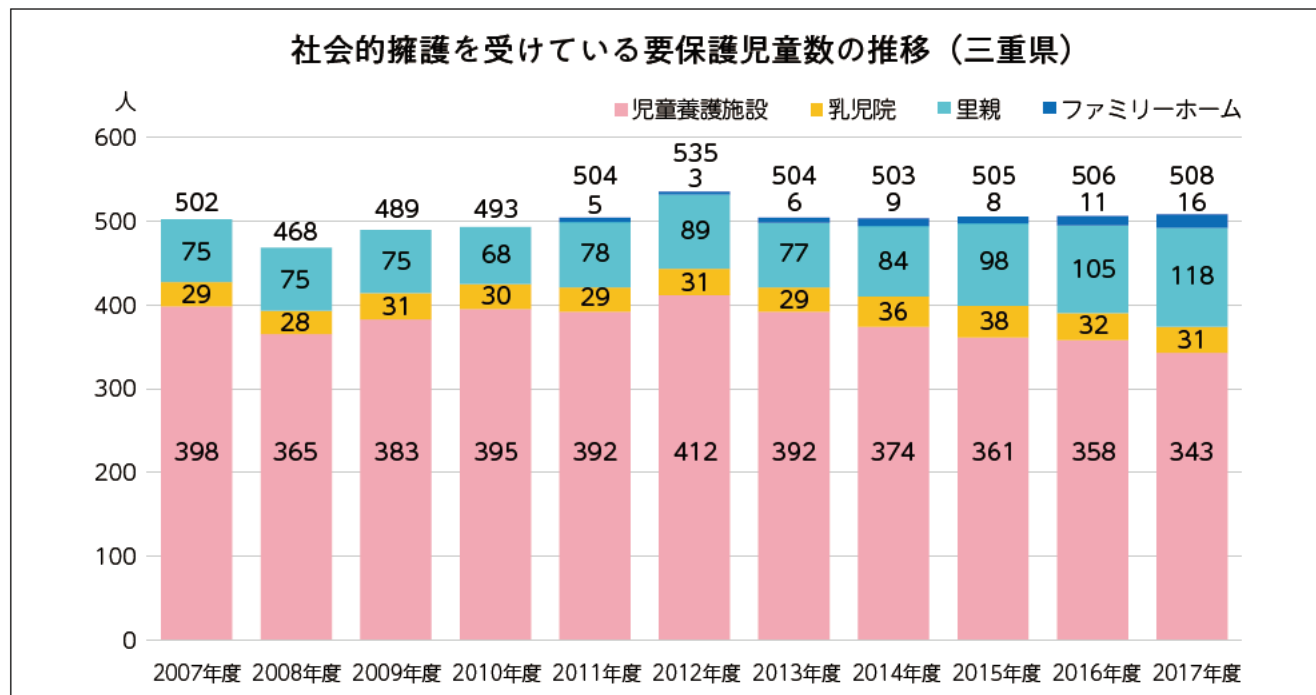
(11) 社会的擁護を受けている要保護児童数の推移

●要保護児童数は、500人以上で横ばい続く。

社会的擁護を受けている要保護児童数の推移をみると、総数では500人以上で横ばいが続いています。内訳をみると、児童養護施設の児童数は減少傾向にありますが、里親やファミリーホームの児童数は増加傾向にあります。

※ファミリーホーム

養育者の住居において、児童5～6人の養育を3人以上の養育者及び補助者で行うもので、里親を大きくしたイメージのグループホーム。

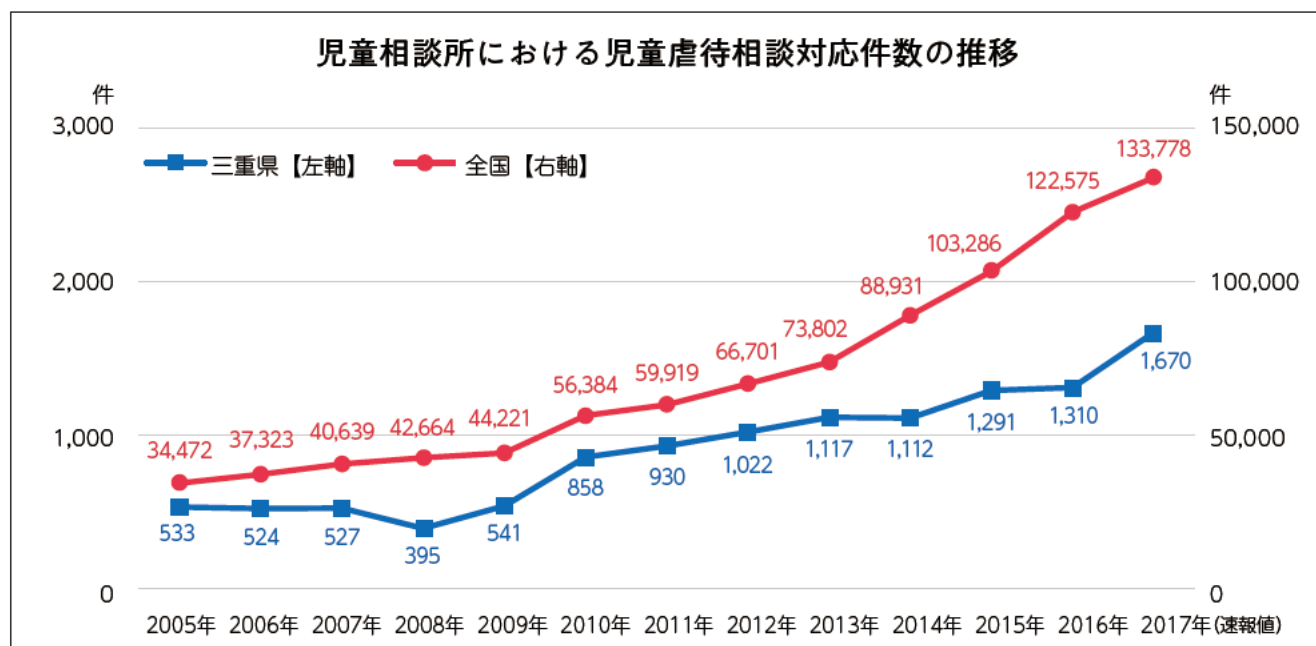


資料：厚生労働省「福祉行政報告例」

(12) 児童虐待相談件数の年次推移

●児童相談所における児童虐待相談対応件数は三重県、全国ともに増加。

児童相談所における児童虐待相談対応件数は、三重県、全国ともに増加しています。三重県では、2017年は1,670件（速報値）にのぼっています。



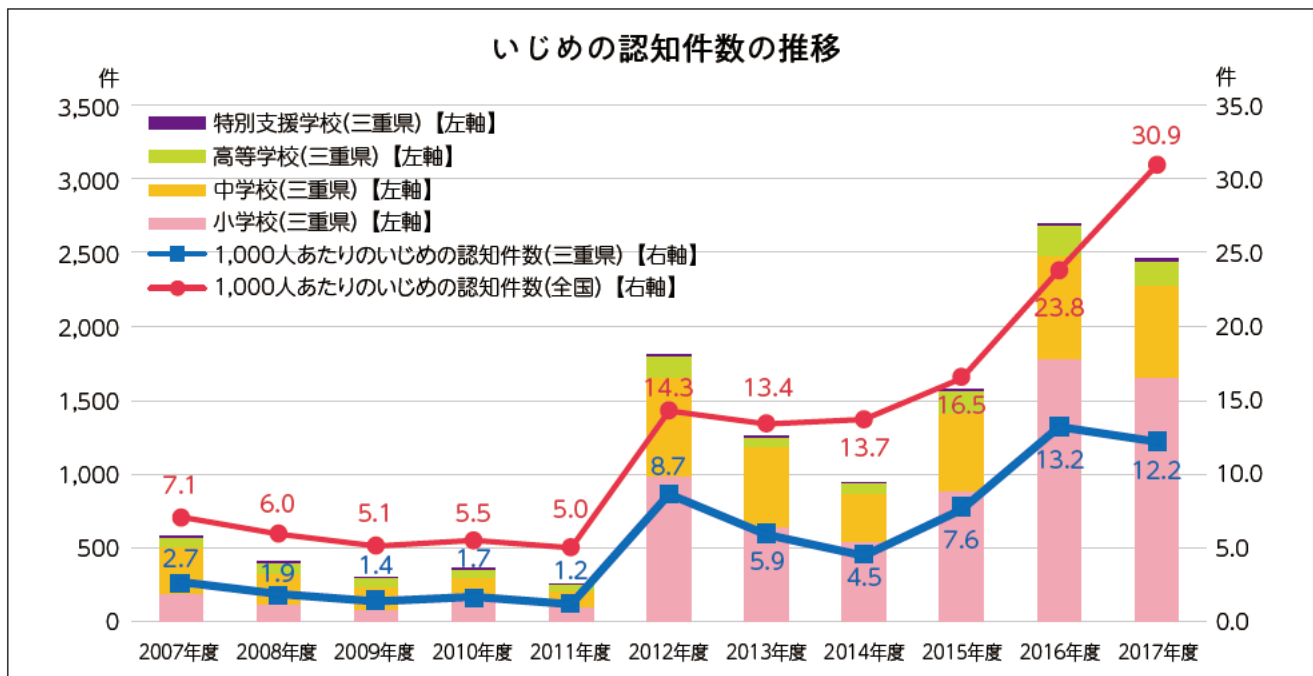
資料：厚生労働省「福祉行政報告例」

(13) いじめの認知件数

●1,000人あたりのいじめの認知件数は全国より低い。

三重県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における2017年度のいじめの認知件数は2,457件で、小学校が最も多くなっています。

1,000人あたりのいじめの認知件数は12.2件となっており、全国より低くなっています。

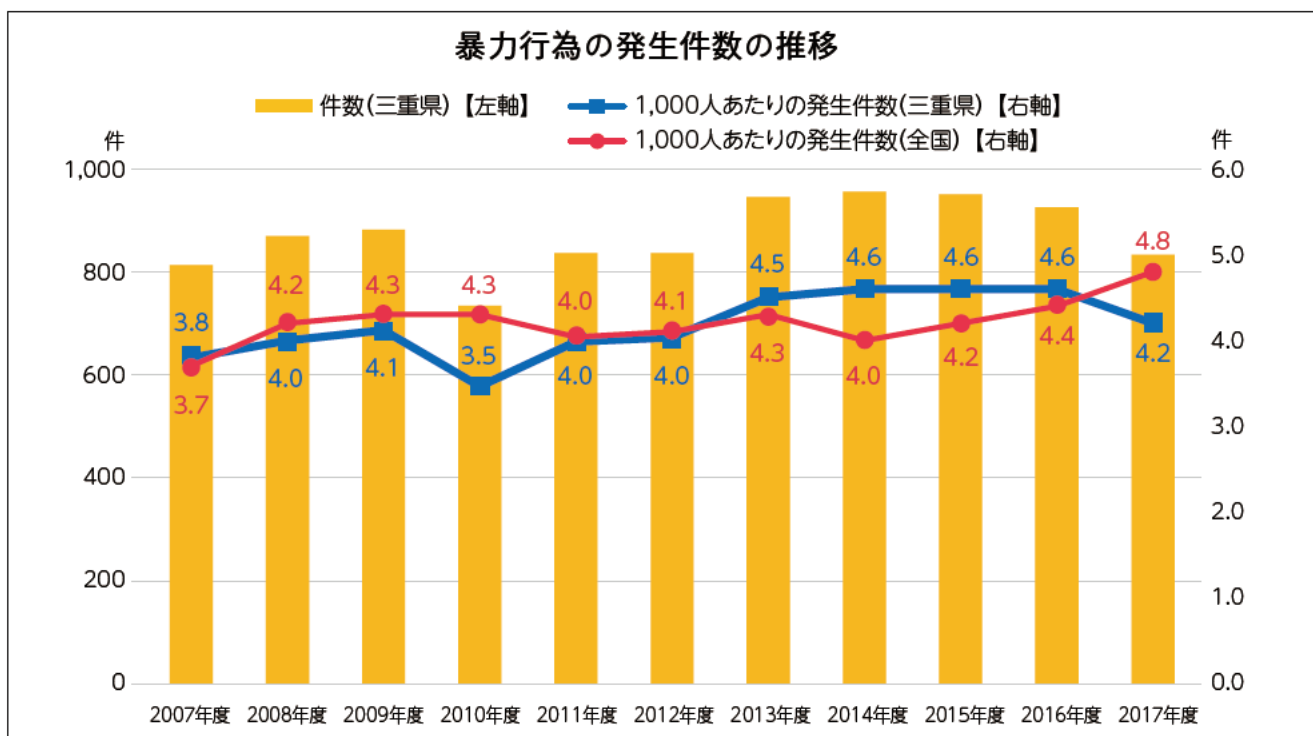


資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（2015年度以前は、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査」（旧調査名）」

(14) 暴力行為の発生件数

●2017年度の暴力行為の発生件数は前年度より減少。

三重県内の小学校、中学校、高等学校における2017年度の暴力行為の発生件数は833件、1,000人あたりの発生件数は4.2件で、2016年度より減少しています。



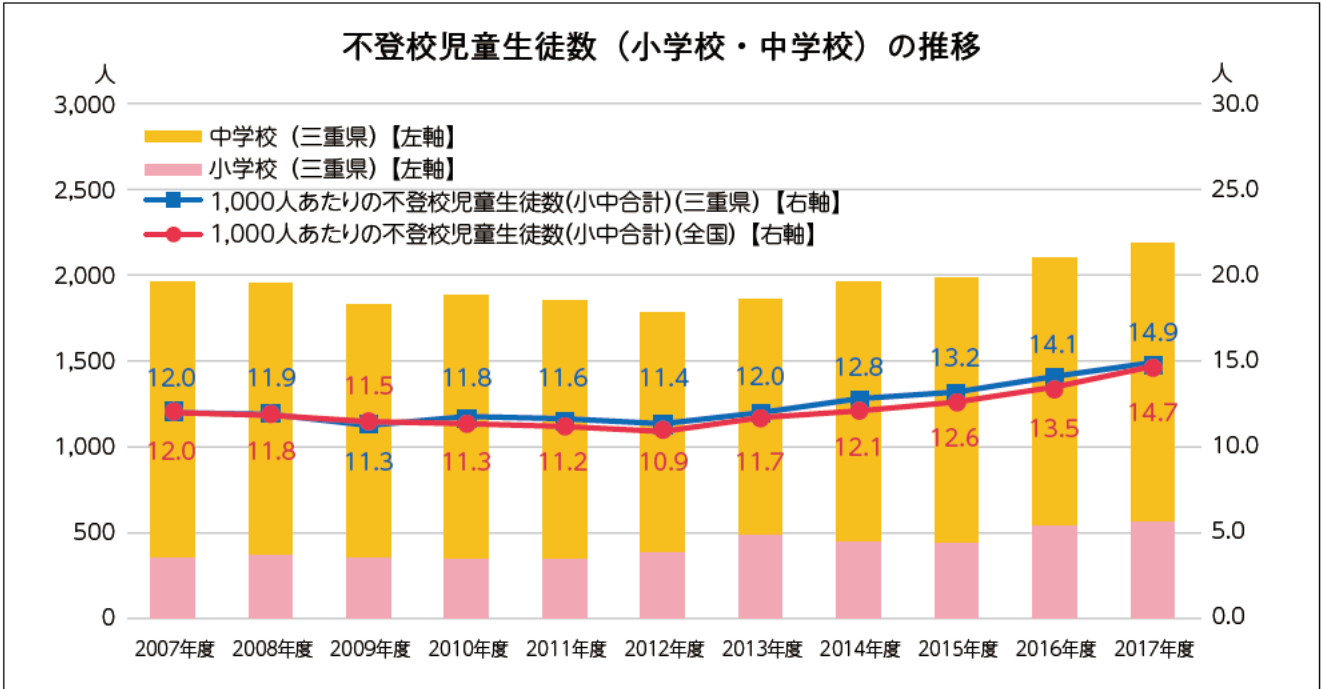
資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（2015年度以前は、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査」（旧調査名）」

(15) 不登校児童生徒数

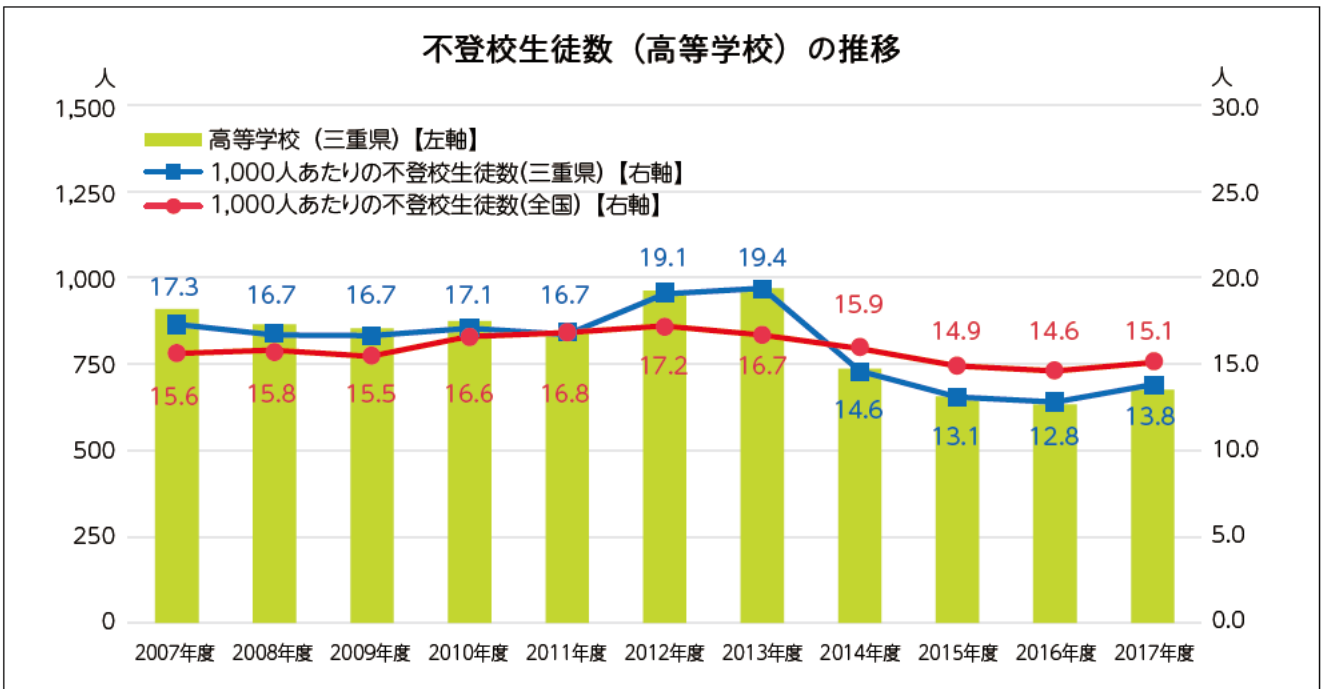
2017年度の不登校児童生徒数は、小学校で569人、中学校で1,618人となっています。1,000人あたりの不登校児童生徒数は、2013年度以降増加しています。

一方、高等学校は676人となっています。1,000人あたりの不登校生徒数は、2014年度以降減少していましたが、2017年度は前年度より増加しています。

小学校・中学校



高等学校



資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（2015年度以前は、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査」（旧調査名）」

三重県子ども条例に基づく 調査の結果概要（単純集計）

三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査の結果概要(単純集計)

※比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入していることから、百分率の合計が100%にならない場合があります。

	回答数(人)
小学5年生	1,425
中学2年生	1,871
高校2年生	1,299
総回答者数	4,595

問1 あなたの性別をお書きください。

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
男性	689	48.4	945	50.5	637	49.0
女性	699	49.1	895	47.8	634	48.8
その他	2	0.1	8	0.4	2	0.2
無回答	35	2.5	23	1.2	26	2.0
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

問2 あなたの住んでいるところに○をつけてください。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
北勢地域	777	54.5	1,020	54.5	474	36.5
伊賀地域	84	5.9	126	6.7	334	25.7
中南勢地域	275	19.3	385	20.6	125	9.6
伊勢志摩地域	208	14.6	292	15.6	208	16.0
東紀州地域	51	3.6	26	1.4	141	10.9
三重県外	7	0.5	5	0.3	12	0.9
無回答	23	1.6	17	0.9	5	0.4
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

問3 あなたは、家の人(兄弟姉妹は含みません。)と学校などでの出来事について話をしていますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
している	710	49.8	890	47.6	611	47.0
どちらかといえば、している	465	32.6	632	33.8	459	35.3
どちらかといえば、していない	121	8.5	202	10.8	146	11.2
していない	107	7.5	136	7.3	79	6.1
無回答	22	1.5	11	0.6	4	0.3
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

問4 あなたは、困ったことや悩みがあったとき、家の人(兄弟姉妹は含みません。)に話をしていますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
している	545	38.2	571	30.5	395	30.4
どちらかといえば、している	400	28.1	588	31.4	457	35.2
どちらかといえば、していない	226	15.9	344	18.4	249	19.2
していない	229	16.1	353	18.9	194	14.9
無回答	25	1.8	15	0.8	4	0.3
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問5 家の人(兄弟姉妹は含みません。)は、あなたの仲の良い友だちの名前を知っていると思いますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
知っていると思う	997	70.0	1,236	66.1	724	55.7
だいたい知っていると思う	337	23.6	467	25.0	387	29.8
あまり知らないと思う	54	3.8	112	6.0	131	10.1
知らないと思う	14	1.0	42	2.2	52	4.0
無回答	23	1.6	14	0.7	5	0.4
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問6 あなたは、家事や手伝いをしていますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
している	542	38.0	529	28.3	290	22.3
どちらかといえば、している	562	39.4	689	36.8	485	37.3
どちらかといえば、していない	221	15.5	459	24.5	388	29.9
していない	79	5.5	184	9.8	132	10.2
無回答	21	1.5	10	0.5	4	0.3
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問7 あなたが楽しいと感じるのはどんなときですか。(○はいくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ひとりで好きなことをしているとき	876	61.5	1,433	76.6	1,040	80.1
家族と話をしたり、食事をしたりして いっしょに過ごしているとき	858	60.2	834	44.6	568	43.7
友だちと仲良くしているとき	1,242	87.2	1,639	87.6	1,124	86.5
塾や習いごとをしているとき	485	34.0	321	17.2	81	6.2
サークル活動や地域の行事などに参加し ているとき	314	22.0	200	10.7	107	8.2
よい成績がとれたとき	854	59.9	1,012	54.1	506	39.0
授業がよくわかったり、先生の話に興味 を持っておもしろいとき	587	41.2	654	35.0	351	27.0
自分の意見や考えを発表して、先生や友 だちにほめられたとき	476	33.4	463	24.7	184	14.2
クラスや学校の行事・活動などで自分の 意見が生かされたとき	443	31.1	449	24.0	215	16.6
クラブ活動(部活動)をしているとき	770	54.0	950	50.8	476	36.6
その他	191	13.4	113	6.0	60	4.6
楽しいと感じるときはない	3	0.2	8	0.4	5	0.4
無回答	19	1.3	10	0.5	4	0.3
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問8-1 あなたがづらい気持ちになるのはどんなときですか。(○はいくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
家の人と仲良くできないとき	544	38.2	579	30.9	355	27.3
友だちと仲良くできないとき	828	58.1	1,112	59.4	753	58.0
授業がよくわからないとき	495	34.7	622	33.2	436	33.6
テストの点や成績が悪いとき	741	52.0	1,273	68.0	781	60.1
受験や進路のことでうまくいかないとき	205	14.4	374	20.0	472	36.3
自分の意見を聞いてもらえないとき	454	31.9	483	25.8	293	22.6
クラブ活動(部活動)の練習などが厳しいとき	193	13.5	574	30.7	334	25.7
自分の容姿(外見)のことで悩むとき	220	15.4	448	23.9	377	29.0
いじめられたとき	521	36.6	419	22.4	201	15.5
その他	83	5.8	99	5.3	59	4.5
づらい気持ちになったことはない	107	7.5	94	5.0	55	4.2
無回答	12	0.8	16	0.9	14	1.1
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問8-2 つらい気持ちになったときに、あなたはどうしますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自分でなんとかしようとする	289	20.3	497	26.6	343	26.4
だれかに相談する	524	36.8	523	28.0	417	32.1
気にしない	228	16.0	350	18.7	207	15.9
がまんする	254	17.8	360	19.2	260	20.0
その他	73	5.1	64	3.4	25	1.9
無回答	57	4.0	77	4.1	47	3.6
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問9 あなたは、困ったことや悩みがあったとき、だれに相談しますか、あるいはしようと思いますか。(○はいくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
親(保護者)	1,003	70.4	1,084	57.9	724	55.7
兄弟姉妹	326	22.9	314	16.8	229	17.6
おじいさん、おばあさん	233	16.4	169	9.0	55	4.2
親せき	89	6.2	68	3.6	27	2.1
友だち	765	53.7	1,284	68.6	961	74.0
学校の先生	344	24.1	405	21.6	160	12.3
児童福祉施設の先生・スタッフ	24	1.7	7	0.4	2	0.2
フリースクールのスタッフ	6	0.4	5	0.3	5	0.4
塾や習い事の先生、スポーツクラブのコーチ	52	3.6	96	5.1	44	3.4
近所の知り合いの人	29	2.0	10	0.5	3	0.2
専門の相談機関(病院や児童相談所など)	15	1.1	9	0.5	8	0.6
電話やメールでの相談	39	2.7	70	3.7	24	1.8
インターネット(掲示板など)での相談	15	1.1	56	3.0	38	2.9
その他	26	1.8	31	1.7	18	1.4
誰にも相談しない	158	11.1	242	12.9	143	11.0
無回答	11	0.8	13	0.7	3	0.2
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問10 あなたがほっとする場所はどんなところですか。(○はいくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自分の家で、一人で過ごせる場所	782	54.9	1,509	80.7	1,145	88.1
自分の家で、家族と過ごす場所	913	64.1	905	48.4	541	41.6
学校	314	22.0	421	22.5	155	11.9
友だちの家	362	25.4	445	23.8	205	15.8
おじいさんやおばあさんの家	553	38.8	450	24.1	174	13.4
図書館	383	26.9	323	17.3	85	6.5
公園	164	11.5	146	7.8	55	4.2
塾	75	5.3	97	5.2	31	2.4
児童館	62	4.4	22	1.2	3	0.2
習い事の教室、スポーツクラブ	202	14.2	136	7.3	31	2.4
フリースクール、フリースペース	16	1.1	25	1.3	8	0.6
コンビニエンスストア	89	6.2	105	5.6	40	3.1
ゲームセンター、カラオケボックス	226	15.9	227	12.1	126	9.7
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	101	7.1	75	4.0	31	2.4
その他	84	5.9	77	4.1	41	3.2
特にない	38	2.7	45	2.4	27	2.1
無回答	8	0.6	11	0.6	2	0.2
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問11 あなたの小学生時代についてお聞きします。次のようなことをどのくらいしたことがありますか。(○は1つだけ)

(1) 赤ちゃんとふれあったこと

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度もある	646	45.3	632	33.8	402	30.9
少しある	422	29.6	548	29.3	440	33.9
あまりない	185	13.0	371	19.8	288	22.2
まったくない	156	10.9	300	16.0	158	12.2
無回答	16	1.1	20	1.1	11	0.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

(2) 小さい子ども(保育所や幼稚園などに通う)と遊んであげたこと

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度もある	693	48.6	724	38.7	463	35.6
少しある	348	24.4	520	27.8	472	36.3
あまりない	210	14.7	358	19.1	233	17.9
まったくない	148	10.4	248	13.3	121	9.3
無回答	26	1.8	21	1.1	10	0.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

(3) 山や森、川や海など、自然の中で遊んだこと

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度もある	700	49.1	881	47.1	705	54.3
少しある	437	30.7	564	30.1	378	29.1
あまりない	195	13.7	284	15.2	157	12.1
まったくない	68	4.8	113	6.0	46	3.5
無回答	25	1.8	29	1.5	13	1.0
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

(4) 家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度もある	865	60.7	949	50.7	723	55.7
少しある	350	24.6	486	26.0	394	30.3
あまりない	153	10.7	293	15.7	132	10.2
まったくない	38	2.7	115	6.1	40	3.1
無回答	19	1.3	28	1.5	10	0.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

(5) 家の人と一緒にスポーツをしたこと

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度もある	713	50.0	736	39.3	550	42.3
少しある	383	26.9	530	28.3	357	27.5
あまりない	233	16.4	395	21.1	283	21.8
まったくない	77	5.4	183	9.8	99	7.6
無回答	19	1.3	27	1.4	10	0.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

(6) 家の人に勉強を教えてもらったこと

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度もある	861	60.4	750	40.1	363	27.9
少しある	366	25.7	501	26.8	392	30.2
あまりない	136	9.5	408	21.8	355	27.3
まったくない	49	3.4	191	10.2	177	13.6
無回答	13	0.9	21	1.1	12	0.9
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問12 あなたは、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか。
(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
感じる	676	47.4	749	40.0	538	41.4
どちらかといえば、感じる	521	36.6	783	41.8	572	44.0
どちらかといえば、感じない	124	8.7	193	10.3	118	9.1
感じない	61	4.3	107	5.7	53	4.1
無回答	43	3.0	39	2.1	18	1.4
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問13 あなたは、親（保護者）などの大人は、「自分のことをわかってくれている」と思いますか。
（○は1つだけ）

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
思う	761	53.4	785	42.0	477	36.7
どちらかといえば、思う	440	30.9	689	36.8	567	43.6
どちらかといえば、思わない	125	8.8	215	11.5	154	11.9
思わない	63	4.4	145	7.7	88	6.8
無回答	36	2.5	37	2.0	13	1.0
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問14 あなたが自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人は、あなたの意見を聞いてくれますか。
（○は1つだけ）

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
いつも聞いてくれる	793	55.6	1,036	55.4	750	57.7
ときどき聞いてくれる	469	32.9	626	33.5	454	34.9
あまり聞いてくれない	101	7.1	126	6.7	68	5.2
まったく聞いてくれない	25	1.8	48	2.6	16	1.2
無回答	37	2.6	35	1.9	11	0.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問15 あなたは、どのようなことについて自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思いますか。
（○はいくつでも）

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
服そう	628	44.1	923	49.3	676	52.0
習いごと	629	44.1	571	30.5	258	19.9
塾	202	14.2	383	20.5	202	15.6
家に帰る時間	364	25.5	586	31.3	485	37.3
テレビ、ゲーム	598	42.0	934	49.9	526	40.5
寝る時間	463	32.5	874	46.7	579	44.6
進学したい学校	375	26.3	786	42.0	661	50.9
クラブ活動（部活動）	345	24.2	788	42.1	509	39.2
アルバイト	163	11.4	343	18.3	375	28.9
就職先	258	18.1	461	24.6	470	36.2
付き合う友だち	421	29.5	828	44.3	615	47.3
携帯電話・スマートフォンを持つこと	476	33.4	765	40.9	458	35.3
趣味の活動	384	26.9	786	42.0	627	48.3
学校のきまり	148	10.4	203	10.8	162	12.5
祭りなどの地域の行事	278	19.5	409	21.9	201	15.5
子どもにかかわる社会の決まり（ルールなど）	109	7.6	130	6.9	103	7.9
その他	33	2.3	34	1.8	21	1.6
自分で決めたいと思うことはない	88	6.2	98	5.2	63	4.8
無回答	44	3.1	41	2.2	24	1.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問16 あなたは、自分のことが好きですか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
好き	439	30.8	355	19.0	213	16.4
どちらかといえば、好き	549	38.5	692	37.0	483	37.2
どちらかといえば、好きではない	246	17.3	460	24.6	357	27.5
好きではない	154	10.8	310	16.6	229	17.6
無回答	37	2.6	54	2.9	17	1.3
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問17 新しいことにチャレンジすることは好きですか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
好き	735	51.6	789	42.2	458	35.3
どちらかといえば、好き	482	33.8	711	38.0	557	42.9
どちらかといえば、好きではない	139	9.8	224	12.0	182	14.0
好きではない	44	3.1	116	6.2	90	6.9
無回答	25	1.8	31	1.7	12	0.9
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問18 あなたには、夢や将来の希望がありますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ある	1,224	85.9	1,322	70.7	864	66.5
ない	175	12.3	515	27.5	420	32.3
無回答	26	1.8	34	1.8	15	1.2
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問19 あなたは、近所の人とあいさつをしていますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
いつもしている	871	61.1	1,064	56.9	549	42.3
ときどきしている	445	31.2	648	34.6	578	44.5
あまりしていない	55	3.9	89	4.8	106	8.2
していない	28	2.0	44	2.4	59	4.5
無回答	26	1.8	26	1.4	7	0.5
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問20 あなたは、これまで近所の大人からほめられたことはありますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
よくある	451	31.6	473	25.3	257	19.8
ときどきある	617	43.3	853	45.6	627	48.3
あまりない	209	14.7	322	17.2	242	18.6
ない	119	8.4	191	10.2	164	12.6
無回答	29	2.0	32	1.7	9	0.7
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問21 あなたは、これまで近所の大人から注意されたことはありますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
よくある	52	3.6	75	4.0	63	4.8
ときどきある	206	14.5	293	15.7	238	18.3
あまりない	507	35.6	709	37.9	505	38.9
ない	631	44.3	765	40.9	483	37.2
無回答	29	2.0	29	1.5	10	0.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問22 あなたは、将来、自分が育った地域で住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
住みたい	564	39.6	378	20.2	168	12.9
どちらかといえば、住みたい	478	33.5	738	39.4	514	39.6
どちらかといえば、住みたくない	232	16.3	465	24.9	402	30.9
住みたくない	115	8.1	240	12.8	195	15.0
無回答	36	2.5	50	2.7	20	1.5
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問23 あなたは、住んでいる地域で、どんなことに取り組んでみたいと思いますか。(○はいくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
地域の歴史や文化について勉強する	368	25.8	277	14.8	120	9.2
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	419	29.4	308	16.5	120	9.2
地域の大人と意見交換などをする	96	6.7	114	6.1	69	5.3
地域の行事を計画する	286	20.1	336	18.0	143	11.0
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	368	25.8	416	22.2	280	21.6
お年寄りや昔遊びなどで交流する	327	22.9	198	10.6	80	6.2
異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする	523	36.7	496	26.5	243	18.7
町の美化活動をする	277	19.4	278	14.9	188	14.5
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	285	20.0	230	12.3	115	8.9
いろいろな国の人と交流する	348	24.4	324	17.3	147	11.3
その他	48	3.4	24	1.3	18	1.4
特にしたいことはない	297	20.8	696	37.2	517	39.8
無回答	33	2.3	57	3.0	36	2.8
総回答者数	1,425	100.0	1,871	100.0	1,299	100.0

■ 問24 【高校生のみ】あなたは、自分の将来について、次のように思いますか。(○は1つだけ)

(1) いつかは結婚がしたい

項目	高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)
とても思う	684	52.7
少し思う	366	28.2
あまり思わない	122	9.4
思わない	93	7.2
無回答	34	2.6
総回答者数	1,299	100.0

(2) いつかは子どもがほしい

項目	高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)
とても思う	618	47.6
少し思う	364	28.0
あまり思わない	149	11.5
思わない	117	9.0
無回答	51	3.9
総回答者数	1,299	100.0

■ 問25 【高校生のみ】男性が育児をすることについて、あなたはどう思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

項目	高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)
男性は外で働き、女性が育児に専念すべき	21	1.6
男性は時間の許す範囲内で、育児をすればよい	269	20.7
男性も女性と育児を分担して、積極的に参加すべき	834	64.2
その他	25	1.9
わからない	118	9.1
無回答	32	2.5
総回答者数	1,299	100.0

三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査の結果概要(単純集計)

※比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入していることから、百分率の合計が100%にならない場合があります。

	回答数(人)
小5 保護者	1,330
中2 保護者	1,690
総回答者数	3,020

問1 お子さまとあなたの続柄は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

項目	小5 保護者		中2 保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
父親	91	6.8	125	7.4
母親	1,229	92.4	1,543	91.3
祖父	2	0.2	1	0.1
祖母	6	0.5	16	0.9
その他	2	0.2	3	0.2
無回答	0	0.0	2	0.1
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

問2 お子さま(アンケートを持ち帰った)が通っている学校は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

項目	小5 保護者		中2 保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
小学校(小学部)	1,330	100.0	0	0.0
中学校(中学部)	0	0.0	1,690	100.0
無回答	0	0.0	0	0.0
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

問3 あなたの住んでいる地域に○をつけてください。(○は1つだけ)

項目	小5 保護者		中2 保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
北勢地域	748	56.2	949	56.2
伊賀地域	81	6.1	105	6.2
中南勢地域	244	18.3	349	20.7
伊勢志摩地域	199	15.0	258	15.3
東紀州地域	48	3.6	25	1.5
三重県外	8	0.6	3	0.2
無回答	2	0.2	1	0.1
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

問4 あなたは、お子さまと学校などでの出来事について話をしていますか。(○は1つだけ)

項目	小5 保護者		中2 保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
話している	665	50.0	634	37.5
どちらかといえば、話している	552	41.5	808	47.8
どちらかといえば、話していない	96	7.2	223	13.2
話していない	16	1.2	24	1.4
無回答	1	0.1	1	0.1
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問5 あなたは、お子さまの仲の良い友だちの名前を知っていますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
知っている	744	55.9	853	50.5
だいたい知っている	525	39.5	715	42.3
あまり知らない	48	3.6	104	6.2
知らない	13	1.0	15	0.9
無回答	0	0.0	3	0.2
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問6 あなたのお子さまは、自分からすすんで近所の人にあいさつができていますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
できていると思う	425	32.0	634	37.5
どちらかといえば、できていると思う	586	44.1	762	45.1
どちらかといえば、できていないと思う	263	19.8	238	14.1
できていないと思う	55	4.1	53	3.1
無回答	1	0.1	3	0.2
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問7 普段のあなたとお子さまとのかわりについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。(○は1つだけ)

(1) しっかり勉強するように言っている

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
あてはまる	467	35.1	579	34.3
どちらかといえばあてはまる	624	46.9	725	42.9
どちらかといえばあてはまらない	184	13.8	304	18.0
あてはまらない	52	3.9	76	4.5
無回答	3	0.2	6	0.4
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

(2) 子ども自身でできることは自分でさせている

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
あてはまる	536	40.3	606	35.9
どちらかといえばあてはまる	660	49.6	843	49.9
どちらかといえばあてはまらない	128	9.6	220	13.0
あてはまらない	4	0.3	19	1.1
無回答	2	0.2	2	0.1
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

(3) 山や森、川や海など、自然の中で遊ばせている

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
あてはまる	241	18.1	172	10.2
どちらかといえばあてはまる	442	33.2	439	26.0
どちらかといえばあてはまらない	475	35.7	685	40.5
あてはまらない	171	12.9	392	23.2
無回答	1	0.1	2	0.1
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

(4) 子どもと一緒にスポーツを楽しんでいる

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
あてはまる	236	17.7	163	9.6
どちらかといえばあてはまる	367	27.6	378	22.4
どちらかといえばあてはまらない	467	35.1	603	35.7
あてはまらない	256	19.2	543	32.1
無回答	4	0.3	3	0.2
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

(5) 子どもと一緒にスポーツ以外の趣味を楽しんでいる

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
あてはまる	240	18.0	238	14.1
どちらかといえばあてはまる	543	40.8	548	32.4
どちらかといえばあてはまらない	387	29.1	573	33.9
あてはまらない	156	11.7	328	19.4
無回答	4	0.3	3	0.2
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問8 あなたのお子さまは、「自分のことが好きだと思っている」と思えますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
「好き」だと思う	619	46.5	550	32.5
「どちらかといえば、好き」だと思う	605	45.5	922	54.6
「どちらかといえば、好きではない」と思う	86	6.5	181	10.7
「好きではない」と思う	15	1.1	31	1.8
無回答	5	0.4	6	0.4
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問9 あなたは、あなたのお子さまが、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
感じる	686	51.6	718	42.5
どちらかといえば、感じる	593	44.6	879	52.0
どちらかといえば、感じない	30	2.3	62	3.7
感じない	12	0.9	12	0.7
無回答	9	0.7	19	1.1
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問10 お子さまがいきいきと育つために、あなたはどのような役割を担うべきだと思いますか。(○はいくつでも)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
心の安らぎを与える	1,055	79.3	1,268	75.0
心身の成長を支える	1,033	77.7	1,306	77.3
しつけをおこなう	675	50.8	775	45.9
社会規範を教える	608	45.7	758	44.9
気軽に相談にのる	826	62.1	1,085	64.2
積極的に声をかける	462	34.7	572	33.8
事故や犯罪から守る	816	61.4	941	55.7
有害な情報から守る	446	33.5	512	30.3
勉強を教える	360	27.1	224	13.3
スポーツや遊びの指導や相手をする	368	27.7	283	16.7
さまざまな体験の機会を設ける	792	59.5	817	48.3
伝統や文化、風習を伝える	294	22.1	301	17.8
家庭における役割を与える	481	36.2	562	33.3
自主的な活動をうながす	595	44.7	795	47.0
子どもの夢や希望を応援する	965	72.6	1,290	76.3
その他	11	0.8	14	0.8
わからない	4	0.3	5	0.3
無回答	4	0.3	9	0.5
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問11 あなたは、お子さまがほっとする場所はどんなところだと思いますか。(○はいくつでも)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自分の家で、一人で過ごせる場所	593	44.6	1,186	70.2
自分の家で、家族と過ごす場所	1,230	92.5	1,388	82.1
学校	260	19.5	333	19.7
友だちの家	184	13.8	231	13.7
おじいさんやおばあさんの家	621	46.7	557	33.0
図書館	70	5.3	64	3.8
公園	71	5.3	34	2.0
塾	28	2.1	41	2.4
児童館	22	1.7	15	0.9
習い事の教室、スポーツクラブ	149	11.2	138	8.2
フリースクール、フリースペース	3	0.2	4	0.2
コンビニエンスストア	5	0.4	18	1.1
ゲームセンター、カラオケボックス	23	1.7	42	2.5
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	13	1.0	18	1.1
その他	22	1.7	33	2.0
特にない	0	0.0	1	0.1
わからない	5	0.4	12	0.7
無回答	3	0.2	5	0.3
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問12 あなたは、お子さまのことを決めるとき、お子さまの意見を聞いていますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
いつも聞いている	900	67.7	1,259	74.5
ときどき聞いている	402	30.2	397	23.5
あまり聞いていない	16	1.2	24	1.4
まったく聞いていない	5	0.4	0	0.0
無回答	7	0.5	10	0.6
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問13 あなたは、どのようなことについてお子さまに決めさせたり、お子さまの意見を尊重したりしたいと思いますか。(○はいくつでも)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
服そう	873	65.6	1,096	64.9
習いごと	913	68.6	834	49.3
塾	355	26.7	642	38.0
家に帰る時間	170	12.8	275	16.3
テレビ、ゲーム	351	26.4	448	26.5
寝る時間	194	14.6	390	23.1
進学したい学校	593	44.6	1,115	66.0
クラブ活動(部活動)	625	47.0	1,174	69.5
アルバイト	181	13.6	238	14.1
就職先	367	27.6	534	31.6
付き合い友だち	777	58.4	1,015	60.1
携帯電話・スマートフォンを持つこと	96	7.2	302	17.9
趣味の活動	546	41.1	698	41.3
学校のきまり	156	11.7	230	13.6
祭りなどの地域の行事	354	26.6	458	27.1
子どもにかかわる社会の決まり(ルールなど)	207	15.6	291	17.2
その他	12	0.9	8	0.5
自分で決めさせようと思うことはない	4	0.3	2	0.1
無回答	9	0.7	15	0.9
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問14 あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか。(○はいくつでも)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
子どもの健康	271	20.4	339	20.1
子どもの成績や進学	526	39.5	1,096	64.9
子どもの友だち関係	413	31.1	465	27.5
子どもの生活態度	353	26.5	482	28.5
子どもの就職	84	6.3	208	12.3
子どもの育て方やしつけ	496	37.3	486	28.8
子どもとあなたとの関係	108	8.1	129	7.6
子どもと配偶者との関係	75	5.6	88	5.2
子どもと先生との関係	83	6.2	120	7.1
教育費	262	19.7	411	24.3
その他	31	2.3	22	1.3
特に悩みはない	240	18.0	215	12.7
無回答	11	0.8	8	0.5
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問15 あなたは、お子さまが困ったことや悩みがあったとき、あなたや家の人(お子さまの兄弟姉妹は含みません)に話をしていると思いますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
思う	552	41.5	531	31.4
どちらかといえば、思う	640	48.1	894	52.9
どちらかといえば、思わない	92	6.9	199	11.8
思わない	28	2.1	39	2.3
無回答	18	1.4	27	1.6
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問16 あなたは、お子さまのことを理解していると思いますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
思う	331	24.9	281	16.6
どちらかといえば、思う	896	67.4	1,230	72.8
どちらかといえば、思わない	72	5.4	144	8.5
思わない	15	1.1	13	0.8
無回答	16	1.2	22	1.3
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問17 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
とても重要だと思う	644	48.4	650	38.5
やや重要だと思う	581	43.7	861	50.9
あまり重要ではないと思う	47	3.5	97	5.7
重要ではないと思う	15	1.1	14	0.8
わからない	25	1.9	46	2.7
無回答	18	1.4	22	1.3
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問18 ご自身と地域の人たちの関係やつながりは強いほうですか。(○は1つだけ)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
強いほうだと思う	131	9.8	159	9.4
どちらかといえば、強いほうだと思う	543	40.8	672	39.8
どちらかといえば、弱いほうだと思う	484	36.4	626	37.0
弱いほうだと思う	153	11.5	201	11.9
無回答	19	1.4	32	1.9
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問19 あなたにとって大切と思う人間関係やつながりは何ですか。(○はいくつでも)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
家族	1,294	97.3	1,646	97.4
親戚	653	49.1	802	47.5
近所・地域の人	720	54.1	906	53.6
職場の同僚や仕事関係の人	601	45.2	769	45.5
学生時代の知り合い	676	50.8	824	48.8
趣味の仲間	219	16.5	333	19.7
子どもを通じた知り合い(ママ友など)	767	57.7	920	54.4
インターネット上の付き合いの人	7	0.5	12	0.7
その他	27	2.0	31	1.8
特にいない	7	0.5	3	0.2
わからない	4	0.3	5	0.3
無回答	17	1.3	21	1.2
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問20 あなたは、子育てするにあたって、地域でどのような支えがあると良いと思いますか。(○はいくつでも)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	386	29.0	495	29.3
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	351	26.4	458	27.1
子育てに関する情報を提供する活動	422	31.7	516	30.5
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	336	25.3	403	23.8
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	428	32.2	374	22.1
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	921	69.2	1,072	63.4
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	178	13.4	249	14.7
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	169	12.7	229	13.6
その他	31	2.3	27	1.6
特にない	64	4.8	123	7.3
わからない	38	2.9	83	4.9
無回答	21	1.6	29	1.7
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問21 子どもがいきいきと育つために、どのような地域の姿が望ましいと思いますか。(○は3つまで)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
世代を超えた交流がある地域	337	25.3	497	29.4
見守りなど、住民どうしの活動が活発な地域	533	40.1	643	38.0
保育所や児童館などの施設が充実した地域	259	19.5	265	15.7
郷土芸能や伝統行事を大切にしている地域	42	3.2	66	3.9
自然を体験できる環境が残っている地域	353	26.5	340	20.1
図書館や博物館、公園などの施設が整った地域	418	31.4	414	24.5
地域活動(スポーツやレクリエーション)が活発な地域	157	11.8	217	12.8
国際交流がある地域	58	4.4	108	6.4
安全な生活環境が維持されている地域	598	45.0	822	48.6
その他	5	0.4	18	1.1
無回答	239	18.0	299	17.7
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問22 あなたは、お子さまが、住んでいる地域でどんなことに取り組めるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
地域の歴史や文化について勉強する	392	29.5	444	26.3
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	432	32.5	478	28.3
地域の大人と意見交換などをする	145	10.9	269	15.9
地域の行事を計画する	208	15.6	275	16.3
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	409	30.8	498	29.5
お年寄りや昔遊びなどで交流する	320	24.1	237	14.0
異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする	631	47.4	582	34.4
町の美化活動をする	347	26.1	433	25.6
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	466	35.0	619	36.6
いろいろな国の人と交流する	308	23.2	496	29.3
その他	17	1.3	18	1.1
特になし	88	6.6	160	9.5
無回答	19	1.4	23	1.4
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

■ 問23 あなた自身のことについて、あなたは次のことについてどのように思いますか。(○は1つだけ)

(1) 自分を肯定的に評価するほうだ

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	151	11.4	164	9.7
どちらかといえばそう思う	673	50.6	843	49.9
どちらかといえばそう思わない	408	30.7	539	31.9
そう思わない	80	6.0	128	7.6
無回答	18	1.4	16	0.9
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

(2) 自分に満足している

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	119	8.9	147	8.7
どちらかといえばそう思う	589	44.3	717	42.4
どちらかといえばそう思わない	453	34.1	591	35.0
そう思わない	153	11.5	220	13.0
無回答	16	1.2	15	0.9
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

(3) 自分のことが好きだ

項目	小5保護者		中2保護者	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	185	13.9	227	13.4
どちらかといえばそう思う	650	48.9	839	49.6
どちらかといえばそう思わない	368	27.7	479	28.3
そう思わない	110	8.3	132	7.8
無回答	17	1.3	13	0.8
総回答者数	1,330	100.0	1,690	100.0

三重県子ども条例に基づく調査・県民調査の結果概要(単純集計)

※比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入していることから、百分率の合計が100%にならない場合があります。

	回答数(人)
県民(総回答者数)	1,472

■ 問1 あなたは、近所の子どもとあいさつをしていますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
いつもしている	478	32.5
ときどきしている	559	38.0
あまりしていない	214	14.5
していない	199	13.5
無回答	22	1.5
総回答者数	1,472	100.0

■ 問2 あなたは、近所の子どもをほめたことはありますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
よくある	163	11.1
ときどきある	515	35.0
あまりない	336	22.8
ない	436	29.6
無回答	22	1.5
総回答者数	1,472	100.0

■ 問3 あなたは、近所の子どもを注意したことはありますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
よくある	39	2.6
ときどきある	364	24.7
あまりない	392	26.6
ない	653	44.4
無回答	24	1.6
総回答者数	1,472	100.0

■ 問4 あなたは、今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思いますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
思う	278	18.9
どちらかといえば、思う	679	46.1
どちらかといえば、思わない	240	16.3
思わない	65	4.4
わからない	188	12.8
無回答	22	1.5
総回答者数	1,472	100.0

■ 問5 あなたは、一般に今の子どもたちの特徴をどのように感じますか。次の(1)～(10)についてそれぞれ「はい」か「いいえ」でお答えください。(○は1つだけ)

(1) 元気がある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	1,026	69.7
いいえ	397	27.0
無回答	49	3.3
総回答者数	1,472	100.0

(2) 他人に対する思いやりがある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	654	44.4
いいえ	752	51.1
無回答	66	4.5
総回答者数	1,472	100.0

(3) 意欲的である

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	583	39.6
いいえ	814	55.3
無回答	75	5.1
総回答者数	1,472	100.0

(4) 夢がある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	703	47.8
いいえ	687	46.7
無回答	82	5.6
総回答者数	1,472	100.0

(5) 責任感がある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	418	28.4
いいえ	970	65.9
無回答	84	5.7
総回答者数	1,472	100.0

(6) 誠実である

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	723	49.1
いいえ	659	44.8
無回答	90	6.1
総回答者数	1,472	100.0

(7) 個性がある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	956	64.9
いいえ	450	30.6
無回答	66	4.5
総回答者数	1,472	100.0

(8) 忍耐力がある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	201	13.7
いいえ	1,188	80.7
無回答	83	5.6
総回答者数	1,472	100.0

(9) 自立心がある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	380	25.8
いいえ	1,009	68.5
無回答	83	5.6
総回答者数	1,472	100.0

(10) 社会に関心がある

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	343	23.3
いいえ	1,041	70.7
無回答	88	6.0
総回答者数	1,472	100.0

問6 あなたは、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思いますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
思う	738	50.1
どちらかといえば、思う	549	37.3
どちらかといえば、思わない	40	2.7
思わない	17	1.2
わからない	106	7.2
無回答	22	1.5
総回答者数	1,472	100.0

問7 子どもがいきいきと育つために、どのような地域の姿が望ましいと思いますか。(○は3つまで)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
世代を超えた交流がある地域	611	41.5
見守りなど、住民どうしの活動が活発な地域	623	42.3
保育所や児童館などの施設が充実した地域	452	30.7
郷土芸能や伝統行事を大切にしている地域	229	15.6
自然を体験できる環境が残っている地域	500	34.0
図書館や博物館、公園などの施設が整った地域	330	22.4
地域活動(スポーツやレクリエーション)が活発な地域	333	22.6
国際交流がある地域	117	7.9
安全な生活環境が維持されている地域	854	58.0
その他	31	2.1
無回答	39	2.6
総回答者数	1,472	100.0

■ 問8 子どもがいきいきと育つために、あなたが、地域の子どもと一緒に取り組みたいと思うことは、どんなことですか。(○はいくつでも)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
地域の歴史や文化について勉強する	379	25.7
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	495	33.6
意見交換などをする	256	17.4
地域の行事を計画する	430	29.2
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	445	30.2
昔遊びを伝える	252	17.1
一緒になって遊ぶ	478	32.5
町の美化活動をする	503	34.2
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	558	37.9
いろいろな国の人と交流する	243	16.5
その他	29	2.0
特にない	124	8.4
無回答	37	2.5
総回答者数	1,472	100.0

■ 問9 子どもからみた祖父母が、育児や家事の手助けをすることは望ましいと思いますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
とてもそう思う	666	45.2
ややそう思う	607	41.2
あまりそう思わない	116	7.9
まったくそう思わない	16	1.1
わからない	49	3.3
無回答	18	1.2
総回答者数	1,472	100.0

■ 問10 あなたにとって、理想の家族の住まい方とはどのようなものですか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
ひとり暮らし	16	1.1
夫婦のみの二人暮らし	88	6.0
親と子どもの世帯で、祖父母とは離れて住む	238	16.2
親と子どもの世帯で、父方の祖父母(夫の親)と近居	242	16.4
親と子どもの世帯で、母方の祖父母(妻の親)と近居	430	29.2
親・子ども・父方の祖父母(夫の親)の三世帯世帯(同居)	147	10.0
親・子ども・母方の祖父母(妻の親)の三世帯世帯(同居)	61	4.1
その他	54	3.7
わからない	167	11.3
無回答	29	2.0
総回答者数	1,472	100.0

■ 問11 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
とても重要だと思う	824	56.0
やや重要だと思う	540	36.7
あまり重要ではないと思う	49	3.3
重要ではないと思う	9	0.6
わからない	34	2.3
無回答	16	1.1
総回答者数	1,472	100.0

■ 問12 あなたは、となり近所とのつきあいを、どの程度されていますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
よくつきあっている	222	15.1
ある程度つきあっている	797	54.1
あまりつきあっていない	329	22.4
つきあっていない	109	7.4
無回答	15	1.0
総回答者数	1,472	100.0

■ 問13 あなたにとって大切と思う人間関係やつながりは何ですか。(○はいくつでも)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
家族	1,397	94.9
親戚	780	53.0
近所・地域の人	972	66.0
職場の同僚や仕事関係の人	691	46.9
学生時代の知り合い	626	42.5
趣味の仲間	476	32.3
子どもを通じた知り合い(ママ友など)	409	27.8
インターネット上の付き合いの人	35	2.4
その他	30	2.0
特になし	4	0.3
わからない	8	0.5
無回答	15	1.0
総回答者数	1,472	100.0

■ 問14-1 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが現在参加している活動はありますか。(○はいくつでも)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	42	2.9
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	53	3.6
子育てに関する情報を提供する活動	44	3.0
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	30	2.0
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	52	3.5
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	109	7.4
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	32	2.2
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	23	1.6
その他	47	3.2
参加している活動はない	1,177	80.0
無回答	39	2.6
総回答者数	1,472	100.0

■ 問14-2 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが今後参加したい活動（現在参加している活動を継続する場合も含む）はありますか。（○はいくつでも）

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	142	9.6
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	150	10.2
子育てに関する情報を提供する活動	130	8.8
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	111	7.5
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	196	13.3
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	396	26.9
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	99	6.7
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	80	5.4
その他	36	2.4
参加したいが、どのような活動がよいかわからない	474	32.2
参加したいと思わない	296	20.1
無回答	59	4.0
総回答者数	1,472	100.0

■ 問14-3 問14-1で「10 参加している活動はない」を選択した人にお聞きします。参加していない（参加できない）理由は何ですか。（○はいくつでも）

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
仕事や家事などで忙しくて時間が無い	500	42.5
子どもを他人と関わらせることに対する保護者の抵抗感などの風潮がある	63	5.4
活動に関する情報が無いため、関わる機会がない	351	29.8
活動自体に興味がない	64	5.4
子どもが好きではない	27	2.3
その他	147	12.5
特に理由はない	188	16.0
無回答	102	8.7
総回答者数	1,177	100.0

■ 問15 15歳未満の子どもの数が37年連続で減少していますが、こうした少子化の状況に危機感を感じていますか。（○は1つだけ）

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
感じている	748	50.8
どちらかといえば、感じている	463	31.5
どちらかといえば、感じていない	94	6.4
感じていない	70	4.8
わからない	66	4.5
無回答	31	2.1
総回答者数	1,472	100.0

■ 問16 あなたの性別をお書きください。

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
男性	593	40.3
女性	848	57.6
その他	0	0.0
無回答	31	2.1
総回答者数	1,472	100.0

■ 問17 あなたは現在、おいくつですか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
29歳以下	159	10.8
30～39歳	158	10.7
40～49歳	302	20.5
50～59歳	278	18.9
60～69歳	334	22.7
70歳以上	223	15.1
無回答	18	1.2
総回答者数	1,472	100.0

■ 問18 あなたはご結婚されていますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
未婚(結婚したことはない)	238	16.2
既婚・配偶者あり(現在、夫または妻がいる)	1,073	72.9
既婚・死別(結婚したことはあるが、死別した)	63	4.3
既婚・離別(結婚したことはあるが、離別した)	80	5.4
無回答	18	1.2
総回答者数	1,472	100.0

■ 問19 あなたは現在、18歳未満の方と一緒に暮らしていますか。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
はい	463	31.5
いいえ	992	67.4
無回答	17	1.2
総回答者数	1,472	100.0

■ 問20 あなたと配偶者(配偶者がいらっしゃる方のみ)の主な職業は何ですか。(○は1つだけ)

(1) あなた

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
農林水産業	25	1.7
自営業、自由業	123	8.4
企業、役所、団体などの正規職員	374	25.4
パート、アルバイト、派遣社員など	275	18.7
その他、収入のある仕事	120	8.2
学生(アルバイト等をしている方も含む)	40	2.7
専業主婦、専業主夫	180	12.2
無職	188	12.8
無回答	147	10.0
総回答者数	1,472	100.0

(2) 配偶者 (いらっしゃる方のみ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
農林水産業	27	1.8
自営業、自由業	120	8.2
企業、役所、団体などの正規職員	326	22.1
パート、アルバイト、派遣社員など	176	12.0
その他、収入のある仕事	98	6.7
学生 (アルバイト等をしている方も含む)	1	0.1
専業主婦、専業主夫	113	7.7
無職	196	13.3
無回答	415	28.2
総回答者数	1,472	100.0

■ 問21 あなたのお住まいの地域はどちらですか。1～5の地域に○をつけてください。(○は1つだけ)

項目	県民	
	回答数(人)	比率(%)
北勢地域	673	45.7
伊賀地域	138	9.4
中南勢地域	411	27.9
伊勢志摩地域	182	12.4
東紀州地域	56	3.8
無回答	12	0.8
総回答者数	1,472	100.0

三重県子ども条例

平成二十三年三月二十三日

三重県条例第五号

子どもは、一人ひとりかけがえのない存在である。そして、子どもには生まれながらに豊かに育つための権利がある。それは、安心して生きること、虐待やいじめそしてあらゆる暴力や差別から守られること、自らの力を発揮して成長すること、そして、思いや意見が尊重されることである。子ども一人ひとりが人として大切にされ、豊かに育つことができるよう子どもの権利が守られなければならない。

全ての子どもには自ら育つ力と多くの可能性があり、子どもは自分が受け止められ、認められていると実感することで自己肯定感を高めることができる。また、子どもは、家庭や学校を始めとする地域社会での経験を通して、人との様々な関わりや多様な価値観に触れることで、人を思いやる心や自らの課題を乗り越える力を身に付けることができる。そして、次の世代を大切に育てることのできる大人へと育っていく。そのために、人と人とが強い絆で結ばれた地域社会を形成し、子ども一人ひとりが力を発揮して育つことができる社会へと向かうことが求められている。

私たちは、児童の権利に関する条約の理念にのっとり、子どもの権利が尊重される社会の実現を目指すこととする。そのため、私たちは相互に連携し、協働して、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに取り組むことを決意し、この条例を制定する。

(目的)

第一条 この条例は、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりについて、基本理念を定め、並びに県の責務並びに保護者、学校関係者等、事業者、県民等及び市町の役割を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、これを総合的に推進し、もって子どもの権利が尊重される社会の実現に資することを目的とする。

(定義)

第二条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 一 子ども 十八歳未満の者をいう。
- 二 保護者 親権を行う者、未成年後見人その他の者で子どもを現に監護するものをいう。
- 三 学校関係者等 教育、福祉その他子どもの育成に関連する分野の事務に従事する者をいう。

(基本理念)

第三条 子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりは、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

- 一 子どもを権利の主体として尊重すること。
- 二 子どもの最善の利益を尊重すること。
- 三 子どもの力を信頼すること。

(県の責務)

第四条 県は、前条に規定する基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

- 2 県は、前項の施策を策定し、及び実施するに当たっては、次条から第九条までに規定する役割に配慮するものとする。
- 3 県は、第十条の規定により、連携し、及び協働して行われる取組を支援するものとする。

(保護者の役割)

第五条 保護者は、基本理念にのっとり、子どもを大切に育てる責務を有することを認識するとともに、子どもが力を発揮して育つことができるよう努めるものとする。

(学校関係者等の役割)

第六条 学校関係者等は、基本理念にのっとり、子どもの安全の確保並びに子どもが安心して学び、及び育つことができる環境づくりに努めるものとする。

(事業者の役割)

第七条 事業者は、基本理念にのっとり、保護者が子どもを豊かに育てるために必要な雇用環境の整備に努めるとともに、地域において子どもの育ちを見守り、及び支える取組の推進に努めるものとする。

(県民等の役割)

第八条 県民及び子どもに関わる団体は、基本理念にのっとり、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関心を持ち、理解を深めることによって、子どもの育ちを見守り、及び支えるよう努めるものとする。

(市町の役割)

第九条 市町は、基本理念にのっとり、子どもの育ちを見守り、及び支える施策の推進に努めるものとする。

(連携及び協働)

第十条 保護者、学校関係者等、事業者、県民及び子どもに関わる団体並びに市町は、前五条に規定する役割を果たすに当たっては、相互に連携し、及び協働するよう努めるものとする。

(施策の基本となる事項)

第十一条 県は、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関する施策の策定及び実施に当たっては、次に掲げる事項の確保を旨とするものとする。

- 一 子どもの権利について、子ども自身が知り、及び学ぶ機会並びに県民が学ぶ機会を提供すること。
- 二 子どもに係る施策に関して、子どもが意見を表明する機会を設け、参加を促すとともに、子どもの意見を尊重すること。
- 三 子どもが、自らの力を発揮して育つことができるよう、主体的に取り組む様々な活動を支援すること。
- 四 子どもの育ちを見守り、及び支えるための人材の育成を行うとともに、保護者、学校関係者等、事業者、県民及び子どもに関わる団体並びに市町が行う活動の促進が図られるよう、環境の整備を行うこと。

(相談への対応)

第十二条 県は、子どもからの相談に対応する窓口を設置し、国その他の関係機関と連携した適切な対応を行うものとする。

(広報及び啓発)

第十三条 県は、子どもの育ちについての県民の関心及び理解を深めるとともに、県民が行う子どもの育ちを見守り、及び支える活動を促進するため、必要な広報及び啓発を行うものとする。

(調査)

第十四条 知事は、子どもの生活に関する意識、実態その他のこの条例に基づき県が行う施策の推進に必要な事項を調査し、その結果を公表するものとする。

(年次報告)

第十五条 知事は、毎年、この条例に基づき県が行う施策の実施状況を評価し、これを年次報告として取りまとめ、公表するとともに、施策への反映に努めるものとする。

附 則

この条例は、平成二十三年四月一日から施行する。

この白書の作成にあたっては、次の方々に監修をお願いし、
貴重なご意見をいただきました。厚く御礼申し上げます。

杉浦 礼子（名古屋学院大学准教授）

水落 正明（南山大学教授）

（敬称略・順不同）

みえの子ども白書2019

発行 三重県
発行年月 2019年(平成31年)2月
編集 三重県子ども・福祉部少子化対策課
〒514-8570
三重県津市広明町13番地
電話 059-224-2404 FAX 059-224-2270
Eメール shoshika@pref.mie.lg.jp



三重県